

令和 8 年 度

新居浜市の教育

令和 8 年度の計画
令和 7 年度のあゆみ

新 居 浜 市 教 育 委 員 会

— 望 ま し き 市 民 像 —

- 文化を尊重し、そのために貢献する創造的で教養ある市民
- すべての人々を敬愛するとともに、真理と正義にたって行動する市民
- 科学精神を身につけ、生活の合理化を図り、勤労にいそしむ市民
- 健康明朗で強い精神力を持ち、情操豊かな市民
- 社会の改良、公共の福祉に参加して、郷土の発展に努める市民

(市の教育方針として昭和29年4月教育委員会が策定)

— め ざ す 都 市 像 —

第六次新居浜市長期総合計画では、将来都市像を「— 豊かな心で幸せ
つむぐ — 人が輝く あかがねのまち にいはま」と定めています。

また、まちづくり（分野）ごとの目標も定めています。

- 1 未来を創り出す子どもが育つまちづくり
- 2 健康で、いきいきと暮らし、支えあうまちづくり
- 3 活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり
- 4 安全・安心・快適を実感できるまちづくり
- 5 人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり
- 6 人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり

目 次

令和8年度の計画	7
新居浜市教育大綱（概要版）	8
教育委員会の沿革	9
教育長、教育委員、歴代教育委員	14
教育委員会事務局組織図、職員数	17
事務局事務分掌	18
教育費歳出予算（目別、令和7年度・令和8年度当初予算）	20
年度別教育費歳出決算（目別、令和2～令和7年度）	21
社会教育課	
1 最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業	22
2 社会教育委員名簿	24
3 公民館等一覧表	25
4 公民館事業計画	26
青少年センター	
1 重点目標、重点事項	44
2 施設状況、地区別少年補導委員の状況	45
生涯学習センター	
1 重点目標、重点事項、施設状況	46
高齢者生きがい創造学園	
1 重点目標、重点事項、施設状況	47
図書館	
1 最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業、施設状況	48
2 資料数	50
学校教育課	
1 最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業	52
2 新居浜市教育研究所の概要	54
3 学校教育計画資料	56
4 令和8年度児童・生徒・園児・教職員数	58
5 学校等一覧	62
6 放課後児童クラブ一覧表	63
7 通学区域	64
8 園児・児童・生徒数の推移（令和2年度～令和11年度）	66
9 中学校卒業者の進路状況	67
学校施設課	
1 最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業	68
2 学校施設一覧	69

共同調理場

1 最重要課題、重点事項（取組方針）、施設状況	71
2 学校給食運営組織図	73
3 新居浜市学校給食の推移	74

発達支援課

1 最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業	75
2 発達支援システムイメージ図	77

人権教育課

1 最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業	78
-------------------------	----

令和7年度のあゆみ（教育委員会事務局）

教育委員会の主な施策と実績

1 令和7年度決算額	81
2 主な施設の環境整備事業	85

社会教育課の主な施策と実績

1 地域教育力向上プロジェクト推進事業	86
2 公民館施設環境整備事業	86
3 学校体育施設開放の利用状況	87
4 公民館事業報告	88
新居浜公民館	88
口屋跡記念公民館	89
地域交流センター	90
金栄公民館	91
高津公民館	92
浮島公民館	93
惣開公民館	94
若宮公民館	95
垣生公民館	96
神郷公民館	97
多喜浜公民館	98
大島交流センター	99
泉川公民館	100
中萩公民館	101
船木公民館	102
大生院公民館	103
角野公民館	104
別子山公民館	105

青少年センターの主な施策と実績

1 運営協議会	106
2 街頭補導	106
3 相談活動	106
4 関係機関・団体との連絡連携	107
5 青少年善行表彰	107
6 青少年健全育成の活動状況	107

生涯学習センターの主な施策と実績	108
1 生涯学習センター事業報告	108
2 生涯学習大学の開設	108
高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績	109
1 高齢者生きがい創造学園事業報告	109
図書館の主な施策と実績	110
1 図書館の利用状況	110
2 主な事業	111
学校教育課の主な施策と実績	115
1 教職員研修の推進	116
2 教育研究所の歩み	118
3 教育支援センター（あすなろ教室）の歩み	119
4 教育における国際化への対応	119
5 中学生による国際交流事業	120
6 放課後関連事業	122
7 奨学金等	122
8 新居浜市寺尾音楽教育振興基金	125
9 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金	125
10 就学援助費	126
11 特別支援教育就学奨励費	126
12 学校保健	127
13 学校体育活動の推進	129
14 人権・同和教育実践の状況	129
学校施設課の主な施策と実績	131
1 小・中学校の適正規模・適正配置	131
2 小中学校施設環境整備事業	131
共同調理場の主な施策と実績	132
1 学校給食の意義	132
2 学校給食の運営等	132
3 学校給食の充実等	132
4 給食の状況	132
発達支援課の主な施策と実績	133
1 教育相談	133
2 巡回相談	133
3 5歳児就学相談	134
4 サポートファイル（個別の教育支援計画）の新規作成・見直し件数	134
5 教育支援委員会	134
6 早期療育通園相談事業	135
7 各種専門相談	136
8 各種研修会・講演会	136
9 私立幼稚園等特別支援教育事業費補助	139
10 新居浜市地域発達支援協議会	139

人権教育課の主な施策と実績	140
1 人権教育啓発の推進	140
2 関係団体支援	141
3 啓発資料の充実と活用	142
4 人権教育推進機関等との連携強化	142
5 身元調査お断り運動	143
6 差別落書き根絶	143
7 その他	143
令和7年度のあゆみ（企画部）	144
スポーツ振興課の主な施策と実績	145
1 社会体育の推進	145
2 競技スポーツの振興	145
3 施設環境の整備	146
4 体育施設一覧	147
5 体育施設年度別利用状況	148
文化振興課の主な施策と実績	149
1 芸術文化活動	149
2 文化財・郷土資料の保存活用	149
3 文化施設の充実	149
4 文化振興基金	149
5 （公財）新居浜市文化体育振興事業団	149
6 文化施設	150
7 文化施設年度別利用状況	151
8 令和7年度月別利用状況（市民文化センター・ふるさと館）	152
9 国指定文化財、県指定文化財、市指定文化財、登録有形文化財	154
総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績	157
1 施設状況	157
2 施設の概要	157
3 月別入館者数	158
4 令和7年度美術館展覧会開催実績	158
5 令和7年度の主なイベント	158
6 教育普及事業、ワークショップ	160
7 新居浜市美術品購入基金	161
広瀬歴史記念館の主な施策と実績	162
1 施設状況	162
2 展示内容等	162
3 資料の収集状況	162
4 令和7年度事業実績	162
5 令和7年度月別観覧者内訳	163

令和 8 年度の計画

新 居 浜 市 教 育 大 綱 （概要版）

～未来を創り出す子どもが育つまちづくり～

施策	SDGs 目標	基本計画
1 家庭、地域の教育力の向上	4 教育 11 都市 16 平和 17 実施手段	1 子育て世代に関する家庭教育の充実 2 学校・家庭・地域の連携協働の推進 3 青少年健全育成の推進
2 学校教育の充実	4 教育 8 成長・雇用 17 実施手段	1 地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進 2 児童・生徒の健全育成 3 安全・安心で充実した教育環境の整備
3 特別支援教育の充実	3 保健 4 教育	1 より身近な場所で行う教育相談・早期支援の充実 2 特別支援教育の啓発と支援体制の強化 3 地域生活における自立に向けた支援・連携・協働の促進

～人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり～

施策	SDGs 目標	基本計画
4 学習活動の充実	3 保健 4 教育 11 都市	1 生涯学習機会の充実 2 生涯学習関連施設の充実 3 図書館機能の充実
5 文化芸術の振興と歴史文化の継承	4 教育 11 都市 17 実施手段	1 文化芸術活動の推進 2 文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承
6 スポーツの振興と競技力の向上	3 保健 17 実施手段	1 生涯スポーツの振興 2 競技スポーツの振興 3 施設環境の整備
7 近代化産業遺産の保存活用・整備の充実	4 教育 11 都市	1 別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の促進 2 別子銅山の歴史の伝承・情報発信 3 多喜浜塩田文化の保存・継承
8 人権の尊重	4 教育 5 ジェンダー 10 不平等 11 都市 16 平和 17 実施手段	1 社会における人権・同和教育及び啓発の推進 2 学校における人権・同和教育の推進

教 育 委 員 会 の 沿 革

昭和27年	4月	市庁舎落成
	8月	「義務教育費国庫負担法」 公布
	11月	新居浜市教育委員会設置 新居浜市教育委員会事務局設置
28年	5月	神郷村・垣生村・多喜浜村・大島村合併
	7月	「青少年問題協議会設置法」 公布
	12月	市営野球場設置
29年	6月	「へき地教育振興法」 「学校給食法」 公布
30年	3月	泉川町・中萩町・船木村・大生院村合併 泉川公民館・船木公民館設置
	4月	社会教育委員会設置
	6月	青年学級開校
31年	2月	大島公民館・惣開公民館設置
	3月	「就学奨励援助法」 公布
	6月	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」 公布
	7月	「文化財保護条例」 制定
	12月	「幼稚園設置基準」 告示 多喜浜公民館設置
32年	6月	川東支所開所
33年	4月	神郷公民館・高津公民館設置 教育研究所設置 「義務教育学校施設費国庫負担法」 「学校保健法」 公布
	5月	「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」 公布
34年	4月	郷土館設置 角野町合併 王子幼稚園・神郷幼稚園設置
	12月	「日本学校安全会法」 公布
35年	4月	市立商業高等学校設置
	10月	上部支所開所
36年	6月	「スポーツ振興法」 公布
	9月	大島地域・離島振興法適用
	10月	中学校全国一斉学力テスト実施
37年	3月	「教科書無償法」 公布
	11月	市民文化センター設置 中央公民館設置
39年	1月	東予新産業都市指定
	4月	記念会館設置 重量挙げ練習場設置 弓道場設置 武徳殿設置 「奨学資金貸付基金条例」 制定
	7月	青少年問題協議会設置 少年補導センター設置
40年	5月	勤労青少年ホーム設置
42年	3月	市樹クスノキ 市花ツツジ 制定
44年	7月	「同和対策事業特別措置法」 公布
45年	4月	「入学準備金貸付基金条例」 制定
	10月	第1回市民体育祭開催（以後毎年開催） 口屋跡記念公民館設置
	12月	山根市民グラウンド設置
46年	5月	「義務教育教員給与特別措置法」 公布
	7月	第1回憲法を暮らしに生かす市民の集い開催
	10月	テニスコート設置
	12月	「特別奨学基金条例」 制定 スポーツ振興審議会設置
47年	4月	川東中学校開校（神郷中・垣生中・多喜浜中・大島中統合） 市民プール開設 体育施設建設基金設置 第一次長期総合計画策定
	6月	社会教育指導員設置
	11月	市民憲章 制定
48年	4月	桃山学院短期大学開校 別子銅山休山
49年	2月	「教員人材確保法」 公布
	5月	市立学校体育施設開放
	8月	市民福祉会館設置

50年	4月	金子公民館設置	心身障害児就学指導委員会設置
	7月	「私立学校振興助成法」 公布	
	8月	市立商業高校夏の高校野球で準優勝	
51年	3月	泉川公民館新築	
	9月	身体障害者福祉センター設置	
	12月	「青野記念奨学基金条例」 制定	
52年	7月	市民体育館設置	
54年	2月	中央児童センター設置	
	6月	滝の宮トリム公園設置	角野公民館新築
55年	3月	新庁舎落成 惣開公民館・船木公民館新築	
	4月	第二次長期総合計画策定	生徒指導推進事務局設置 新設校推進臨時事務局設置
	10月	郷土美術館設置	
56年	3月	大島公民館新築	
	4月	金栄公民館設置	
57年	4月	豊かな心を育てる施策推進モデル指定	若宮公民館・浮島公民館設置
58年	4月	新居浜公民館設置	
59年	4月	青少年健全育成推進事務局設置	
	12月	美術館建設推進臨時事務局設置	
60年	3月	新居浜市文化振興基金条例制定	
		東中・中萩小・船木小校舎増改築	
		中萩中プール増改築	
	6月	市営野球場改築	
61年	2月	重量挙げ練習場改築	中萩小プール増改築
	3月	神郷公民館新築	生徒指導推進事務局廃止
	8月	財団法人新居浜市文化体育振興事業団設立	
62年	1月	中学校柔剣道場新築（～元年度）	
	2月	新居浜小学校改築	東中体育館増改築
	3月	山根総合体育館設置	多喜浜公民館増改築
63年	3月	船木中・泉川中・北中校舎改築	宮西小プール増改築
	10月	山根屋内プール完成	
	11月	銅山の里自然の家新築	
平成元年	1月	角野中校舎増築	
	3月	若宮小校舎改築	南中体育館増改築
	10月	「寺尾音楽教育振興基金条例」 制定	
2年	2月	部室整備（中萩中・大生院中）	大生院中体育館増改築
	3月	プール増改築（新居浜小・惣開小）	垣生公民館新築
		桃山学院短期大学閉校	市立商業高校県立移管
	4月	第三次長期総合計画策定	
3年	3月	船木中体育館増改築	泉川中体育館、屋上プール増新築
		部室整備（船木中・泉川中）	中萩公民館増改築 大島教育集会所新築
	4月	生涯学習センター設置	
4年	2月	川東中部室整備	
	3月	金栄小体育館増改築	金子小プール増改築 口屋跡記念公民館改修
		銅山の里自然の家集会所棟新築	別子銅山記念図書館住友より寄贈
	4月	広瀬記念邸設置	
5年	3月	大生院公民館増改築	文化振興会館新築
		北中プール増改築	北中部室整備
	4月	高齢者生きがい創造学園設置	
6年	3月	部室整備（東中・西中・南中・角野中）	
		高津小プール増改築	
7年	3月	高津公民館増改築	
		多喜浜小屋内運動場改築	
		泉川小プール増改築	
		船木小運動場造成	

8年 3月	若宮小プール改築 川東中屋内運動場大規模改造
9年 3月	広瀬歴史記念館完成 神郷小屋内運動場大規模改造 大島小プール新築
9月	生涯学習都市宣言制定
10年 2月	高津小北校舎大規模改造
10月	東中完全給食開始
11年 1月	心の教室整備（東中）
7月	市営サッカー場（グリーンフィールド新居浜） 完成
8月	心の教室整備（中萩中、川東中）
10月	泉幸吉文庫開設（別子銅山記念図書館）
12年 3月	西中北校舎棟改築 男女共同参画都市宣言制定
4月	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法） 施行
9月	心の教室整備（北中、泉川中）
13年 3月	学校給食センター完成
4月	西・南・北・船木・泉川・角野・中萩・川東中学校完全給食実施 船木小学校わかば分教室開設 船木中学校ひびき分校開校
6月	第四次長期総合計画策定
10月	心の教室整備（南中・角野中）
11月	西中南校舎棟外改築
14年 4月	学校週5日制の完全実施
15年 1月	心の教室整備（船木中・大生院中）
3月	垣生小学校プール改築
4月	別子山村との合併により別子小学校、別子中学校、教職員住宅、別子山公民館、別子山ふるさと館、別子山市民プール、別子山市民グラウンドが加わる 総務課を廃止、同課の業務を社会教育課と学校教育課に移管 同和教育課を廃止、同課の業務と大島教育集会所を人権擁護課に移管 生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園を市民活動推進課に移管 多喜浜体育館（旧勤労者体育センター）を商工観光課から体育文化課に移管 新設校推進臨時事務局廃止 視聴覚ライブラリー廃止 教職員住宅保土野寮B棟焼失
6月	旧広瀬家住宅が国の重要文化財に指定
7月	泉川公民館新築
16年	台風の被害、避難所の設置
3月	武徳殿 国の登録有形文化財登録
17年 1月	子ども見守り隊結成
3月	角野小学校プール改築
18年	耐震補強工事 （角野小・宮西小・高津小・若宮小・泉川小・惣開小・中萩小・浮島小） 体育館
3月	新居浜市伝える力を育てる教育特区（英語で話そう科・表現科）認定
9月	新居浜市こども夢未来基金創設
19年	耐震補強工事の実施（金子小・大生院小・西中・川東中） 体育館 （船木小・金子小・泉川小・中萩中） 校舎
20年	耐震補強工事の実施（金栄小・中萩小・高津小・垣生小・東中） 校舎
4月	発達支援準備室設置 新居浜・西条地区広域市町村圏事務組合の解散により、同組合の施設「別子ハイツ自然学習館」が新居浜市に帰属 地域主導型公民館へ移行（金子・惣開・若宮・泉川公民館）
21年	耐震補強工事の実施（角野小・神郷小・大生院小・惣開小・角野中・船木中・泉川中）校舎

4月	発達支援課設置 地域主導型公民館へ移行（新居浜・金栄公民館）
22年	大規模改造工事の実施（神郷小・中萩小・角野小・別子小中・川東中）校舎 太陽光発電設備設置工事（新居浜小外26校）
4月	新居浜市地域交流センター設置（金子公民館廃止） 地域主導型公民館へ移行（口屋跡記念・高津・浮島・垣生・神郷・多喜浜・船木・大生院公民館）
10月	こども発達支援センター開所
23年 3月	北中学校体育館改築
4月	生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園が市民活動推進課から移管 放課後児童健全育成事業が児童福祉課から移管 地域主導型公民館へ移行（中萩・角野公民館） 第五次長期総合計画策定 体育文化課を廃止、スポーツ文化課設置 耐震補強工事（多喜浜小・北中・角野中）校舎
24年 3月	新居浜市神郷学習館及び垣生学習館を廃止 大規模改造工事の実施（角野小）校舎 耐震補強工事の実施（宮西小・浮島小・南中）校舎
25年	アセットマネジメントにより、公民館施設環境整備事業で、公民館の外壁塗装（惣開・若宮・大生院公民館）、公民館の屋上防水（神郷・大生院公民館体育館）等を実施 金栄小学校プール建設 多喜浜体育館防水外壁改修
3月	神郷公民館駐車場を拡張
10月	市内小学校14校（新居浜小・金子小・金栄小・高津小・浮島小・惣開小・若宮小・垣生小・神郷小・多喜浜小・船木小・中萩小・大生院小・角野小）と市内中学校3校（東中・船木中・南中）がユネスコスクールに認定
27年 3月	市内小学校2校（宮西小・泉川小）と市内中学校7校（西中・北中・泉川中・中萩中・大生院中・角野中・川東中）がユネスコスクールに認定
4月	大島小学校（廃校）を利用して大島交流センターを新設（大島公民館は廃止） 学校図書館支援センターを学校教育課内に設置
5月	多喜浜公民館耐震補強及び大規模改修
7月	新居浜市総合文化施設・美術館開館 口屋跡記念公民館耐震補強及び大規模改修
9月	国連で17の目標として「持続可能な開発目標(SDGs)」が示される
11月	多目的ホール天井落下対策工事（新居浜小・西中）
28年 3月	新居浜市立郷土美術館閉館 体育館天井落下対策工事（金栄小・泉川中）
5月	市民体育館耐震補強工事
8月	武道場屋根改修工事（北中・西中・川東中・南中・泉川中・角野中・中萩中）
9月	市営サッカー場アップ場増設 小中学校体育館照明落下対策工事（新居浜小 外15校）
29年 3月	東雲市民プール幼児用プール増設 長寿命化改修工事（泉川小）南校舎
4月	スポーツ文化課をスポーツ振興課と文化振興課に分課 別子小中学校がユネスコスクールに認定され、市内の全小中学校がユネスコスクールに
5月	角野公民館耐震補強工事
12月	大生院小学校プール改築
30年 2月	旧広瀬氏庭園が国の名勝に指定
3月	別子中学校寄宿舎 落成
4月	若宮小学校（閉校）を利用して生涯学習センター若宮学習館を新設
10月	銅山の里自然の家 廃止
31年 2月	銅山峰のツガザクラ群落が国の天然記念物に指定
3月	川東中学校・南中学校・金栄小学校・金子小学校・高津小学校がコミュニティ・スクールに指定され、市内の全小中学校がコミュニティ・スクールに

令和元年 6月	重量挙げ練習場 移転 改築
12月	小中学校へのエアコン導入開始
2年 3月	新型コロナウイルス感染症対策のための小中学校一斉臨時休業
4月	人権教育課を新設（市民環境部人権擁護課の業務を併任）
11月	別子山公民館大規模改修
3年 2月	市民体育館大規模改修
4月	生涯学習センター若宮学習館廃止（新居浜市生涯活躍のまち拠点施設として供用開始）
	第六次長期総合計画策定
	GIGAスクール構想による一人一台タブレット端末の本格運用開始
4年 3月	王子幼稚園・別子ハイツ自然学習館 廃止
4月	文化振興課、スポーツ振興課、美術館、広瀬歴史記念館が市長部局へ移管
5年 3月	高齢者生きがい創造学園耐震改修
4月	新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画策定
6年 3月	西部学校給食センター完成
4月	学校教育課が学校教育課及び学校施設課に分課
9月	西部学校給食センター給食提供開始
7年12月	市内小中学校の校歌をYouTubeにて公開
8年 4月	学校給食課が学校施設課に合課
	小学校給食の無償化実施
	あかがねラーケーション制度の本格実施
	新居浜市部活動地域展開推進計画策定

教 育 長

名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
教 育 長	長 井 俊 朗	令和 7年 4月 1日	

教 育 委 員

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
教 育 委 員	尾 藤 一 彦	平成30年12月24日	
教 育 委 員	大 橋 勝 英	令和元年12月24日	
教 育 委 員	滝 恵 美	令和 7年 6月 27日	
教 育 委 員	小 西 裕 久	令和 8年 4月 1日	

歴 代 教 育 委 員

公選された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
小 野 基 道	昭和 27年11月 1日	昭和 31年 9月 30日	初代教育委員長
大 場 英 雄	〃 27年11月 1日	〃 31年 9月 30日	二、三代教育委員長
村 上 精 逸	〃 27年11月 1日	〃 31年 9月 30日	四代教育委員長
加 藤 長 次	〃 27年11月 1日	〃 30年 4月 22日	
青 野 重 馬	〃 27年11月 1日	〃 30年 4月 22日	議会選出
黒 川 晋	〃 30年 5月 2日	〃 31年 9月 30日	
高須賀 佐太郎	〃 30年 5月 2日	〃 31年 9月 30日	議会選出

任命された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
大 場 英 雄	昭和 31年10月 1日	昭和 32年 9月 30日	五代教育委員長
久 門 英 雄	〃 31年10月 1日	〃 33年 9月 30日	六代教育委員長
黒 川 晋	〃 31年10月 1日	〃 34年 9月 30日	七代教育委員長
三 浦 義 一	〃 31年10月 1日	〃 35年 9月 30日	八代教育委員長
加 藤 実	〃 31年10月 1日	〃 35年 9月 30日	教育長を兼ねる
三 野 担	〃 32年10月 1日	〃 34年 4月 3日	
高 橋 玉 置	〃 33年10月 1日	〃 37年 9月 30日	九代教育委員長
永 井 伊三郎	〃 34年 5月 30日	〃 36年 9月 30日	
山 下 桂太郎	〃 34年10月 8日	〃 38年10月 7日	十代教育委員長
久 米 申	〃 35年10月 1日	〃 38年12月 13日	十一代教育委員長
加 藤 実	〃 35年10月 1日	〃 39年 9月 30日	教育長を兼ねる
亀 井 清太郎	〃 36年10月 30日	〃 40年10月 29日	十二代教育委員長
神 野 一 郎	〃 37年10月 12日	〃 41年10月 11日	十三、四代教育委員
山 下 桂太郎	〃 38年10月 8日	〃 42年10月 7日	十六代教育委員長
岡 本 悦 良	〃 39年 3月 25日	〃 39年 9月 30日	
岡 本 悦 良	〃 39年10月 1日	〃 43年 9月 30日	十五、七代教育委員
岡 本 虎 義	〃 40年12月 4日	〃 44年12月 3日	
神 野 一 郎	〃 41年10月 12日	〃 45年 6月 13日	十八代教育委員長
栗 原 利得喜	〃 42年 4月 1日	〃 46年 3月 31日	教育長を兼ねる
藤 田 秀 朋	〃 42年12月 22日	〃 46年12月 21日	十九代教育委員長
近 藤 続 行	〃 43年12月 22日	〃 47年 2月 21日	
斉 藤 一	〃 45年 7月 4日	〃 49年 7月 3日	二十、二十一代教育委員長
岡 本 虎 義	〃 45年 7月 4日	〃 45年10月 11日	
岡 本 虎 義	〃 45年12月 21日	〃 49年12月 20日	二十二代教育委員長
村 上 哲 亮	〃 46年 8月 1日	〃 50年 7月 31日	教育長を兼ねる
藤 田 秀 朋	〃 46年12月 24日	〃 50年12月 23日	二十三代教育委員長
神 野 忠 利	〃 48年 4月 2日	〃 52年 4月 1日	二十四代教育委員長
藤 田 岡南夫	〃 49年12月 24日	〃 53年12月 23日	二十五代教育委員長
藤 田 秀 朋	〃 50年12月 24日	〃 54年12月 23日	二十六代教育委員長

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
村 上 哲 亮	昭和 51年 3月18日	昭和 55年 3月17日	教育長を兼ねる
神 野 忠 利	〃 52年 4月 2日	〃 56年 4月 1日	二十七代教育委員長
堀 越 和 衛	〃 54年12月24日	〃 58年12月24日	二十八代教育委員長
印 南 忠 一	〃 54年12月24日	〃 58年12月23日	二十九代教育委員長
坂 口 勲	〃 54年12月24日	〃 58年12月23日	三十代教育委員長
伊 達 孝 孝	〃 55年 3月26日	〃 59年 3月25日	教育長を兼ねる
大 西 博 臣	〃 56年 6月 6日	〃 60年 6月 5日	三十一代教育委員長
堀 越 和 衛	〃 57年12月24日	〃 61年12月23日	三十二代教育委員長
印 南 忠 一	〃 58年12月24日	〃 62年12月23日	三十三代教育委員長
坂 口 勲	〃 58年12月24日	〃 62年12月23日	三十四代教育委員長
伊 達 孝 孝	〃 59年 3月26日	〃 63年 3月25日	教育長を兼ねる
篠 原 利 光	〃 60年 6月 6日	平成 元年 6月 5日	三十五代教育委員長
守 谷 照 男	〃 61年12月24日	〃 2年12月23日	三十六代教育委員長
千 葉 文 政	〃 62年12月24日	〃 3年12月23日	三十七代教育委員長
田 坂 富美子	〃 62年12月24日	〃 3年12月23日	三十八代教育委員長
伊 達 孝 孝	〃 63年 3月26日	〃 4年 3月25日	教育長を兼ねる
篠 原 利 光	平成 元年 6月27日	〃 5年 6月26日	三十九代教育委員長
真 鍋 栄	〃 2年12月24日	〃 6年12月23日	四十代教育委員長
天 野 征 郎	〃 3年12月24日	〃 7年12月23日	四十一代教育委員長
田 坂 富美子	〃 3年12月24日	〃 7年12月23日	四十二代教育委員長
渡 邊 健	〃 4年 4月 1日	〃 8年 3月31日	教育長を兼ねる
近 藤 求	〃 5年 6月27日	〃 9年 6月26日	四十三代教育委員長
千 葉 昭 夫	〃 6年12月24日	〃 10年12月23日	四十四代教育委員長
千 葉 陽 三	〃 7年12月24日	〃 11年12月23日	四十五代教育委員長
小 野 トヨミ	〃 7年12月24日	〃 11年12月23日	四十六代教育委員長
西 原 洋 昂	〃 8年 4月 1日	〃 12年 3月31日	教育長を兼ねる
一 色 康 範	〃 9年 6月27日	〃 13年 6月26日	四十七代教育委員長
加 藤 信 一	〃 10年12月24日	〃 14年12月23日	四十八代教育委員長
千 葉 陽 三	〃 11年12月24日	〃 15年12月23日	四十九代教育委員長
小 野 トヨミ	〃 11年12月24日	〃 15年12月23日	五十代教育委員長
西 原 洋 昂	〃 12年 4月 1日	〃 14年 3月31日	教育長を兼ねる
栞 田 敬 子	〃 13年 6月27日	〃 17年 6月26日	五十一代教育委員長
阿 部 義 澄	〃 14年 4月 1日	〃 16年 3月31日	教育長を兼ねる
小 野 正 師	〃 14年12月24日	〃 18年12月23日	五十二代教育委員長
宇 野 征 一	〃 15年12月24日	〃 19年12月23日	五十三代教育委員長
太 田 恵理子	〃 15年12月24日	〃 19年12月23日	五十四代教育委員長
阿 部 義 澄	〃 16年 4月 1日	〃 20年 3月31日	教育長を兼ねる
栞 田 敬 子	〃 17年 6月27日	〃 21年 6月26日	五十五代教育委員長
小 野 正 師	〃 18年12月24日	〃 22年12月23日	五十六代教育委員長
宇 野 征 一	〃 19年12月24日	〃 23年12月23日	五十七代教育委員長
太 田 恵理子	〃 19年12月24日	〃 23年12月23日	五十八代教育委員長
阿 部 義 澄	〃 20年 4月 1日	〃 24年 3月31日	教育長を兼ねる
三 木 由紀子	〃 21年 6月27日	〃 25年 6月26日	五十九代教育委員長
伊 藤 嘉 秀	〃 22年12月24日	〃 26年12月23日	六十代教育委員長
宮 内 文 久	〃 23年12月24日	〃 27年12月23日	六十一代教育委員長
長 野 美和子	〃 23年12月24日	〃 27年12月23日	六十二代教育委員長
阿 部 義 澄	〃 24年 4月 1日	〃 28年 3月31日	教育長を兼ねる
三 木 由紀子	〃 25年 6月27日	〃 29年 6月26日	六十三代教育委員長
長 野 美和子	〃 27年12月24日	〃 30年 3月31日	
伊 藤 嘉 秀	〃 26年12月24日	〃 30年12月23日	
宮 内 文 久	〃 27年12月24日	令和 元年12月23日	
近 藤 智 佳	〃 29年 6月27日	〃 3年 6月26日	
本 田 郁 代	〃 30年 4月 1日	〃 4年 3月31日	
尾 藤 一 彦	〃 30年12月24日	〃 4年12月23日	
大 橋 勝 英	令和 元年12月24日	〃 5年12月23日	
近 藤 智 佳	〃 3年 6月27日	〃 7年 6月26日	

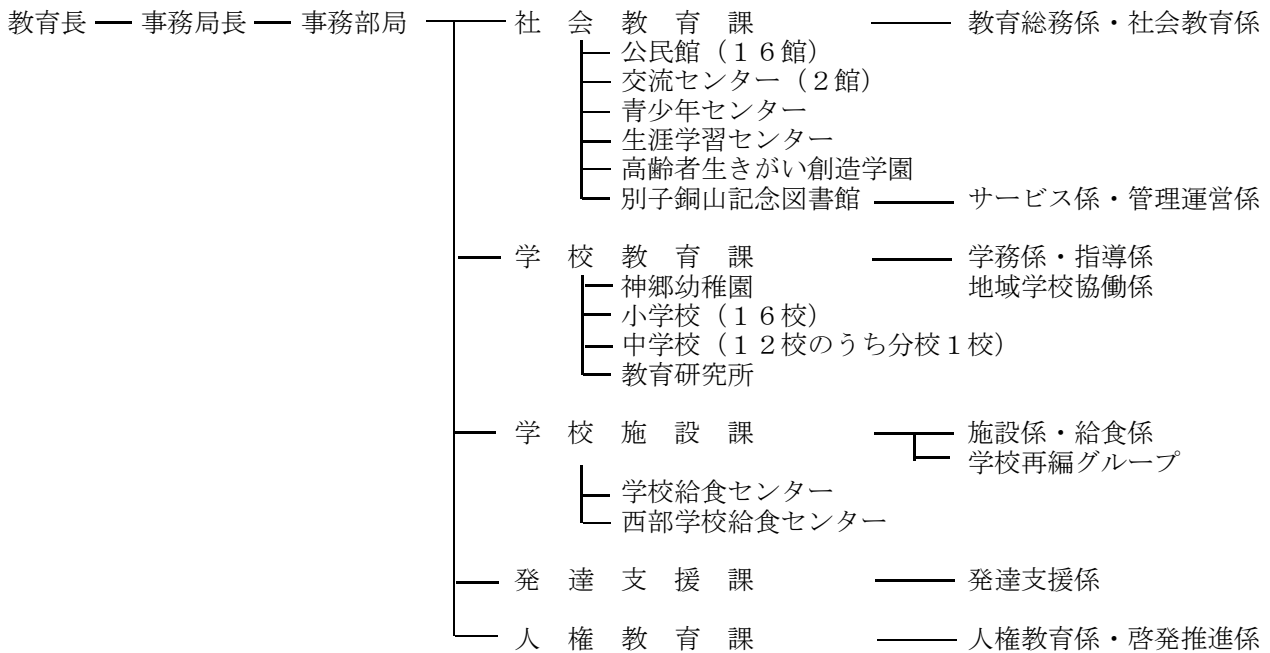
氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
本 田 郁 代	令和 4年 4月 1日	令和 8年 3月31日	
尾 藤 一 彦	〃 4年12月24日		
大 橋 勝 英	〃 5年12月24日		
滝 恵 美	〃 7年 6月27日		
小 西 裕 久	〃 8年 4月 1日		

教育長任期変更（4 年→3 年）後の歴代教育長

氏 名	就任年月日	離任年月日	備 考
関 福 生	平成 28 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	
高 橋 良 光	平成 31 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日	
高 橋 良 光	令和 4 年 4 月 1 日	令和 7 年 3 月 31 日	
長 井 俊 朗	令和 7 年 4 月 1 日		

教育委員会事務局組織図

(令和8年5月1日 現在)



教育委員会事務局職員数

(令和8年5月1日 現在)

	定 数	現 員
事 務 部 局	73	59

	課 所 別	職員	フルタイム職員	パートタイム職員	短時間再任用職員	計
事務局	事務局	5				5
	社会教育課	7				7
	学校教育課	15		101	1	117
	学校施設課	7	1			8
	発達支援課	6		25	1	32
	人権教育課	4	2	7		13
	別子銅山記念図書館	6	9	2		17
	青少年センター		1		1	2
	生涯学習センター・高齢者生きがい創造学園		1	7		8
	公民館	1	1	60		62
	交流センター			8		8
	幼稚園	3	1	3		7
	小学校（県費教職員除く）			191		191
	中学校（県費教職員除く）			99		99
	学校給食センター	2	3	12		17
	西部学校給食センター	3	1			4
	教育研究所					0
	計	59	20	515	3	597

事務局事務分掌

課	事 務
社会教育課	教育委員会の会議及び庶務に関すること。 教育長及び教育委員会委員の報酬、費用弁償、請求、支払、儀式及び交際に関すること。 職員（県費負担教職員を除く）の任免、給与、分限、褒賞、懲戒、服務、福利及び厚生並びに定数配置に関すること。 公印の管守に関すること。 教育委員会の規則及び規程の制定及び改廃並びに規則の公布に関すること。 情報公開の調整に関すること。 個人情報保護の調整に関すること。 事務局の庶務に関すること。 予算経理の指導助言に関すること。 社会教育施設の設置及び廃止に関すること。 社会教育施設の管理、営繕及び保全に関すること。 社会教育委員会の庶務に関すること。 成人教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 社会教育指導者の育成及び社会教育関係団体の育成指導に関すること。 公民館、交流センター、生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、図書館、青少年センターに関すること。 青少年健全育成の推進に関すること。 青少年団体指導者の育成に関すること。 家庭教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 学校の体育施設開放の事務及び運営指導に関すること。 学校の体育施設開放に伴う使用許可及び使用料収納に関すること。
学校教育課	学校及び幼稚園の管理運営の指導に関すること。 学校休業日の決定に関すること。 学校行事等の調整、指導及び承認に関すること。 教育団体関係事務に関すること。 児童・生徒の就学事務に関すること。 通学区域の設定変更事務に関すること。 学級編成関係事務に関すること。 教科書関係事務に関すること。 県費負担教職員の人事、給与、福利及び厚生事務に関すること。 就学援助事務に関すること。 奨学資金事務に関すること。 教育課程及び教育内容の編成に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 学校及び幼稚園の教育指導に関すること。 教員の現職教育研修に関すること。 児童・生徒活動の指導に関すること。 教育研究所事務に関すること。 中学生等の国際交流に関すること。 児童・生徒の生活指導に関すること。 学校体育関係事務に関すること。 就学時の健康診断事務に関すること。 児童・生徒及び学校職員の健康診断事務に関すること。 学校保健関係事務に関すること。 学校安全関係事務に関すること。 放課後児童健全育成事業等の実施に関すること。 地域、学校及び家庭の協働及び連携に関すること。

課	事 務
学校施設課	学校及び幼稚園の設置及び廃止に関すること。 学校敷地及び建物の設置及び変更に関すること。 学校施設及び幼稚園施設の管理、営繕及び保安に関すること。 学校再編に関すること。 学校給食に関すること。 共同調理場に関すること。
発達支援課	特別支援教育に関すること。 発達支援に関すること。
人権教育課	人権教育の計画、運営及び指導に関すること。 人権教育に係る資料の作成並びに教材及び教具の整備に関すること。 人権教育講座、研修等の開設、運営及び指導に関すること。 地域改善対策奨学金事務に関すること。 人権教育研究協議会等関係団体との連絡調整に関すること。

教育費歳出予算（目別、令和7年度・令和8年度当初予算）

※企画部及び福祉部分含む（単位：千円）

区 分	令和7年度		令和8年度		前年度比較
	当 初 予 算		当 初 予 算		
費 目	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
教 育 総 務 費	1,267,196	23.7%	1,271,151	15.1%	100.3%
教 育 委 員 会 費	6,399	0.1%	6,476	0.0%	101.2%
事 務 局 費	390,142	7.3%	395,135	4.7%	101.3%
諸 費	870,655	16.3%	869,540	10.4%	99.9%
小 学 校 費	894,505	16.8%	2,863,809	34.3%	322.4%
学 校 管 理 費	502,833	9.4%	521,282	6.2%	103.7%
教 育 振 興 費	83,486	1.6%	58,505	0.7%	70.1%
学 校 建 設 費	308,186	5.8%	2,304,022	27.5%	747.6%
中 学 校 費	528,887	9.9%	1,457,748	17.3%	275.6%
学 校 管 理 費	393,110	7.4%	403,436	4.8%	102.6%
教 育 振 興 費	100,777	1.9%	69,036	0.8%	68.5%
学 校 建 設 費	35,000	0.6%	985,276	11.7%	2,815.1%
幼 稚 園 費	262,679	4.9%	266,297	3.2%	101.4%
幼 稚 園 費	262,679	4.9%	266,297	3.2%	101.4%
社 会 教 育 費	1,022,949	19.2%	1,020,263	12.2%	99.7%
社 会 教 育 総 務 費	230,660	4.3%	218,600	2.6%	94.8%
公 民 館 費	234,473	4.4%	224,802	2.7%	95.9%
図 書 館 費	130,314	2.5%	132,766	1.6%	101.9%
青 少 年 教 育 費	230	0.0%	238	0.0%	103.5%
青 少 年 セ ン タ ー 費	7,103	0.1%	7,728	0.1%	108.8%
広 瀬 歴 史 記 念 館 費	156,634	3.0%	177,876	2.1%	113.6%
総 合 文 化 施 設 費	263,535	4.9%	258,253	3.1%	98.0%
美 術 品 購 入 基 金 費	-	-	-	-	-
保 健 体 育 費	1,360,249	25.5%	1,493,573	17.8%	109.8%
保 健 体 育 総 務 費	83,345	1.6%	89,241	1.1%	107.1%
保 健 体 育 施 設 管 理 費	-	-	-	-	-
体 育 施 設 費	588,789	11.0%	351,625	4.2%	59.7%
学 校 給 食 費	688,115	12.9%	1,052,707	12.5%	153.0%
合 計	5,336,465	100%	8,392,841	100%	157.3%
一 般 会 計 総 額	53,415,836		55,227,571		103.4%
教 育 費 の 割 合	10.0%		15.2%		5.2 P

人権教育費等（民生費 社会福祉費 人権推進費）18,957 千円

放課後児童対策費（民生費 児童福祉費 児童福祉総務費） 240,172 千円

高齢者生きがい創造学園講座事業費（介護保険事業特別会計 地域支援事業費 一般介護予防事業費）10,880 千円

年度別教育費歳出決算（目別、令和２～令和７年度）

※企画部及び福祉部分含む（単位：千円）

年度 費目	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
教 育 総 務 費	1,849,585	1,451,034	1,413,951	1,272,796	1,919,980	1,218,896
教 育 委 員 会 費	6,162	6,090	6,297	6,231	6,309	6,328
事 務 局 費	577,528	536,395	394,094	352,391	421,138	388,369
諸 費	1,265,895	908,549	1,013,560	914,174	1,492,533	824,199
小 学 校 費	690,665	509,606	551,611	603,185	696,324	803,823
学 校 管 理 費	491,984	441,609	476,474	451,310	398,767	456,080
教 育 振 興 費	198,681	67,997	69,659	65,675	116,414	70,304
学 校 建 設 費	-	-	5,478	86,200	181,143	277,439
中 学 校 費	376,381	390,797	384,866	479,416	477,072	487,896
学 校 管 理 費	300,559	320,287	325,593	354,059	316,998	368,233
教 育 振 興 費	75,822	70,510	59,273	56,033	56,952	88,917
学 校 建 設 費	-	-	-	69,324	103,122	30,746
幼 稚 園 費	354,834	255,941	307,078	193,477	193,388	253,948
幼 稚 園 費	354,834	255,941	307,078	193,477	193,388	253,948
社 会 教 育 費	862,654	808,285	950,373	927,543	990,855	957,625
社 会 教 育 総 務 費	184,480	201,375	337,974	217,046	224,842	210,193
公 民 館 費	254,743	174,451	206,649	189,803	192,841	218,342
図 書 館 費	110,933	91,775	96,420	145,207	120,234	122,971
青 少 年 教 育 費	90	1,143	238	627	215	206
青 少 年 セ ン タ ー 費	3,681	2,373	2,913	2,744	5,770	6,524
広 瀬 歴 史 記 念 館 費	70,730	94,547	66,910	143,141	100,620	153,454
総 合 文 化 施 設 費	237,986	242,616	239,263	228,969	346,291	245,724
美 術 品 購 入 基 金 費	11	5	6	6	42	211
保 健 体 育 費	1,127,971	903,912	1,382,668	3,746,945	2,148,016	1,242,707
保 健 体 育 総 務 費	33,406	51,754	105,551	90,015	72,882	79,888
保 健 体 育 施 設 管 理 費	-	-	-	-	-	-
体 育 施 設 費	556,263	292,290	310,912	512,007	781,775	511,153
学 校 給 食 費	538,302	559,868	966,205	3,144,923	1,293,359	651,666
合 計	5,262,090	4,319,575	4,990,547	7,223,362	6,425,635	4,964,895

ただし、繰越分含む。

令和７年度人権推進費決算額（民生費）16,700千円

令和７年度放課後児童対策費決算額（民生費）203,653千円

令和７年度高齢者生きがい創造学園講座事業費決算額（介護保険事業特別会計 地域支援事業費）9,368千円

社 会 教 育 課

第 1 最重要課題

人と地域の力による社会教育の推進で、豊かな心を育むまちづくり

第 2 重点事項（取組方針）

1 未来を創り出す子どもが育つまちづくり

（1）子ども・子育て支援の充実

ア 乳幼児講座や子育て講座、家庭教育講座など子育てに関わる地域教育力向上プロジェクト推進事業の推進

（2）家庭、地域の教育力の向上

ア 三世代交流・多文化共生・青年対象の事業や地域の伝統・歴史の伝承など地域の実情に応じた地域教育力向上プロジェクト推進事業の推進

イ 校区・地区運動会や文化祭など学校、家庭、地域の連携協働による社会教育事業の推進

ウ 社会教育活動とコミュニティ・スクール活動との連携で、防災訓練や食農体験、登下校の見守り、読み聞かせなどへの取り組み

エ 地域や地域団体活動をコーディネートする人材の確保と育成

（3）青少年健全育成の推進

ア 子どもの居場所づくりへの取り組み

イ 青少年健全育成・啓発活動の推進

ウ 青少年センターを核とした相談活動の充実

エ 少年補導委員による街頭補導活動の継続

2 人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり

（1）学習活動の充実

ア 公民館・交流センター等の講座の開催と市民サークル活動への支援

イ 誰ひとり取り残すことのない学習機会の提供を行う生涯学習大学の拡充

ウ 高齢者の社会参加を促進する高齢者生きがい創造学園講座の開催

エ 市民の要望や社会の要請に応える講座の開設

オ 愛媛大学や松山大学、新居浜高専、愛媛県総合科学博物館等と連携した高度化・専門化した講座の拡充

（2）生涯学習関連施設の充実

ア 公民館・交流センター等の施設環境整備の継続

イ 高齢者生きがい創造学園の機能維持

（3）近代化産業遺産の保存活用・整備の充実

ア 多喜浜塩田文化の保存・継承

（ア）多喜浜のまち全体が塩の博物館事業への支援

（イ）ソルティ多喜浜・塩の学習館を活用した学習活動支援

（4）地域コミュニティの充実

ア 地域再生への体制づくり

（ア）市長部局が取り組む地域コミュニティを支える組織、拠点づくりとの連携

（イ）社会教育事業と地域コミュニティ事業との融合検討、推進

3 各種計画等に基づく社会教育施設の管理運営についての検討

(1) 新居浜市公共施設再編計画

ア 高齢者生きがい創造学園の機能移転先の検討と機能移転までの施設維持管理への取り組み

(2) 社会教育の効果・効率的な運用

ア 公民館・交流センターや高齢者生きがい創造学園、生涯学習センター等で開設されている各種講座の効果・効率的な運用の検討

4 教育委員会事務局職員の適正な人事管理

(1) 法令に基づいた人事管理と福利厚生

ア 市長部局と連動した適正な人事管理、福利厚生に関する対応

イ 必要な会計年度任用職員の人員確保と研修

第3 主な事業

1 地域教育力向上プロジェクト推進事業（7,472千円）

地域ごとに実情・課題は様々であるため、“つどう”（生活のなかで気軽に人々が集うことができる場）、“まなぶ”（自らの興味関心に基づいて、また社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶための場）を事業の柱とし、学びを活かして地域の課題解決を目指していく。

2 公民館施設環境整備事業（7,000千円）

住民の地域づくりの拠点として、利用者により安全快適な施設環境を提供するために、必要な整備・維持管理を実施している。

社 会 教 育 委 員 名 簿

(令和8年7月1日現在)

(50音順)

氏 名	備 考
安藤 進一	新居浜市スポーツ協会
石川 誠	市内企業代表（住友共同電力㈱）
岡野 弥生	新居浜市公民館連絡協議会
加藤 すみれ	新居浜市女性連合協議会
金行 亜弥	愛媛新聞東予支社
古見 総一郎	中学校校長会（角野中学校）
篠原 雅士	新居浜文化協会
白石 久祈	新居浜青年会議所
長井 郁夫	市内県立学校校長会（新居浜商業高校）
西原 玲子	新居浜市ボランティア連絡協議会
藤原 説夫	新居浜市連合自治会
宮崎 達也	新居浜市PTA連合会
明星 孝典	小学校校長会（泉川小学校）
吉松 泰彦	医師会代表
渡辺 高博	新居浜市議会

任期 令和7年7月1日 ～ 令和9年6月30日

公 民 館 等 一 覧 表

(令和8年7月1日 現在)

施設名	所在地	開 設 年月日	新改築 年度	人口 8. 3. 31	世帯数 8. 3. 31	構 造	建 物 面 積 (m ²)	敷地面積 (m ²)	施設長氏名
新 居 浜 32-8312	新居浜市新須賀町 三丁目2番17号	昭和 58. 4. 1	昭57年度 新築	3, 875	2, 188	鉄 筋 2階建	535. 50	1, 586. 00	大野 美幸
口屋跡記念 32-8430	新居浜市西町 6番2号	昭和 45. 10. 3	平27年度 改築	4, 293	2, 542	鉄 筋 3階建	970. 65	2, 214. 87	岡野 弥生
地域交流センター 34-6320	新居浜市庄内町 一丁目14番7号	平成 22. 4. 1	平21年度 新築	10, 831	5, 602	鉄 筋 2階建	945. 02	2, 021. 40	荒井 健
金 栄 33-3212	新居浜市高木町 6番25号	昭和 56. 4. 1	昭55年度 新築	6, 122	3, 003	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 758. 00	濱田 英稔
高 津 32-3320	新居浜市沢津町 二丁目3番30号	昭和 33. 4. 1	平7年度 改築	10, 258	5, 345	鉄 筋 2階建	987. 25	1, 821. 38	小野 健治
浮 島 34-7617	新居浜市八幡 二丁目6番52号	昭和 57. 4. 1	昭56年度 新築	3, 364	1, 676	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 480. 48	小西 優
惣 開 33-1031	新居浜市王子町 1番3号	昭和 31. 2. 24	昭54年度 新築	3, 654	1, 827	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 130. 81	明日 博美
若 宮 34-7612	新居浜市新田町 一丁目8番37号	昭和 57. 4. 1	昭56年度 新築	1, 361	805	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 124. 96	曾我 亨
垣 生 45-0024	新居浜市垣生 二丁目12番26号	昭和 24. 12. 1	平元年度 新築	3, 782	1, 868	鉄 筋 平屋建	483. 00	1, 985. 80	木村 秀之
神 郷 46-1181	新居浜市郷 三丁目7番20号	昭和 33. 4. 1	昭60年度 新築	9, 293	4, 547	鉄 筋 2階建	624. 00	1, 803. 58	眞木 裕司
多 喜 浜 45-0014	新居浜市多喜浜 五丁目7番27号	昭和 31. 12. 27	平27年度 改築	3, 336	1, 883	鉄 筋 2階建	545. 63	1, 245. 00	岡部 修治
大島交流センター 45-1006	新居浜市大島 甲589番地	平成 27. 4. 1	平27年度 移転	114	87	鉄 筋 3階建	交流センター 942. 02 体育館 634. 05 プール 80. 05	交流センター 4, 671. 32 プール 610. 00	村上 和夫
泉 川 41-6463	新居浜市瀬戸町 12番34号	昭和 30. 3. 31	平15年度 新築	11, 494	6, 180	木 造 平屋建	公民館 693. 00 体育館 286. 00	2, 966. 00	真鍋 智明
中 萩 41-6735	新居浜市萩生 740番地の1	昭和 22. 11. 1	平2年度 改築	17, 964	9, 108	鉄 筋 2階建	984. 00	2, 024. 02	西原 泰介
船 木 41-6003	新居浜市船木 2579番地の1	昭和 24. 9. 14	昭54年度 新築	6, 454	3, 299	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 917. 99	浅井 憲子
大 生 院 41-6604	新居浜市大生院 1063番地の1	昭和 25. 9. 28	平4年度 改築	3, 481	1, 770	鉄 筋 2階建	公民館 562. 70 体育館 233. 20	4, 324. 28	神野 剛
角 野 41-6224	新居浜市中筋町 二丁目4番24号	昭和 23. 11. 3	昭54年度 新築	10, 754	5, 454	鉄 筋 2階建	864. 00	2, 963. 24	横川 和典
別 子 山 64-2211	新居浜市別子山 甲347番地の1	昭和 59. 4. 1	昭59年度 新築	105	69	鉄 筋 2階建	631. 00	821. 54	和田 仲吉
合計				110, 535	57, 253				

※改築は、増築・大規模改修等とする。

公 民 館 事 業 計 画

新 居 浜 公 民 館

公民館重点目標	地域一体の安心・安全のまちづくり 1 地域福祉の拡充 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成 3 生涯学習の活性化と推進 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成 5 自主防災組織作りと強化
事業（講座）名	事業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
生き生きセミナー	地域住民の多様性を取り入れた講座の開設 ・料理教室 ・手芸教室 ・人権教育 ・国際交流 ・健康教室 など
三世代交流事業	三世代交流を通して、伝統文化の継承、校区の歴史を学ぶ ・餅つき ・凧上げ ・七草粥 など
まちづくり事業	校区住民の交流と地域活性化を目的とした講座の開設 ・防災事業 ・男性料理教室 など
高齢者講座	高齢者対象の講座の開設 ・なごみサロン ・健康づくり ・手芸教室 ・料理教室 など
YOUTH 講座	若い世代対象の講座、子ども対象の講座の開設

公 民 館 事 業 計 画

口屋跡記念公民館

公民館重点目標	SDG s のまち 宮西 ～誇りをもち住み続けたいとなるまちづくりをめざして～ 1 子どもから高齢者までみんなが安心して暮らせるまちづくり 2 「おたがいさま」の心と絆で支え合うまちづくり 3 子ども一人一人が輝けるホームグラウンドづくり 『戻ってきたいくなるまち』『子どもと一緒に育つまち』 4 人生100年時代を生き切るまちづくり
事業（講座）名	事業 内 容
まちづくり交付金事業（地域教育力向上プロジェクト推進事業相当事業）	
人権啓発講座	人権・同和教育講演会
趣味の講座	陶芸教室、草木染教室、クリスマスリースづくり、パン教室
シニア生き生き講座	奉仕活動、軽スポーツ教室、園児との交流、交通安全教室
教養講座	空き家対策セミナー、宮西史跡巡り、昭和の新居浜を振り返る
健康増進セミナー	小学生及び壮年・実年対象の軽スポーツ教室、腰痛膝痛予防体操教室
多国籍文化交流	外国（インド）の家庭料理教室
移動サロン	軽スポーツ教室（ボッチャ・モルック）
北中校区子ども絵画展	子どもたちの文化的な活動を後押しし、心を癒し育むことを目的に、児童・生徒（宮西小・新居浜小、北中）から絵を募集し、地域在住の元美術教員が、審査・展示・表彰を実施
三世代交流講座	・小学生対象の七草粥、昔の遊び、口屋音頭等の講座を開催し、異世代交流及び文化の伝承活動を実施 ・小学校高学年を対象に、もちつき体験教室及び凧作りを実施
くちやサロン	心と身体の健康を目指した「くちやサロン」の実施（映画上映会等）
あかがね プロジェクト事業	・2つの会（口屋あかがねの会・くちやあゆみの会）を中心に次世代に残していきたい口屋の歴史を後世に語り継いでいく事業 ・同じ歴史で繋がる角野公民館・別子山公民館との交流事業の実施
地域の未来を考える プロジェクト	公民館を「小さな拠点」と捉え、誰もが自由に参加し、自分たちの地域を自分たちで考え、より良くするためのワークショップを実施する。また、若い世代の参画で、地域の様々な課題について話し合い、解決策を模索する。

交 流 セ ン タ ー 事 業 計 画

地域交流センター

交流センター重点目標	～笑顔あふれる地域交流センター～ 1 地域ふるさとづくりの推進 2 生涯学習・スポーツの推進 3 各種団体との連携・協力体制の強化 4 地域が一体となった青少年の健全育成 5 自主防災組織の充実と意識の向上
事業（講座）名	事業内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	手芸教室、ダーツ大会、名画鑑賞、ノルディックウォーキング、グラウンドゴルフ大会、男の料理教室、人権講座
家庭教育講座	親子カルチャー教室
スポーツ健康教室	軽スポーツ教室
文化教養講座	小女郎たぬき踊り・盆踊り
国際講座	国際料理教室
三世代交流事業	しめ縄作り、七草がゆ、ふるさと探訪学習
夏休み講座	宿題講座、科学実験教室
まちづくり事業	防災運動会、入間市交流事業 夏まつり事業

公 民 館 事 業 計 画

金 栄 公 民 館

公民館重点目標	～地域と共に歩む公民館を目指して～ 1 安全・安心のまちづくりの推進 2 青少年健全育成の推進 3 公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化 4 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
事業（講座）名	事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
合同講座	開講式（マネー講座 NISA 等） 閉講式（フレイル予防講座） ※若い世代も対象
婦人講座	料理教室、踊り教室、社会見学、寄せ植え、しめ縄づくりなど
高齢者講座	軽スポーツ交流大会、交通安全教室、歴史探訪、健康についての講座
家庭教育講座	手作り講座、教育講座、健康づくり講座
ふれあい文化講座	料理教室、小物手作り教室、若い世代も参加できる講座、国際交流講座
子育て支援	手づくり講座、リトミック、プール遊び、子育て講座など
金栄まちづくり事業	防犯防災部会（地域パトロール・防災熟議）
三世代交流事業	金栄夏祭り、芸能発表会、金栄盆踊り
ドリームツリー	ドリームツリー点灯、アトラクションなどを開催

公 民 館 事 業 計 画

高 津 公 民 館

公民館 重点目標	～安心と安全のまち「たかつ」～ 1【住民交流】隣近所が支え合い、助け合って「みんなが明るく住みやすい」町等 2【育児】親、子どもが自由に集まって、ふれ合い、遊び、子どもたちが元気に「健やかに育つ」町等 3【高齢者】高齢者同士が交流し、地域の子どもたちと触れ合って「明るく生き生きと生活する」町等 4【障がい者】障がい者や障がいを正しく理解し、障がい者から真に求められる「手助けをする」町等 5【青少年健全育成】子どもたちが友達や仲間たちとふれ合い、助け合い、理解し合って「共に成長する」町等 6【環境】一人一人が気を配り、みんなの力で実現する「清潔で美しい」町等 7【防災】想定される災害を正しく理解し、災害に備える「災害に強い」町等
事業（講座）名	事業内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
シニア講座	健全な心身づくりの講座、社会的知識習得の講座、交流を深める講座
ゆうゆう倶楽部	講座を通じた新たな発見と知識の習得、新たな交流を深める講座
子育て応援	学びと交流のホッとステーション（乳幼児を育てるパパ・ママのホッとサロンとして相互交流を図る。時に託児付の講座も開催する）
カルチャー講座	たかつ史跡巡り、国際交流講座あるいは若者向けの講座、公民館版 SDGs 高津バージョン
いきいき健康講座	スポーツ健康教室、歩け歩け大会、校区スポーツ大会
校区活性化 ①れんげ祭り	稲作前後の農地を借り、自然体験の少ない子どもたちのためにれんげ畑として整備。れんげを使ったゲーム・昔あそび・防災教室などやバザーを開催し、三世代交流・地域交流を図る。
校区活性化 ②たかつ納涼夏祭り	校区各団体が参画・協力し、地域住民が集い交流する夏祭りを実施する。
校区活性化 ③たかつ花あふれるまちづくり	校区環境美化整備及び啓発活動 花づくりを通じて地域住民の交流を図り、新たな人材確保や SDGs 活動を目指す。

公 民 館 事 業 計 画

浮 島 公 民 館

公民館重点目標	～明るく元気な浮島校区の構築～ 1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進 3 「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ
事業（講座）名	事業内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
ユース講座	地域の若年世代を参加対象として趣味や教養を高め様々な体験を通し学ぶ講座
ジュニア講座	小学校児童が体験や学びを取り入れ、楽しく仲間とできる物作り、実験で学ぶ講座
男性料理教室	男性を中心として、旬の食材を使い料理し、食から健康に興味を持ってもらう。地域の子どもたちを対象に料理の腕前を披露する機会を作り世代交流を図る
教養講座	人権、環境の身近な問題や疑問を解決すべく専門家の講師を迎え聞いて学ぶ講座
国際交流講座	外国人等との直接的な交流や体験学習を通じて、国際感覚豊かに多文化を知り学ぶ講座
ものづくり講座	ものづくりを通じて、知識や指先の運動を取り入れ認知症予防などに取り組み、年齢や男女に関係なく、交流の場と学びの場をつくる
伝統講座	昔ながらの伝統行事等を、校区の子どもたちや住民に伝え、三世代の交流を深め継承する

公 民 館 事 業 計 画

惣 開 公 民 館

公民館重点目標	～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。 2 地域資源を活かしたまちづくり 3 地域住民に親しまれる公民館づくり
事業（講座）名	事業内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
ヤングジェネレーションクラス	若者が交流を深めて、公民館が心地よい（居場所）となるような講座を開催する。地元企業とのコラボも視野に入れ、若者が中心となる健康的なマッスルビーチ愛媛を開催する。
生活文化講座	はじめての子育てや転勤などで不安を抱えている世代を対象に、同世代の交流を深めながら教養を高め、地域で家庭教育の向上を目指す。
遊YOUセミナー	多種多様な講座を開設し魅力ある地域づくりを行う。 ・人権教育 ・男女共同参画 ・健康教室 ・料理教室 ・手作り作品教室 ・国際交流
王子が丘教室	魅力ある惣開を目指して、地域の方々や専門職の方が講師となり、児童に古き良き時代の王子が丘を伝承する。 ・体験学習 ・国際交流他
三世代交流事業	校区住民の交流と伝統文化の継承を行い各世代間交流と親睦を深める。 ・餅つき大会 ・七草粥など
まちづくり事業	伝統文化の継承や歴史・文化を掘り起こしまちづくりに繋げる。 ・サマーフェスタ in そうびらき ・観月会 ・ウインターフェスト

公 民 館 事 業 計 画

若 宮 公 民 館

公民館重点目標	1 「地域と共に歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域との連携をはかり、安全・安心で住みよい若宮地域づくりを目指す。 2 『ワクリエ新居浜』と連携・協働できることを模索しながら共に歩む公民館活動に取り組む。
事業（講座）名	事業内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者一人一人が輝き、生涯現役として活動できるようソフト面において支援する。 ・国際交流 ・ツボ押し健康講座 ・ビデオ鑑賞 ・知って得するシニアのための講座 など
趣味と教養	生活の知恵や趣味の世界を広げる体験講座によって生活の潤いを図る。うち数回は、若者世代を対象に社会人として身につけておくべき教養講座や趣味の講座を実施。
環境にやさしいまちづくり（三世代交流）	環境意識の高揚と実践を目指し、美しい地域づくりを行うため、公民館の花壇に若宮保育園の園児と一緒に三世代交流を図りながら花植えをする。
安全・安心なまちづくり	地域の課題を明確にした防災活動への支援と防災意識の高揚を図る。 ・防災講座 ・防災備蓄品の点検 など。
地域の伝統・歴史の伝承（三世代交流）	年中行事の伝承や昔あそびを子どもたちに伝え、一緒に実施するとともに三世代交流を図る。 ・けん玉、こま回し、お手玉などの昔あそびや書初め大会 ・七草がゆ など
スポーツと健康	誰でも気軽に体験できる軽スポーツ大会を通して住民の健康維持と地域の交流を図る。年2回実施。

公 民 館 事 業 計 画

垣 生 公 民 館

公民館重点目標	～地域と共に歩む公民館～ 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり 2 自ら学ぶ生涯学習の推進 3 各種団体・機関との連携強化 4 生活文化活動の振興 5 安全で住みたい垣生づくり
事業（講座）名	事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	・軽スポーツ教室 ・奉仕活動 ・交通安全教室 ・健康教室
子育て支援講座	・親子健康教室 ・親子レクリエーション ・親子手作り教室
成人講座	・健康教室 ・身近な法律講座 ・人権学習 ・趣味・ものづくり講座
スポーツ健康教室	・年4回の軽スポーツ教室
ふるさと文化講座	・じょうさ節教室 ・ふるさと探訪 ・しめ縄 ・門松作り
三世代交流軽スポーツ大会	・三世代交流軽スポーツ大会の開催
垣生環境美化事業	・えひめ AI-2・ぼかし作り ・緑のカーテン教室 ・垣生山遊歩道環境整備（年2回）
イルミネーションファンタジー	飾り付けの段階から、あらゆる年代の地域住民と共同して、公民館・垣生山をイルミネーションで彩り、点灯式を開催する。
若者向け	子育て世代や有職者に対して役立つような情報を提供する。 ・資産形成講座 ・法律講座 等
公民館版 SDGs - ボランティア育成	社会に貢献するボランティア推進として、まずは災害時のボランティアを育成する為の一步を踏み出す。

公 民 館 事 業 計 画

神 郷 公 民 館

公民館重点目標	家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す。 1 青少年の健全育成 2 地域の安全と安心の推進 3 地域福祉の拡充 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援 5 スポーツの推進と健康づくりの推進 6 お茶の間懇談会の拡充・強化 7 自主防災組織作りの拡充・強化 8 地域の環境美化の推進
事業（講座）名	事業内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	高齢者の交流と生きがいを見つけることを目的に人権学習、認知症サポーター養成講座、グランドゴルフ、輪投げなど
いきいきセミナー	年齢、性別を問わず各人の教養、技能を高め生活に潤いと活かせることを目的に国際交流、若者向けのセミナー、多国籍料理教室など
乳幼児期家庭づくり講座	乳幼児をもつ保護者同士の情報交換、子育て支援、多世代交流を目的に、凧作り、餅つき、盆踊りなどの伝統文化の継承や芋ほりなどの体験教室、子育て相談
三世代交流事業	三世代交流、青少年の健全育成を目的に人権・挨拶標語の募集や多世代で楽しめる夏まつり、コンサート、ウォーキング、交通茶屋など
まちづくり事業	地域住民の交流の場づくり、伝統文化の継承、季節感を味わうことを目的に七草がゆや門松づくりなど
スポーツ健康教室	地域住民の健康づくり、多世代交流を目的にグランドゴルフ、シャフルボード、レクバレーなど軽スポーツに触れ合う
環境美化事業	神郷校区の環境美化を通してボランティア精神の醸成、地域を愛する心を育むことを目的に忠魂碑公園の整備、アジサイ祭り、公民館花壇の整備など

公 民 館 事 業 計 画

多 喜 浜 公 民 館

公民館重点目標	～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～ 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進 2 世代間の交流、人材の発掘 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成 4 郷土の伝統文化・塩田歴史文化・「かしょい」精神の継承 5 人権・同和教育の推進 6 デジタルの力を活用した取り組みの推進
事業（講座）名	事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
健康講座	・スポーツ健康教室 ・健康セミナー ・健康体操教室
女性講座	・手芸教室 ・マナー教室
いきいきセミナー	・介護予防教室 ・趣味と教養 ・軽スポーツ
食育・料理講座	・栄養講座 ・料理教室 ・伝統料理教室
三世代交流事業	・しめ縄教室 ・昔のあそび教室 ・イルミネーション ・国際交流事業
塩田文化バンク	・塩田講座 ・塩田踊り教室 ・塩田ウォーク
環境・美化講座	・環境美化活動 ・花いっぱい運動 ・環境講座
まちづくり講座	・防災・減災講座 ・交通安全講座 ・伝統文化継承研修 ・青少年健全育成事業

交 流 セ ン タ ー 事 業 計 画

大島交流センター

交流センター重点目標	～地域住民に親しまれるセンターづくり～ 1 高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業 2 歴史と自然を守り伝統文化の伝承 3 住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり
事業（講座）名	事業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
教養講座	・ 男の料理教室 ・ 楽しい料理教室 ・ 寄せ植え 他
高齢者講座	・ 交流会 ・ 健康体操 ・ 輪投げ大会 ・ 文化祭作品作り
伝統文化の継承	・ 念仏踊り ・ 太鼓の練習 ・ 史跡巡り ・ とうど
防災教室	・ 防災訓練
みんなの作品展	・ 文化祭

公 民 館 事 業 計 画

泉 川 公 民 館

公民館重点目標	～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～ 1 青少年の健全育成 2 高齢者が楽しみながら健康増進事業 3 住民が総参加の事業展開 4 地域課題の解決に向けた学習会 5 郷土の伝統文化の伝承 6 まちづくりの醸成
事業（講座）名	事業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	・ペタンク大会 ・ダーツ大会 ・輪投げ大会 ・ボッチャ大会 など
なんでも学習会	・気軽に参加できる学習機会を作り、健康づくりや国際交流、若い世代対象の講座 ・子ども対象の講座 ・防災の講座 など
活きいき趣味講座	・料理教室 ・手芸教室 ・教養講座 など
ふるさと塾	・地域づくりに関わる講座 ・普段の生活に役立つ内容の講座 など
三世代交流事業	・防災町民運動会、星原市、七夕などの三世代交流事業 ・しめ縄作り、とうどさん、七草粥などの伝統行事

公 民 館 事 業 計 画

中 萩 公 民 館

公民館重点目標	～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～ 「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町 日本一の中萩」 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進 2 青少年健全育成の推進 3 社会福祉活動の推進 4 安心・安全な地域づくりの推進
事業（講座）名	事業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
中萩セミナー	若い世代への講座、国際交流講座を取り入れ、教養や趣味を高める活動を視野に入れた講座内容を企画運営し、充実を図る。
高齢者セミナー	軽スポーツ競技、人権講座、介護予防講座、交通安全教室などを通じて高齢者の生きがいづくりを進める。
健康セミナー	各種軽スポーツの実施や健康についての講座などを開催し、地域住民の健康づくりを推進する。
十河信二翁を知り学ぶ活動	地域の偉人である十河信二翁について偲ぶ会や展示、通学路を歩く会などの活動を通じて、知り学ぶことを推進する。
中萩三世代交流事業	地域の子どもたちに伝統や文化を継承していくための事業を実施し、三世代の交流と絆を深めることを目的とする。
環境改善事業	校区内の環境改善を目的として、楽しいゴミ拾い、草刈り等を実施し、美化活動を推進する。
ふたごクラブ	多胎児を妊娠中または育児中の方が、子育てに対する不安や悩みを相談できる場・同じ悩みを抱える保護者同士の交流の場をつくる。

公 民 館 事 業 計 画

船 木 公 民 館

公民館重点目標	～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～ 1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進 3 一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進 4 人権・同和学習の推進 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり
事業（講座）名	事業内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
三世代交流事業	児童と学校関係者、地域住民でサツマイモの苗植えから収穫までを一緒に行い、育てる楽しみ、団結力、食育に関心を持ってもらう。
船木を歩こう	多くの史跡が残る船木地区、船木のシンボルである池田池の散策、健康増進を図る。 ・船木を歩こう（年5回）
地域づくり講座	安心・安全なまちづくり、地域づくりのために、幅広い世代を対象とした訓練や講座を行う。 ・交通安全教室 ・公民館防災訓練
環境講座	児童・地域が協力し、花づくり等の環境整備をし、かつボランティア精神を育てる。 ・花いっぱい運動（年2回）
子ども講座	夏休みの長期の休暇を活用し、学ぶ、遊ぶ、実験するなどの機会を設ける。 ・絵手紙教室 ・おやつ教室 ・防災食を作る
伝統文化講座	船木地域に残る伝統文化を継承する。 ・七夕教室 ・かぶと踊り教室 ・盆踊り教室 ・とうどまつり ・七草教室 ・昔の遊び教室
趣味講座	モノづくりを通じて、新しい世界や知識に触れ、交流の場を作る。 ・陶芸教室 ・味噌作り2回 ・お菓子教室
男の料理教室	老若男女問わず誰でも参加できるような講座で、特に男性が自分で簡単に出来る料理を紹介する。
国際交流事業	他国の人と交流し、お互いの国について知ることで、視野を広げる。 ・料理教室

公 民 館 事 業 計 画

大 生 院 公 民 館

公民館重点目標	～地域住民が集まり、共に進む公民館～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進 2 地域歴史遺産を生かした特色ある事業の推進 3 自主防災組織の更なる充実と意識の向上 4 子どもの居場所づくりと交流 5 人権・同和教育の推進
事業（講座）名	事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者いきいきセミナー	校区の高齢者を対象に、学びを通して健康づくりや仲間づくりができるような場を提供する。
くらしのセミナー	文化教養を深めるため、多種多様な講座を開設し、仲間づくりやコミュニティづくりの場を提供する。
わくわく体験講座	長期休み時の児童・生徒に、学びや異学年間の交流の機会を提供する。
郷土の歴史と文化	市内や校区内の豊かな自然、史跡や歴史、偉人について学び、地域への関心と愛情を育む。 ・歩いてゆく大野山ツアー ・近藤篤山翁の孝道を訪ねて など
スポーツ健康教室	校区住民を対象に、軽スポーツを通して、世代間交流や健康増進を図る。
三世代交流事業	地域の大人と子どもがともに伝統文化に触れ、学びながら交流を図り親睦を深める。 ・たのも団子 ・昔遊び ・しめ縄作り ・七草教室 など
大生院まちづくり事業	安心安全なまちづくり、魅力あるまちづくりに取り組むべく、地域住民がつどい話し合える場を提供し、地域の活性化を目指す。
若者塾	若い世代を対象に、地域課題解決に向けた話し合いや集いの場を提供する。また、様々な国の伝統や文化も学び、多文化共生社会の推進を図る。

公 民 館 事 業 計 画

角 野 公 民 館

公民館重点目標	～つながり・学び・支え合いを大切にした地域づくりを目指して～ 1 世代を超えた交流を通して、地域のつながりを深める 2 地域の特性を活かした学びや体験活動の充実を図る 3 子どもから大人まで安心して過ごせる居場所づくりを進める 4 防災意識の向上と、安全で安心な地域づくりを推進する 5 健康でいきいきと暮らせる地域づくりを目指す
事業（講座）名	事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
合同セミナー	異世代交流を目的とし、各種団体の協力を得て、子どもたちが地域の人との交流を図り、より良い人間関係・地域関係を築き、コミュニティを深める。 ・開講式記念講演会 ・角野ウォークラリー ・おはようラジオ体操 ・三世代交流事業 ・閉講式記念講演会
手作りセミナー	生涯学習委員会が中心となり、文化教養を高める講座を企画し、新たな自分と出会える場にする。講座の参加を機会に地域との関わりを持てる人材の育成を図る。 ・干支づくり ・エコクラフト講座 など
いきいき生活セミナー	高齢者を中心に、情報交換の場を提供する。健康で生き生きとした生活をおくり高め合い、地域に必要とされる高齢者になることを目的とし、よりよい仲間づくりへと進展させる。 ・地域探訪 ・折り紙教室 など
スポーツ健康教室	各種スポーツを通じ、子どもから高齢者と幅広く連携を図り、元気な体づくりを推進する。
未来まちづくりプラン	地域づくりに関わる将来の担い手を呼び込むため、小・中学校との連携を強化する。また、公民館が第3の居場所となるような、集える場所を提供する。防災訓練教育、知らなかった地域の宝を見つける。環境に配慮した環境緑化推進事業。 ・夢の授業 ・すみのシェイクアウト ・公民館開放デー！
伝統文化継承プラン	地域と学校が連携し、地域に残る近代化産業遺産や身近な歴史を深く知り学ぶことを目標とし次世代に託す。 ・紙ひこうき大会 ・観月祭 ・とうどおくり
家庭教育セミナー	子どもたちの健全育成のために、親子関係、地域の大人とのコミュニケーションを深める。社会の担い手を育成する。 ・理科実験教室 ・防災サバイバルキャンプ
国際交流	校区住民の異文化に対する理解と認識を深め、地域特性を活かした幅広い交流を行う。 ・韓国語読み聞かせ ・韓国料理を作ろう
若い世代対象	次世代を狙う若い世代に、公民館を活用してもらえ、きっかけづくりになる場にする。 ・今から賢く教育資金をつくる2つの方法 など

公 民 館 事 業 計 画

別 子 山 公 民 館

公民館重点目標	～地域づくりの拠点として、暖かくぬくもりのある公民館を目指して～ 1 学校・地域との連携を図り、世代間交流の充実強化に繋げる。 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る。 3 人権・同和教育の推進 4 防災意識の向上と、安全で安心な地域づくりを推進する
事業（講座）名	事業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
別子山秋季大運動会	学校と地域が一体となって運動会を実施し、地域住民の体力の向上と連帯感の育成を行い、地域内外との人的交流を図ることを目的に実施する。
三世代交流餅つき	若年層から高齢者まで三世代が交流し、おもちつきを行う事で、世代を超えた繋がりや相互理解が深まり、様々な価値観を共有することが出来る。
地域文化の伝承 ・そば作り ・とうふ作り	古くから受継がれてきた食文化を、後世に伝え残す事が重要となっている。何度も繰返し行うことで、次世代へと受け継ぐ事が出来る。
地域防災講座	地域防災の拠点となる公民館、避難所としての機能を十分発揮できるように、避難所運営を学ぶ講座を開設する。

青 少 年 セ ン タ ー

重点目標

- 1 「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止に努める。
- 2 学校周辺を巡回し、児童生徒の安全確保に努める。
- 3 安全情報ネットワークの整備に努める。

重点事項

1 健全育成活動の推進

- (1) 青少年の被害・非行防止全国強調月間（7月）、子ども・若者育成支援強調月間（11月）の推進
- (2) 青少年善行表彰

2 相談活動の推進

- (1) 相談業務の周知徹底、積極的な相談活動
- (2) 適切な資料提供並びに専門機関への紹介

3 少年補導委員による補導活動の充実

- (1) 地域に密着した昼夜の街頭補導
- (2) 夏祭り、花火大会、年末等における特別街頭補導
- (3) 支部長による広域補導

4 環境浄化活動の推進

- (1) 危険箇所、非行集団等のたまり場の早期発見と指導
- (2) 20歳未満の喫煙、飲酒防止の推進

5 情報収集と啓発活動の充実

- (1) 青少年健全育成入選標語の広報による周知、啓発
- (2) ホームページによる情報発信
- (3) ホームページによるセンターだよりの掲載

6 研修活動

- (1) 少年補導委員研修大会の実施
- (2) 各種研修会への派遣

7 関係機関・団体・学校等との連携強化

- (1) 学校・警察・児童相談所等との相互情報交換並びに連携の推進
- (2) 少年補導委員会等（支部長会）の開催
- (3) 青少年健全育成、非行防止に関する各種会合等への積極的な参加

施設状況

所 在 地	開 設 年 月 日	構 造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電 話	所長氏名
繁本町8番65号	昭和 39.7.16	鉄筋コンクリート造 2階建	403.68	403.68	33-4152	和田 隆宏

地区別少年補導委員の状況

(令和8年4月1日現在)

地 区 別	補 導 委 員 数		
	男 (人)	女 (人)	計 (人)
川 西 地 区	38	12	50
川 東 地 区	34	19	53
上 部 地 区	43	22	65
計	115	53	168

生涯学習センター

重点目標

急激な社会の変化に対応し、多様化・複雑化する社会の課題を解決するために、学ぶことと学びの成果を活かす循環型の学習社会づくりを目指す。昨年度に続き、「SDGsの実現」「ウェルビーイングの実現」「ニューノーマルへの挑戦」をテーマに掲げ、「開かれ、つながる生涯学習」の実現に取り組む。

重点事項

1 生涯学習大学事業の推進

- (1) 大学、工業高等専門学校等の高等教育機関等との協働により、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、市民の高度な学習要求に応える講座を開設する。
- (2) 市民の多様な要望に応える学びと、社会の要請に対応した学びのバランスを追求する。
- (3) 市民スタッフ“まなびすと”が企画運営を担う市民主体の生涯学習大学を目指す。
- (4) 生涯学習の人材育成を目指し、生涯学習大学で培ったノウハウを地域づくりに還元できる仕組みづくりを推進する。

2 生涯学習情報の収集・提供及び学習体制の充実

- (1) 県生涯学習情報システムの有効活用を図る。
- (2) 生涯学習に関する情報を収集し、「悠游たより」等により情報発信を行う。
- (3) 生涯学習に関する市民のニーズに応えるための相談体制を充実させる。

3 生涯学習を推進するネットワークの促進

- (1) 公民館との連携を密にするとともに、市内の生涯学習関連機関、施設、事業所等との関係性を強化し、より多くの市民が学習に取り組むことができる生涯学習ネットワークの構築に努める。
- (2) 生涯学習に関連する機関、団体との連携の強化に努め、協働型の事業を展開する。
- (3) 市内の人材の発掘と育成を進め、リーダーバンクの有効活用を図る。

4 生涯学習に関連する指導者の育成と生涯学習のまちづくりの推進

- (1) 生涯学習まちづくり事業の企画運営に関わる人材育成のための研修機会の充実を図る。
- (2) 生涯学習スタッフを設置し、学習の企画立案・運営手法に習熟した人材の育成に努める。
- (3) 生涯学習ボランティアの実践活動の拡充を目指す。

5 メディアライブラリー機能の整備と有効活用

- (1) マルチメディアを活用した自主教材の製作をすすめ、教材としての活用を図る。
- (2) 視聴覚指導者、ICT活用者の育成を図る。

施設状況

所在地	開設年月日	構造	敷地面積(m ²)	建物延面積(m ²)	電話	所長氏名
繁本町8番65号	平成3.4.1	鉄筋コンクリート造 (市民文化センター本館2階)	—	—	33-2991	関 福生

高 齢 者 生 き が い 創 造 学 園

重点目標

高齢化が急速に進展する社会の中で、ボランティア活動を行い、共に学ぶ喜びを共有することによって、生きがいを見つける学習機会を提供する。

重点事項

1 講座の開設

概ね60歳以上の方を対象に、講座を開設して高齢者の要望に応え、基本的要求である健康維持と、生活上の諸問題をテーマとする講座と講義や実技を通して学習を楽しみ、生きがいの創造をテーマとする講座を設ける。

2 サークル活動

- (1) 講座終了者が、自主的で幅広い活動ができるようにする。
- (2) 週1回程度活動し、学習の深化・発展を図り、自由に積極的に学習する機会を提供する。
- (3) サークルごとに会員登録を行い、代表者を中心に年間計画を立てて自主的な運営を図るとともに、学園の全体活動への積極的な参加を促進する。

3 代表者会活動

学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図る。代表者会は、学園の各講座受講者とサークル会員の互選により選出された代表者で構成され、総務・広報・体育・文化・音楽のいずれかの委員会に属する。

4 ボランティア活動の推進

高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習をうながし、それによって自らの生きがい発見の場とさせる。

- (1) 受講者のボランティア活動について啓発を図る。
- (2) その活動を通して仲間作りに発展するように努める。
- (3) 関係諸団体との連絡を密にして、現地研修、講師を招いての学習をすすめることによってボランティア活動の推進を図る。

5 生き方の啓発や学習情報の提供

高齢者にとっての必要な情報を把握し、その提供に努める。

- (1) 学園の全体的な学習活動を中心とした情報の提供や生き方の啓発に努める。
- (2) アンケート調査やその他の方法によって受講者の要望を把握するとともに、掲示や学習資料・チラシ等を通してその期待に応えるようにする。

6 関係機関との連携

庁内関係各課はもちろん、各公民館・各交流センター・各シニア交流センターなどの関係機関との連携を密にし、協力する。

講座編成については、他機関のものと重複を避け、講座の設置目的を明確にする。

施設状況

所在地	開設年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電話	園長氏名
上原二丁目8番1号	平成 5.4.1	鉄筋コンクリート造 2階建	18,684.23	3,759.85	44-4826	村上 敏之

図 書 館

第 1 最重要課題

生涯学習及び地域情報拠点としての図書館機能の充実

第 2 重点事項（取組方針）

1 読書活動の推進と機会の提供、生涯学習の支援

市民の自主的、主体的な学習活動を支援するため、多様化する市民ニーズに対応した資料・情報の充実を図るとともに、各種事業等の実施を通じ学習機会・場所の提供に努める。

（具体策）・こども読書通帳マラソンの実施

- ・お話会の充実（対象年齢別、外国語、季節行事等）
- ・「夏休みは図書館へ行こう！」等子ども向けイベントの開催
- ・「本のおみくじ」、「大人の読書会」の実施
- ・図書館まつり（ブックリサイクル、講演会、図書館見学、ワークショップ等）
- ・幅広い年代が楽しめる、ホール・会議室等の利用促進
- ・電子図書館の利用促進（学習用タブレットの活用）

2 関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

地域課題の解決等を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、学校や学校図書館、病院や福祉施設、地域企業等との連携を強化し、市民にとって有益な情報の収集及び発信に努める。

（具体策）・ブックスタート事業

- ・出前講座
- ・市内各小中学校図書館との連携
- ・市内各学校、福祉施設等への移動図書館巡回
- ・地域企業等との協働イベント並びに雑誌スポンサー制度の推進及びタイアップセミナーの開催
- ・市担当課及び関連団体等の図書館ロビー展開催の推進

3 地域資料の保存と情報発信、ふるさと学習の推進

郷土の歴史や文化を次世代に継承するため、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

（具体策）・古文書等のデータベース化

- ・「まなび舎来ぶらり」等の実施
- ・別子銅山コーナー、住友関連コーナー及び住友関連企業社史コーナーの充実

4 図書館PR活動の充実

図書館の活動をより多くの市民に知ってもらい図書館の利用促進につなげるため、効果的な広報手段を活用し、PR活動を推進する。

（具体策）・図書館ホームページ、SNS等の充実

- ・学校司書等との連携による各小中学校でのPR活動

5 図書館運営における市民サポーター制度の推進強化

図書館サポーターとの協働による図書館支援の強化を図るとともに活動の情報発信に取り組み、サポーター登録者の拡大と活性化を図る。

6 施設・設備の計画的な維持管理

開館から 33 年を超え、修繕必要箇所も多くなっていることから、来館者が今後も安全に安心して利用できるよう、長期的な施設・設備の維持管理計画を見直し、計画的に修繕等を実施する。

第3 主な事業

1 図書館利用促進事業（21,585 千円）

図書館は地域の情報拠点・生涯学習支援施設としての役割を果たすことが必要であり、市民が必要とする資料・情報の提供を行う。

- ・図書・オーディオヴィジュアル資料等購入

第4 施設状況

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	電話	館長氏名
別子銅山 記念図書館 (本館)	北新町 10番1号	平成 4.3	鉄筋コンクリート造 陸屋根・銅板葺 地下1階付2階建	16,534	3,072	32-1911	横山 倫代
角野分館	中筋町二丁目 4番24号	昭和 54.7	鉄筋コンクリート造 2階建	—	162	41-6217	

資料数

1 図書

(R 8. 3. 31 現在・単位：冊)

区分 分類	本 館				移動図書館		角 野 分 館			合計
	一般	児童	郷土	参考資料	一般	児童	一般	児童	参考資料	
0 総記	(164) 9,859	(37) 854	(19) 2,129	(20) 2,465	(6) 41	(5) 91	(19) 526	(8) 181	(0) 76	(278) 16,222
1 哲学	(165) 10,601	(23) 638	(4) 210	(2) 427	(25) 148	(3) 119	(18) 285	(6) 137	(0) 2	(246) 12,567
2 歴史	(521) 19,523	(49) 2,815	(32) 3,082	(10) 990	(22) 216	(12) 417	(36) 728	(37) 690	(0) 27	(719) 28,488
3 社会	(628) 23,378	(87) 2,897	(24) 3,536	(36) 1,036	(33) 309	(7) 180	(34) 637	(37) 518	(0) 4	(886) 32,495
4 自然	(481) 14,517	(199) 5,247	(8) 433	(7) 522	(57) 494	(55) 821	(44) 559	(96) 1,180	(2) 16	(949) 23,789
5 工学	(488) 16,676	(73) 1,552	(6) 833	(16) 547	(42) 868	(14) 260	(50) 1,003	(35) 409	(0) 5	(724) 22,153
6 産業	(179) 5,508	(35) 1,067	(11) 696	(5) 182	(6) 172	(7) 101	(10) 203	(15) 197	(0) 1	(268) 8,127
7 芸術	(297) 22,539	(184) 4,013	(14) 710	(4) 270	(44) 737	(24) 642	(46) 758	(40) 701	(0) 0	(653) 30,370
8 語学	(91) 2,881	(21) 701	(1) 84	(3) 408	(4) 52	(7) 106	(3) 95	(9) 152	(0) 21	(139) 4,500
9 文学	(1,712) 82,758	(526) 25,114	(29) 1,431	(4) 387	(231) 3,023	(95) 2,955	(491) 6,799	(155) 3,364	(0) 3	(3,243) 125,834
C紙芝居		(28) 1,692				(0) 219		(3) 241		(31) 2,152
E絵本		(1,013) 29,843				(160) 4,948		(308) 3,918		(1,481) 38,709
その他										
計	(4,726) 208,240	(2,275) 76,433	(148) 13,144	(107) 7,234	(470) 6,060	(389) 10,859	(751) 11,593	(749) 11,688	(2) 155	(9,617) 345,406

2 A V 資料 (R 8. 3. 31 現在・単位：点)

A V 資 料	
C T (カセットテープ)	(0) 30
V T (ビデオテープ)	(0) 65
C D	(66) 3,211
D V D	(51) 2,217
計	(117) 5,523

()内はR7年度受入数

3 電子書籍

(R 8. 3. 31 現在・単位：点)

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	E 絵本	その他	計
資料数	33	47	113	151	207	187	41	88	55	481	114	50	(280) 1,567

()内はR7年度受入数

学 校 教 育 課

第 1 最重要課題

誰ひとり取り残さない教育の推進

第 2 重点事項（取組方針） コミュニティ・スクールの強みを生かす

～いじめ・不登校を生まない支持的風土のある学校～

1 「持続可能な社会」の担い手育成に向けた、地域とともに育つ学校づくり

（1）地域とともに育つ学校づくりの推進

市内の全小・中学校にコミュニティ・スクールを導入しており、地域と学校が公式のパートナーとして、ともに子どもたちを育て、ともにつくる「地域とともに育つ学校づくり」を推進する。

ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進

イ コミュニティ・スクールに係る研修等の実施

ウ 別子中学校学び創生事業

（2）学校・地域の特色を生かした教育活動の展開

市内の全小・中学校がユネスコスクールに認定されており、ユネスコスクールとしてE S Dの視点に立った特色ある学校づくりに取り組むとともに、持続可能な社会の担い手を育てるため、学校と地域が連携して自主的に創意工夫を凝らした教育活動を展開する。また、それらの教育活動がどのSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けたものなのかを明確にすることで、より深化した学びとなるよう努める。

ア ふるさと学習の充実【ふるさと学習奨励賞】【新居浜ものしり検定】

イ 環境教育の充実

ウ 別子銅山と新居浜市の歴史学習によるSDGs達成に向けた学びの充実【E S D推進事業】【住友企業出前授業】

（3）放課後における子どもの居場所づくりと子どもたちの健全育成の推進

放課後における子どもの居場所づくりとともに、子どもたちの健全育成に取り組むため、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、放課後まなび塾の一体的な運営の推進を図る。

ア 放課後児童クラブ、放課後子ども教室、放課後まなび塾を連携して実施

イ 放課後子ども教室、放課後まなび塾の充実

ウ 長期休業中の放課後まなび塾の実施

2 互いの人権を尊重し、一人一人が支え合い、認め合う人間関係づくり

不登校やいじめによる学校や社会への適応が難しい児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、学校、家庭、地域と関係機関及び専門家との連携を進めながら、チームとして支援に取り組む。また、「目指す子ども像」を「しなやかさとたくましさをもち未来を拓く子」とし、学校における学級経営改善を図るとともに、いじめ・不登校の未然防止と早期対応の強化、人権教育の推進に努める。

（1）いじめ・不登校対策の推進

ア スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門家との連携推進

イ 市教育支援センターにおける学習支援及び相談支援

ウ ICTを活用した不登校児童生徒への支援推進

エ ハートなんでも相談員の配置

（2）差別解消に主体的に取り組む児童生徒の育成

（3）自分の大切さとともに他の人の大切さを認めながら、ともに生きていこうとする実践的な態度の育成

（4）「人のことを大切にして聞くこと」「勇気づけの声掛け（ボイスシャワー）」の実践

3 生きる力を育む教育の推進

確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的知識や技能を習得させ、課題解決能力を育てる学習の充実を推進する。

- (1) 英語力の向上【生きた英語教育推進事業－A L T・英語指導員の配置】
- (2) 学校図書館支援センターの学校司書派遣による授業支援
- (3) English Summer School の開催
- (4) 小中学生あかがね算数・数学コンテストの開催
- (5) 小中学生科学奨励賞事業の開催
- (6) 中学生弁論大会の開催
- (7) 中学生英語スピーチコンテストの開催
- (8) えひめジョブチャレンジU－15事業の実施
- (9) 小中学校音楽発表会の開催

4 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化

次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース報告に基づき、指導体制の強化及び学校現場の業務改善を推進する。

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の研究・推進
- (2) 新居浜授業モデルに即した実践的な授業研究の推進
- (3) 教職員研修の充実
- (4) 教職員のICT活用スキルの向上
- (5) 新居浜市教育研究所の機能強化（学力向上研修会との連携）
- (6) 校務支援システムの活用
- (7) 部活動指導員の配置
- (8) 部活動の地域展開に向けた検討推進
- (9) スクール・サポート・スタッフの配置

5 安全・安心で充実した教育環境の整備

- (1) 小・中学校での感染症予防対策の実施
- (2) 小・中学校での防災教育の実施
- (3) ICT機器を活用した教育の推進

第3 主な事業

1 小中学校 ICT 環境整備推進事業（305,316 千円）

新学習指導要領では情報活用能力の育成、プログラミング教育の実施などにおいて、ICT環境の整備方針が示されており、その水準を目標にICT機器の整備を推進する。また、統合型校務支援システムを活用した業務改善の促進も提言されており、校務の効率化、子ども達と向き合える時間の確保を目標に、校務支援システムの整備を行う。

2 小学校サポートルーム活用事業（7,689 千円）

不登校者数が急増している小学校において、教室に入られない児童が安心できる校内の「居場所」を確保し、不登校傾向を初期段階で対応するとともに、一人一人の発達段階に応じた支援・相談を行い、将来的な不登校児童生徒数の増加を抑制する。サポートルームの利用状況や課題について学校と情報を共有し、改善を図り、充実した運営と成果の検証に取り組みながら、小・中学校それぞれの運営方法にかかる成果と課題を整理し、今後の設置の在り方についても検討を行う。

新居浜市教育研究所の概要

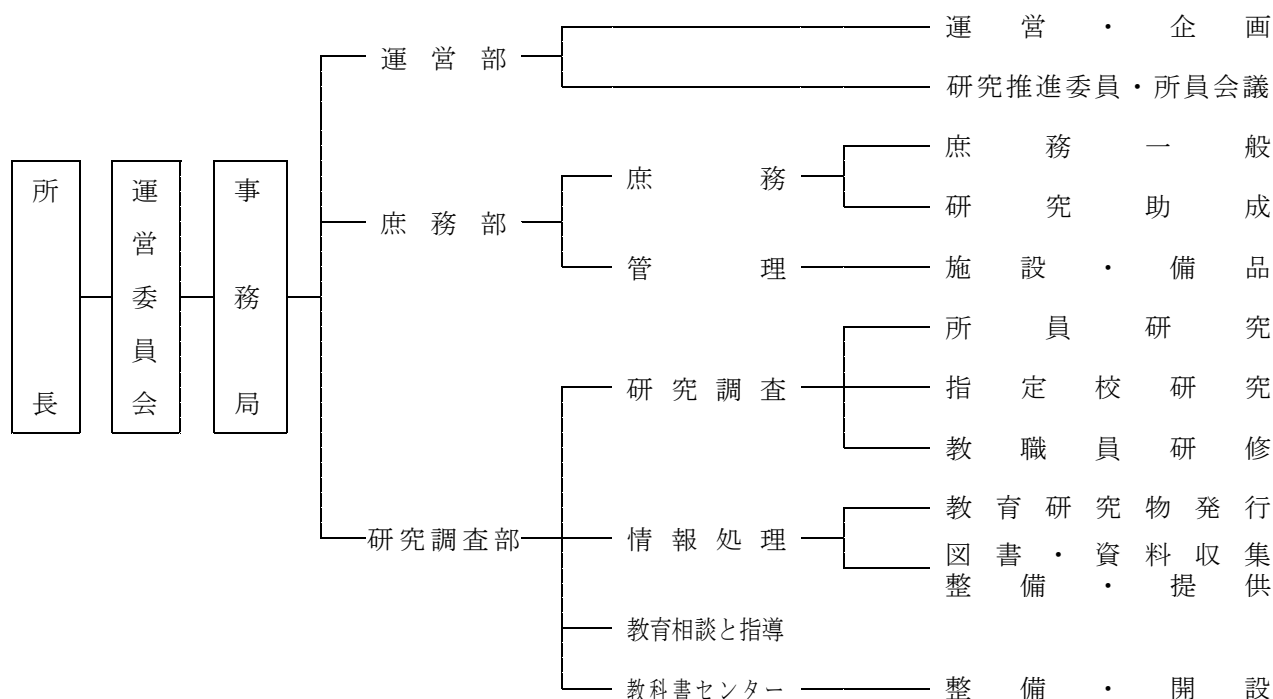
1 沿革の概要

昭和33年3月31日 新居浜市教育研究所設置条例に基づき、新居浜市教育研究所を置く。

昭和46年6月 教育会館の2階に教育研究室を設ける。

令和8年度 第26期新居浜市教育研究所の発足

2 機構・組織



3 事業内容

(1) 教育に関する専門的、技術的事項の研究

ア 研究所員（学力向上研修会 研修担当部会長）による研究報告

イ 第26期新居浜市教育研究所

ウ 新居浜市教育力向上推進委員会（教科・教科外主任会、学力向上研修会との連携）

(2) 教育に関する調査及び各種教育資料の作成及び共有（データ）

ア 教育研究物の発行

● 3・4年生用社会科副読本

● 研究紀要

イ 教育に関する調査と資料の作成

● ふるさと学習

(3) 教育関係職員の研修

教科研修等

(4) 教育図書・資料及び教科書センターの経営

ア 図書の整備、閲覧、貸出し

イ 各種資料の収集、整理、提供

ウ 教科書センターの整備と開設

4 研究のあゆみと歴代研究所長

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	研 究 期 ・ 研 究 主 題 等
藤田 弥一郎	昭和33年 4 月 1 日	昭和37年 3 月31日	第1期 科学技術教育研究会 第2期
河 野 貴	昭和37年 4 月 1 日	昭和40年 3 月31日	第3期 授業の分析
岡田 信秋	昭和40年 4 月 1 日	昭和43年 3 月31日	第4期 授業の分析
尾崎 健次郎	昭和43年 4 月 1 日	昭和46年 3 月31日	第5期 個性能力に応ずる教育の研究
神野 忠利	昭和46年 4 月 1 日	昭和48年 3 月31日	第6期 学習指導の近代化
印南 忠一	昭和48年 4 月 1 日	昭和52年 3 月31日	第7期 学習指導の近代化
大西 博臣	昭和52年 4 月 1 日	昭和56年 3 月31日	第8期 自ら学ぶ力を育てる指導
村上 好央	昭和56年 4 月 1 日	昭和58年 3 月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
永 井 弘	昭和58年 4 月 1 日	昭和59年 3 月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
久 米 浩	昭和59年 4 月 1 日	昭和60年 3 月31日	第10期 授業の質的改善の研究
加藤 勝見	昭和60年 4 月 1 日	昭和61年 3 月31日	第10期 授業の質的改善の研究
廣川 地彦	昭和61年 4 月 1 日	昭和62年 3 月31日	第10期 授業の質的改善の研究
宮 崎 弘	昭和62年 4 月 1 日	昭和63年 3 月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
廣川 地彦	昭和63年 4 月 1 日	平成元年 3 月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
渡 邊 健	平成元年 4 月 1 日	平成 3 年 3 月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
宮 崎 弘	平成 3 年 4 月 1 日	平成 5 年 3 月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
一色 康範	平成 5 年 4 月 1 日	平成 7 年 3 月31日	第13期 子どもの可能性を招く学習指導と評価の研究
鴻上 政士	平成 7 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合 田 正	平成 9 年 4 月 1 日	平成10年 3 月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合 田 正	平成10年 4 月 1 日	平成11年 3 月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
山本 光博	平成11年 4 月 1 日	平成12年 3 月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
河野 義隆	平成12年 4 月 1 日	平成14年 3 月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究 第16期
藤本 博文	平成14年 4 月 1 日	平成16年 3 月31日	第16期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
三浦 孝信	平成16年 4 月 1 日	平成18年 3 月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
佐藤弘美子	平成18年 4 月 1 日	平成19年 3 月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
真鍋 智明	平成19年 4 月 1 日	平成21年 3 月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上
秋 本 司	平成21年 4 月 1 日	平成23年 3 月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上 第19期 学力の向上を図る実践研究
坪本 道夫	平成23年 4 月 1 日	平成25年 3 月31日	第19期 学力の向上を図る実践研究 ふるさと学習の研究
横井 敏行	平成25年 4 月 1 日	平成27年 3 月31日	第20期 確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究
高橋 良光	平成27年 4 月 1 日	平成30年 3 月31日	第20期 確かな学力を育むための実践研究 第21期 ふるさと学習の研究
田 中 利 季	平成30年 4 月 1 日	令和 2 年 3 月31日	第22期 未来を生き抜く力を育む実践研究
矢野 雅士	令和 2 年 4 月 1 日	令和 5 年 3 月31日	第23期 未来を共創する「生き抜く力」を育む実践研究 第24期
畑野 一恵	令和 5 年 4 月 1 日	令和 7 年 3 月31日	第24期 未来を共創する「生き抜く力」を育む実践研究 第25期
守谷 憲二	令和 7 年 4 月 1 日		第26期 未来を共創する「生き抜く力」を育む実践研究

学 校 教 育 計 画 資 料

1 研究指定校（発表校）・訪問指導校・研修会開場等予定校

	学校名	内 容		指定年度	
小 学 校	新居浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	誕生学プログラム	7	8
		市	人権・同和教育研究大会	7	
	宮西小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	誕生学プログラム	7	8
		市	人権・同和教育研究大会	7	
	金子小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	誕生学プログラム		8
	金栄小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	誕生学プログラム	7	8
		市	人権・同和教育研究大会		8
	高津小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	
		市	新居浜市校内サポートルーム活用事業		8
		市	誕生学プログラム		8
	浮島小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	誕生学プログラム		8
	惣開小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	人権・同和教育研究大会		8
		市	誕生学プログラム	7	8
		市	健康教育研究大会	7	8
	垣生小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	誕生学プログラム		8
	神郷小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	
		県	人権・同和教育訪問	7	
		市	新居浜市校内サポートルーム活用事業		8
		市	誕生学プログラム	7	8
	多喜浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	誕生学プログラム	7	8
	泉川小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	
		県	初任者研修教育事務所研修	7	
		市	新居浜市校内サポートルーム活用事業		8
		市	人権・同和教育研究大会		8
		市	誕生学プログラム	7	8
	船木小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	
		市	新居浜市校内サポートルーム活用事業		8
		市	誕生学プログラム	7	8
		市	人権・同和教育研究大会	7	
	中萩小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		国・県	特色ある道徳教育推進事業	7	8
		県	ハートなんでも相談員設置事業	7	
		市	新居浜市校内サポートルーム活用事業		8
		市	誕生学プログラム	7	8

小 学 校	大生院小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		県・市	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	誕生学プログラム	7	8
	角野小学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	7	
		市	新居浜市校内サポートルーム活用事業		8
		市	誕生学プログラム		8
		市	人権・同和教育研究大会	7	
	別子小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8
		市	誕生学プログラム		8
		市	人権・同和教育研究大会	7	
中 学 校	東中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	いのちの授業開催事業		8
		市	人権・同和教育研究大会	7	
	西中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		県	プレジヨブチャレ「夢わく work (わくわく) フェスタ」	7	
	南中学校	市	いのちの授業開催事業		8
		国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	7	8
		市	人権・同和教育研究大会		8
	北中学校	市	いのちの授業開催事業	7	
		国	がん教育推進事業	7	
		県・市	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
	泉川中学校	市	いのちの授業開催事業	7	
		国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	7	8
	船木中学校	県	初任者研修教育事務所研修	7	
		国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	7	8
	船木中（ひびき分校）	市	いのちの授業開催事業	7	
		市	いのちの授業開催事業		8
	中萩中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		県	愛媛県校内サポートルーム設置事業	7	8
		市	人権・同和教育研究大会		8
	大生院中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	7	8
		市	いのちの授業開催事業	7	
	角野中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	7	8
		市	いのちの授業開催事業		8
	川東中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	7	8
		県	東予管内免許外教科担任教員研修	7	
		市	新居浜市校内サポートルーム活用事業	7	8
		市	人権・同和教育研究大会	7	
	別子中学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	7	8

※全小中学校において、持続可能な開発のための教育(E S D)をめざす学校づくりを推進する。

2 学校教育における人権・同和教育研究会

行 事	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考
新居浜市人権・同和教育研究大会								小中合同 25日（水）					小学校3校 中学校2校
愛媛県人権・同和教育研究大会								10日（火）					松山市
四国地区人権教育研究大会				2日 （木） ～3日 （金）									高松市
全国人権・同和教育研究大会								28日（土）～ 29日（日）					埼玉県

令和8年度 児童・生徒・園児・教職員数

小 学 校

学年・性別 学校名		1 学 年			2 学 年			3 学 年			4 学 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新居浜小学校	児童数	14	8	22	14	8	22	12	17	29	11	8	19
	学級数	1			1			1			1		
宮西小学校	児童数	11	12	23	11	13	24	12	14	26	22	5	27
	学級数	1			1			1			1		
金子小学校	児童数	35	31	66	28	44	72	39	34	73	40	37	77
	学級数	2			2			2			3		
金栄小学校	児童数	25	25	50	30	26	56	33	32	65	28	41	69
	学級数	2			2			2			2		
高津小学校	児童数	50	40	90	34	39	73	38	35	73	57	32	89
	学級数	3			2			2			3		
浮島小学校	児童数	4	3	7	6	5	11	6	6	12	4	4	8
	学級数	1			1			1			1		
惣開小学校	児童数	24	24	48	33	28	61	27	30	57	31	24	55
	学級数	2			2			2			2		
垣生小学校	児童数	21	15	36	18	15	33	17	10	27	23	24	47
	学級数	1			1			1			2		
神郷小学校	児童数	43	37	80	40	35	75	49	36	85	40	28	68
	学級数	3			3			3			2		
多喜浜小学校	児童数	2	5	7	7	5	12	5	13	18	11	8	19
	学級数	1			1			1			1		
泉川小学校	児童数	45	44	89	32	53	85	40	48	88	52	42	94
	学級数	3			3			3			3		
船木小学校	児童数	15	20	35	19	16	35	26	19	45	34	33	67
	学級数	1			1			2			2		
中萩小学校	児童数	58	51	109	57	56	113	68	64	132	72	70	142
	学級数	3			4			4			4		
大生院小学校	児童数	19	12	31	10	5	15	17	16	33	15	13	28
	学級数	1			1			1			1		
角野小学校	児童数	41	30	71	42	45	87	53	47	100	44	43	87
	学級数	2			3			3			3		
別子小学校	児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	学級数	0			0			0			1		
計	児童数	407	357	764	381	393	774	442	421	863	485	412	897
	学級数	27			28			29			32		

※大島小学校…H25. 3. 31 廃校 若宮小学校…H30. 3. 31 廃校

船木小学校…児童数にわかば分教室を含む

(令和8年5月1日現在)

5 学 年			6 学 年			計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	男	女	計	男	女	計	通常	特別支援	計		
10	19	29	14	16	30	75	76	151	6	3	9	15	1
1			1			6							
14	16	30	12	10	22	82	70	152	6	3	9	17	1
1			1			6							
40	36	76	55	46	101	237	228	465	15	5	20	31	1
3			3			15							
29	33	62	35	28	63	180	185	365	12	3	15	20	1
2			2			12							
41	45	86	41	58	99	261	249	510	16	4	20	27	1
3			3			16							
6	9	15	10	7	17	36	34	70	6	4	10	14	0
1			1			6							
28	24	52	32	35	67	175	165	340	12	3	15	20	1
2			2			12							
16	18	34	25	19	44	120	101	221	8	3	11	18	1
1			2			8							
34	41	75	61	29	90	267	206	473	17	4	21	32	2
3			3			17							
8	12	20	7	7	14	40	50	90	6	2	8	12	1
1			1			6							
49	42	91	46	58	104	264	287	551	18	5	23	30	1
3			3			18							
22	32	54	25	20	45	141	140	281	10	4	14	20	1
2			2			10							
57	69	126	74	64	138	386	374	760	23	6	29	43	2
4			4			23							
11	20	31	25	16	41	97	82	179	7	3	10	17	1
1			2			7							
45	49	94	42	53	95	267	267	534	17	5	22	28	1
3			3			17							
0	0	0	1	0	1	2	0	2	1	1	2	3	0
0			0			1							
410	465	875	505	466	971	2,630	2,514	5,144	180	58	238	347	16
31			33			180							

中 学 校

学年・性別 学校名		1 学 年			2 学 年			3 学 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
東 中 学 校	生徒数	54	52	106	59	52	111	59	40	99
	学級数	3			3			3		
西 中 学 校	生徒数	25	28	53	29	42	71	30	26	56
	学級数	2			2			2		
南 中 学 校	生徒数	89	63	152	87	78	165	77	51	128
	学級数	5			5			4		
北 中 学 校	生徒数	22	19	41	19	29	48	32	27	59
	学級数	2			2			2		
泉 川 中 学 校	生徒数	53	45	98	53	52	105	47	41	88
	学級数	3			3			3		
船 木 中 学 校	生徒数	32	25	57	27	29	56	33	34	67
	学級数	2			2			2		
船 木 中 学 校 ひびき分校	生徒数	0	0	0	0	0	0	5	0	5
	学級数	0			0			1		
中 萩 中 学 校	生徒数	57	70	127	60	62	122	71	70	141
	学級数	4			3			4		
大 生 院 中 学 校	生徒数	20	23	43	16	10	26	21	17	38
	学級数	2			1			1		
角 野 中 学 校	生徒数	48	53	101	44	48	92	46	49	95
	学級数	3			3			3		
川 東 中 学 校	生徒数	72	67	139	78	76	154	93	83	176
	学級数	4			4			5		
別 子 中 学 校	生徒数	3	3	6	3	4	7	2	4	6
	学級数	1			1			1		
計	生徒数	475	448	923	475	482	957	516	442	958
	学級数	31			29			31		

幼 稚 園

年齢・性別 幼稚園名		4 歳 児			5 歳 児			
		男	女	計	男	女	計	
神 郷 幼 稚 園	園児数	2	1	3	5	1	6	
	学級数	1			1			

※ 王子幼稚園……R4.3.31 廃園

(令和8年5月1日現在)

計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	通常	特別支援	計		
172	144	316	9	4	13	25	1
9							
84	96	180	6	3	9	18	2
6							
253	192	445	14	3	17	31	3
14							
73	75	148	6	2	8	18	1
6							
153	138	291	9	3	12	23	3
9							
92	88	180	6	2	8	16	2
6							
5	0	5	1	0	1	6	0
1							
188	202	390	11	4	15	28	2
11							
57	50	107	4	2	6	16	1
4							
138	150	288	9	3	12	24	1
9							
243	226	469	13	5	18	31	2
13							
8	11	19	3	0	3	10	1
3							
1, 466	1, 372	2, 838	91	31	122	246	19
91							

(令和8年5月1日現在)

計				教 員 数
男	女	計		
7	2	9		3
2				

学 校 等 一 覧

幼 稚 園

園 名	所 在 地	電 話 (F A X)	園 長 氏 名
神 郷	郷三丁目 8 番 16 号	45-0170 (45-0170)	谷 口 知 子

※ 王子幼稚園……R4.3.31 廃園

小 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (F A X)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
新 居 浜	新須賀町三丁目 1 番 58 号	37-3061 (37-3062)	吉 永 崇 彦	市 位 健
宮 西	宮西町 5 番 56 号	33-8940 (33-8941)	岡 俊 守	伊 藤 亜 野
金 子	久保田町一丁目 3 番 57 号	37-2221 (37-2302)	高須賀 美 雪	山 中 匡
金 栄	西の土居町一丁目 5 番 1 号	37-2313 (37-2120)	築 山 税	青 木 優 典
高 津	宇高町二丁目 13 番 7 号	37-3754 (37-3854)	直 野 伸 也	森 克 也
浮 島	八幡二丁目 2 番 65 号	33-1020 (33-1021)	宇 野 公 章	築 山 紀 子
惣 開	王子町 1 番 3 号	37-3401 (37-3402)	中 野 実	横 田 香 織
垣 生	垣生一丁目 5 番 38 号	45-0186 (45-0195)	志 賀 忍	藤 田 恵 実
神 郷	神郷一丁目 1 番 1 号	45-0082 (45-0493)	小 野 英 雄	加 藤 佳緒里
多 喜 浜	多喜浜五丁目 7 番 34 号	45-0142 (45-0035)	加 藤 清 幸	印 南 友 統
泉 川	岸の上町一丁目 13 番 68 号	43-4145 (43-4146)	明 星 孝 典	今 村 茂 裕
船 木	船木 4299 番地の 1	41-6260 (41-6362)	菅 野 真 理	鴨 田 礼 子
わかば分教室	船木甲 2971 番地の 1	31-7645 (31-7646)		
中 萩	中萩町 6 番 61 号	41-6225 (41-6265)	畑 野 一 恵	間 部 祐 司
大 生 院	大生院 1070 番地の 1	41-6627 (41-6694)	丸 山 律 子	篠 原 淳 夫
角 野	中筋町二丁目 7 番 10 号	43-7141 (43-7142)	三 木 宏 司	佃 謙 吾
別 子	別子山甲 358 番地	64-2117 (64-2321)	別子中と兼務	別子中と兼務

※ 大島小学校……H25.3.31 廃校

※ 若宮小学校……H30.3.31 廃校

中 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (FAX)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
東	東雲町一丁目4番23号	37-1294 (37-1038)	佐 薙 征 二	高 屋 正
西	江口町7番1号	37-2021 (37-2023)	加 藤 寿 子	小 野 力
南	庄内町二丁目4番47号	37-0310 (37-5392)	加 藤 啓 子	矢 野 幸 博
北	宮西町5番81号	33-9135 (33-9136)	伊 藤 良 夫	白 石 明 幸
泉 川	星原町7番8号	43-5800 (43-5821)	菅 道 正	直 野 圭 子
船 木	船木甲 3754 番地の 1	41-6347 (41-6364)	越 智 誠 司	中 島 慎二郎
船 木 ひびき分校	船木甲 2971 番地の 1	31-7645 (31-7646)		神 野 孝 治
中 萩	中萩町 13 番 31 号	43-5131 (43-5132)	白 川 尚 弘	曾我部 真 輔
大 生 院	大生院 1070 番地の 2	41-6927 (41-6229)	藤 田 義 和	福 羅 紀 彦
角 野	宮原町 11 番 51 号	43-6108 (43-6109)	古 見 総一郎	矢 野 秀 和
川 東	神郷二丁目4番1号	45-0180 (45-0144)	久 保 善 嗣	山 中 健 司
別 子	別子山甲 358 番地	64-2115 (64-2321)	矢 野 誠 治	間 部 崇 史

放 課 後 児 童 ク ラ ブ 一 覧 表

(令和8年5月1日現在)

ク ラ ブ 名 称	設 置 場 所	ク ラ ブ 名 称	設 置 場 所
たねっこクラブ 1	高 津 小 学 校	あひるクラブ 1	神 郷 小 学 校
たねっこクラブ 2	同 上	あひるクラブ 2	同 上
たねっこクラブ 3	同 上	あひるクラブ 3	同 上
ひかりクラブ 1	中 萩 小 学 校	のぞみクラブ 1	惣 開 小 学 校
ひかりクラブ 2	同 上	のぞみクラブ 2	同 上
ひかりクラブ 3	同 上	ひまわりクラブ	垣 生 小 学 校
なかよしクラブ	新 居 浜 小 学 校	あじさいクラブ	多 喜 浜 小 学 校
たんぼぼクラブ 1	金 栄 小 学 校	ぱんだクラブ 1	泉 川 小 学 校
たんぼぼクラブ 2	同 上	ぱんだクラブ 2	同 上
こぼとクラブ 1	角 野 小 学 校	ぱんだクラブ 3	同 上
こぼとクラブ 2	同 上	かがやきクラブ 1	金 子 小 学 校
こぼとクラブ 3	同 上	かがやきクラブ 2	同 上
うずいクラブ	大 生 院 小 学 校	かがやきクラブ 3	同 上
かぶとクラブ 1	船 木 小 学 校	きりんクラブ	上 部 児 童 セ ン タ ー
かぶとクラブ 2	同 上	ぴかっこクラブ	川 東 児 童 セ ン タ ー
すみれクラブ	宮 西 小 学 校		

通 学 区 域

小学校名	通 学 区 域
新 居 浜	大江町、港町、若水町一丁目、若水町二丁目、菊本町一丁目、菊本町二丁目、新須賀町一丁目、新須賀町二丁目、新須賀町三丁目、新須賀町四丁目
宮 西	西町、中須賀町一丁目、中須賀町二丁目、西原町一丁目、西原町二丁目、西原町三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町、繁本町
金 子	一宮町一丁目、一宮町二丁目、久保田町一丁目、久保田町二丁目、久保田町三丁目（１番から９番まで）、八雲町、平形町、田所町、庄内町一丁目、庄内町二丁目、庄内町三丁目、庄内町四丁目（１番から３番まで、５番 30 号から 39 号まで）、庄内町五丁目、庄内町六丁目、江口町（１番から３番まで、５番、６番、８番から 17 番まで）、北新町（１番、２番、４番、５番）、城下町（１番から 6 番まで）
金 栄	滝の宮町、西の土居町一丁目、西の土居町二丁目（１番から 7 番まで、９番から 17 番まで）、高木町、政枝町一丁目、政枝町二丁目、政枝町三丁目、久保田町三丁目（10 番、11 番）、庄内町四丁目（４番、５番（金子小学校の区域を除く。）、６番、７番）、坂井町一丁目、坂井町二丁目、金子丙（１番地から 30 番地まで）
高 津	宇高町一丁目、宇高町二丁目、宇高町三丁目、宇高町五丁目（１番から 9 番まで、12 番、13 番）、沢津町一丁目、沢津町二丁目、沢津町三丁目、東雲町一丁目、東雲町二丁目、東雲町三丁目（１番から 8 番まで）、松の木町（１番）、高津町、清水町、南小松原町、桜木町、郷一丁目（１番、７番）、郷五丁目（２番）、高田二丁目（１番、６番）、田の上四丁目（６番から 9 番まで）
浮 島	松の木町（２番から 13 番まで）、宇高町四丁目、宇高町五丁目（10 番、11 番、14 番、15 番）、垣生六丁目（１番、15 番）、八幡一丁目（９番から 21 番まで）、八幡二丁目、八幡三丁目（１番、４番 4 号から 18 号まで・36 号・40 号・43 号、５番から 8 番まで、9 番 3 号・39 号から 54 号まで、10 番 38 号から 48 号まで）
惣 開	星越町、前田町、王子町、河内町、北新町（３番、６番から 13 番まで）、西の土居町二丁目（８番）、磯浦町、江口町（４番、７番、18 番）、金子丙（金栄小学校の区域を除く。）、惣開町、新田町一丁目、新田町二丁目、新田町三丁目、新居浜乙
垣 生	垣生一丁目、垣生二丁目、垣生三丁目、垣生四丁目、垣生五丁目、垣生六丁目（２番から 14 番まで）、八幡一丁目（１番から 8 番まで）、八幡三丁目（２番、３番、４番（浮島小学校の区域を除く。）、９番（浮島小学校の区域を除く。）、10 番（浮島小学校の区域を除く。））、長岩町、垣生
神 郷	郷一丁目（２番から 6 番まで、８番から 16 番まで）、郷二丁目、郷三丁目、郷四丁目、郷五丁目（１番、３番から 9 番まで）、東雲町三丁目（9 番）、清住町、落神町、又野一丁目、又野二丁目、又野三丁目、高田一丁目、高田二丁目（２番から 5 番まで）、田の上一丁目、田の上二丁目、田の上三丁目、田の上四丁目（１番から 5 番まで、10 番から 12 番まで）、松神子一丁目、松神子二丁目、松神子三丁目、松神子四丁目、神郷一丁目、神郷二丁目、楠崎一丁目（１番、３番、４番 33 号から 46 号まで・60 号から 62 号まで・65 号・66 号、５番から 8 番まで）、楠崎二丁目、多喜浜一丁目（８番 1 号から 16 号まで・56 号から 89 号まで）、多喜浜四丁目（８番 1 号から 11 号まで・28 号から 53 号まで、9 番、10 番）、多喜浜五丁目（10 番 1 号から 8 号まで）、郷、郷乙
多 喜 浜	楠崎一丁目（２番、４番（神郷小学校の区域を除く。））、多喜浜一丁目（１番から 7 番まで、8 番（神郷小学校の区域を除く。）、9 番、10 番）、多喜浜二丁目、多喜浜三丁目、多喜浜四丁目（１番から 7 番まで、8 番（神郷小学校の区域を除く。）、11 番、12 番）、多喜浜五丁目（１番から 9 番まで、10 番（神郷小学校の区域を除く。）、11 番、12 番）、多喜浜六丁目、阿島一丁目、阿島二丁目、阿島三丁目、阿島四丁目、阿島、荷内町、黒島一丁目、黒島二丁目、黒島、大島

小学校名	通 学 区 域
泉 川	松木町、西喜光地町、喜光地町一丁目、松原町、坂井町三丁目、瀬戸町、寿町、星原町、上泉町、外山町、岸の上町一丁目、岸の上町二丁目、城下町（7 番）、下泉町一丁目、下泉町二丁目、観音原町、東田一丁目、東田二丁目、東田三丁目、国領一丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目
船 木	船木、七宝台町
中 萩	萩生、横水町、本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、中萩町、上原一丁目、上原二丁目、上原三丁目、上原四丁目、中村一丁目、中村二丁目（1 番から 15 番まで）、中村三丁目（3 番から 11 番まで）、中村四丁目（3 番から 9 番まで、11 番、15 番から 18 番まで）、御蔵町（2 番、3 番）、中村松木一丁目、中村松木二丁目、土橋一丁目、土橋二丁目（1 番から 10 番まで、13 番、14 番）、大永山（出口、小味池）
大 生 院	大生院
角 野	土橋二丁目（11 番、12 番、15 番から 17 番まで）、中村二丁目（16 番）、中村三丁目（1 番、2 番）、中村四丁目（1 番、2 番、10 番、12 番から 14 番まで）、御蔵町（1 番、4 番から 13 番まで）、喜光地町二丁目、西泉町、西連寺町一丁目、西連寺町二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、宮原町、中筋町一丁目、中筋町二丁目、北内町一丁目、北内町二丁目、北内町三丁目、北内町四丁目、吉岡町、角野新田町一丁目、角野新田町二丁目、角野新田町三丁目、種子川町、角野、大永山（出口・小味池を除く。）、立川町、種子川山
別 子	別子山

中学校名	通 学 区 域
東	高津小学校区、松の木町、宇高町四丁目
西	惣開小学校区、江口町、北新町
南	金子小学校区（北中学校区、西中学校区を除く。）、金栄小学校区
北	新居浜小学校区、宮西小学校区、一宮町二丁目（2 番 18 号から 42 号まで・100 号から末号まで、3 番から 5 番まで、6 番 32 号から 67 号まで・100 号から末号まで）
泉 川	泉川小学校区
船 木	船木小学校区
中 萩	中萩小学校区
大 生 院	大生院小学校区
角 野	角野小学校区
川 東	垣生小学校区、神郷小学校区、多喜浜小学校区、浮島小学校区（東中学校区を除く。）、
別 子	別子小学校区

園児・児童・生徒数の推移（令和３年度～令和１２年度）

（毎年度５月１日現在）

学校 \ 年度	3	4	5	6	7	8	9 (見込)	10 (見込)	11 (見込)	12 (見込)
新居浜小学校	171	173	166	163	152	151	140	130	134	122
宮西小学校	191	190	185	168	152	152	157	148	147	138
金子小学校	623	594	554	539	505	465	447	444	451	454
金栄小学校	421	402	389	403	387	365	365	349	329	308
高津小学校	632	597	587	566	525	510	480	454	435	415
浮島小学校	122	114	97	94	87	70	69	70	83	85
惣開小学校	349	346	349	353	356	340	310	311	293	281
若宮小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
垣生小学校	241	238	240	222	225	221	207	188	166	170
神郷小学校	536	518	488	480	462	473	447	451	450	424
多喜浜小学校	119	123	118	110	104	90	90	81	77	75
大島小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
泉川小学校	599	602	588	582	566	551	525	518	513	505
船木小学校	365	343	350	332	303	281	269	244	214	196
中萩小学校	833	811	799	788	791	760	728	733	689	653
大生院小学校	249	237	216	206	191	179	158	142	129	112
角野小学校	603	594	561	563	569	534	509	481	447	418
別子小学校	4	8	4	3	2	2	1	1	0	0
小学校計	6,058	5,890	5,691	5,572	5,377	5,144	4,902	4,745	4,557	4,356
東中学校	386	379	347	324	314	316	314	291	273	254
西中学校	200	188	174	162	181	180	193	177	177	162
南中学校	417	473	504	482	474	445	475	445	442	426
北中学校	207	201	193	174	157	148	139	150	155	161
泉川中学校	280	263	282	274	306	291	310	298	294	284
船木中学校	165	189	182	188	178	180	161	160	168	161
船木中学校ひびき分校	6	7	11	7	7	5	—	—	—	—
中萩中学校	475	475	454	425	407	390	404	421	459	452
大生院中学校	127	130	136	133	113	107	100	99	76	72
角野中学校	315	312	306	300	297	288	286	288	272	274
川東中学校	504	507	502	520	501	469	462	454	466	434
別子中学校	16	18	19	19	20	19	20	19	20	19
中学校計	3,098	3,142	3,110	3,008	2,955	2,838	2,864	2,802	2,802	2,699
王子幼稚園	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
神郷幼稚園	21	26	25	19	12	9	—	—	—	—
幼稚園計	34	26	25	19	12	9	—	—	—	—

※大島小学校……H25. 3. 31 廃校 若宮小学校…H30. 3. 31 廃校 王子幼稚園…R4. 3. 31 廃園

※令和９年度以降の数値は、新居浜市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則第２条、別表第１及び別表第２に基づいた数値である。

中学校卒業者の進路状況

() 卒業者に対する百分率

	卒業者数	進学者数	就 職 者 数			公共職業能力 開発施設等 入 学 者	そ の 他 自 己 就 職 家事手伝等
			県 内	県 外	総 数		
7	1,035	1,010 (97.6)	8 (0.8)	1 (0.1)	9 (0.9)	0 (0.0)	16 (1.5)
6	1,021	1,008 (98.7)	4 (0.4)	0 (0.0)	4 (0.4)	0 (0.0)	9 (0.9)
5	1,040	1,023 (98.4)	3 (0.3)	0 (0.0)	3 (0.3)	0 (0.0)	14 (1.3)
4	1,073	1,052 (98.0)	6 (0.5)	0 (0.0)	6 (0.5)	0 (0.0)	15 (1.5)
3	973	957 (98.4)	9 (0.9)	0 (0.0)	9 (0.9)	0 (0.0)	7 (0.7)
2	1,007	994 (98.7)	6 (0.6)	0 (0.0)	6 (0.6)	0 (0.0)	7 (0.7)
元	1,028	1,005 (97.8)	4 (0.4)	4 (0.4)	8 (0.8)	0 (0.0)	15 (1.4)
30	1,091	1,071 (98.2)	5 (0.5)	1 (0.1)	6 (0.5)	0 (0.0)	14 (1.3)
29	1,051	1,030 (98.0)	10 (1.0)	0 (0.0)	10 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)
28	1,157	1,124 (97.1)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	0 (0.0)	22 (1.9)
27	1,147	1,128 (98.3)	7 (0.6)	0 (0.0)	7 (0.6)	0 (0.0)	12 (1.0)
26	1,177	1,152 (97.9)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.0)
25	1,153	1,129 (97.9)	7 (0.6)	2 (0.2)	9 (0.8)	0 (0.0)	15 (1.3)
24	1,200	1,179 (98.3)	9 (0.8)	0 (0.0)	9 (0.8)	0 (0.0)	12 (1.0)
23	1,194	1,166 (97.7)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	0 (0.0)	13 (1.1)
22	1,123	1,096 (97.6)	12 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.1)	3 (0.3)	12 (1.1)
21	1,163	1,121 (96.4)	24 (2.1)	0 (0.0)	24 (2.1)	2 (0.2)	16 (1.4)
20	1,093	1,067 (97.6)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	1 (0.1)	14 (1.3)
19	1,131	1,101 (97.3)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	1 (0.1)	14 (1.2)
18	1,138	1,101 (96.7)	16 (1.4)	0 (0.0)	16 (1.4)	3 (0.3)	18 (1.6)

※平成 28 年度については、定時制・通信制高等学校への進学と同時に就職している者は就職者数に計上する。(対象生徒 2 名) (学校基本調査による)

学 校 施 設 課

第 1 最重要課題

小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画の推進

第 2 重点事項（取組方針）

1 安全・安心で充実した教育環境の整備

- (1) 学校施設の長寿命化の推進
- (2) 学校施設環境整備工事の実施
- (3) 小・中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組みの推進

第 3 主な事業

1 金子小学校整備事業（現年：825,932 千円、繰越：171,063 千円）

学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進行し様々な改修が必要となっている金子小学校について建替工事等を実施する。

今年度は埋蔵文化財発掘調査及び校舎北棟の新築工事等を行う。

2 小中学校施設環境整備事業（206,833 千円）

小中学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件である。そのため、老朽化した施設を安全・安心に維持管理できるよう、法令等に基づいて定期的に点検を行い、必要な修理・修繕等を速やかに実施する。その中で今年度は屋上防水改修工事及び体育館床改修工事等を行う。

3 小中学校体育館空調整備事業（2,463,366 千円）

児童・生徒の学校生活における熱中症対策として、安全・安心に学べる教育環境を確保するため、また、災害時における避難所機能強化のため、小中学校の屋内運動場に空調設備を整備する。

学 校 施 設 一 覧

幼稚園

(令和8年5月1日現在)

園 名	教 室 数		園舎面積	校 地 面 積			遊戯場 面 積	プール 水面積
	普 通	特 別		運動場	その他	計		
神 郷	2	—	965	1,037	1,705	2,742	144	29

※ 王子幼稚園……R4.3.31 廃園

小学校

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	教 室 数		校舎面積	校 地 面 積			屋 内 運動場 面 積	プール 水面積
	普 通	特 別		運動場	その他	計		
新 居 浜	9	12	3,757	10,990	7,154	18,144	831	375
宮 西	9	9	3,795	11,274	10,274	21,548	807	425
金 子	20	10	3,625	10,358	14,861	25,219	1,033	425
金 栄	15	11	3,616	14,565	7,001	21,566	919	425
高 津	20	19	6,706	9,664	12,732	22,396	1,196	475
浮 島	10	9	3,434	8,591	9,449	18,040	807	400
惣 開	15	11	4,088	8,010	12,235	20,245	807	425
垣 生	11	11	2,778	7,646	4,884	12,530	807	425
神 郷	21	12	5,560	9,400	8,166	17,566	894	400
多 喜 浜	8	10	2,944	6,664	7,138	13,802	919	400
泉 川	23	19	6,181	12,800	10,197	22,997	1,023	475
船 木	14	7	3,675	9,811	9,034	18,845	807	400
わかば分教室	1	—	—	—	—	—	—	—
中 萩	29	14	7,669	10,383	16,268	26,651	1,239	425
大 生 院	10	9	3,087	9,537	7,095	16,632	807	425
角 野	22	18	6,137	15,797	13,079	28,876	1,033	425
別 子	2	1	58	2,899	500	3,399	551	—
合 計	239	182	67,110	158,389	150,067	308,456	14,480	6,325

※ 大島小学校……H25.3.31 廃校

※ 若宮小学校……H30.3.31 廃校

中学校

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	教室数		校舎面積	校地面積			屋 内 運動場 面 積	プール 水面積
	普通	特別		運動場	その他	計		
東	13	13	4,533	10,200	6,596	16,796	1,388	400
西	9	11	4,830	13,504	11,456	24,960	816	400
南	17	12	4,731	12,699	7,811	20,510	981	375
北	8	12	4,005	15,880	9,628	25,508	1,138	425
泉 川	12	14	4,256	14,451	6,942	21,393	981	425
船 木	8	10	3,401	10,679	11,108	21,787	1,014	400
船 木 ひびき分校	3	8	1,036	6,171	1,681	7,852	428	150
中 萩	15	18	4,865	16,838	11,641	28,479	1,031	425
大 生 院	6	12	3,210	8,987	6,299	15,286	830	—
角 野	12	15	4,814	10,934	11,018	21,952	1,031	375
川 東	18	17	5,768	13,997	20,673	34,670	1,055	400
別 子	3	5	856	881	882	1,763	145	—
合 計	124	147	46,305	135,221	105,735	240,956	10,838	3,775

共 同 調 理 場

第 1 最重要課題

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

第 2 重点事項（取組方針）

1 食育の推進

成長期にある児童生徒の、食に関する正しい理解と、適切な判断力を養うため、安全で栄養バランスのとれた学校給食を「生きた教材」として活用し、正しい食習慣を身に付けるための指導を行う。

- (1) 栄養バランスのとれた給食の提供に努める。
- (2) 校内放送や各種資料等を活用し、児童生徒に対する指導を行うとともに、栄養バランスのとれた献立づくりを家庭に普及する。
- (3) 安全性を最優先した食物アレルギー対応に努める。
- (4) 郷土料理等、地元の特徴を生かした給食の実施に努める。
- (5) 地元産物の活用に努める。

2 衛生管理の向上・安全保持

安全で安心な学校給食実施のため、食中毒予防対策、異物混入対策等の徹底を図り、衛生管理の向上・安全保持に努める。

- (1) 各調理場の施設設備の衛生面、安全性を重視した修繕、更新を図る。
- (2) 各調理場において、ネズミ・害虫等の防除を図る。

3 学校給食センター設備の更新

平成 13 年度に設置した学校給食センターについて、順次調理機器の更新が必要な時期にきていることから、計画的な設備更新を図る。

4 学校給食センター及び西部学校給食センターの運営

市内 25 の小中学校に学校給食の提供を行う学校給食センター及び西部学校給食センターの円滑な運営を行い、児童生徒に安全安心な給食を提供するため、配送先の小中学校、特別支援学校と連携する。

5 学校給食費の適正な負担等

子育て世帯の経済的負担の緩和や、公平性の観点から未納解消に取り組む必要がある。

- (1) 小学校給食費の無償化を実施する。
- (2) 学校と連携を図り、未納解消に取り組む。
- (3) 物価高騰に対応した保護者負担軽減に努める。

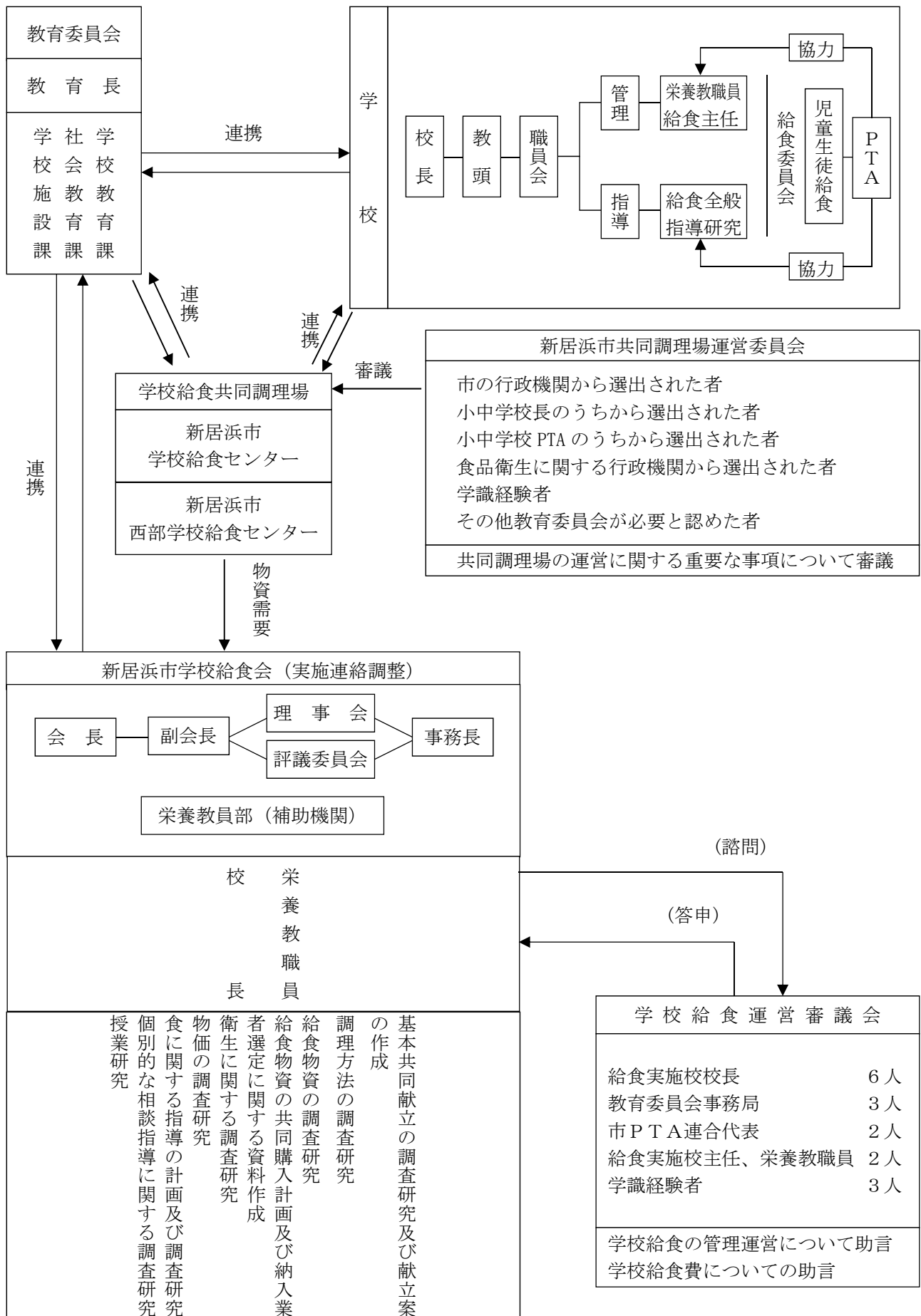
第3 施設状況

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積	建物面積	電話	所(場)長氏名
西部学校給食センター	王子町 4番5号	令和 6.3	鉄骨造2階建 外	9,563.68 m ²	(本体) 3,973.27 m ² (その他) 50.91 m ²	47-5112	岩崎美由紀
学校給食センター	瀬戸町 12番38号	平成 13.3	鉄骨造2階建 外	4,597 m ²	(本体) 2,232 m ² (その他) 84 m ²	31-7470	河端宏二

西部学校給食センター 新居浜小・宮西小・金子小・金栄小・高津小・浮島小・惣開小
中萩小・大生院小・東中・西中・南中・北中・中萩中・大生院中
川東中・愛媛県立新居浜特別支援学校（本校・川西分校）

学校給食センター 垣生小・神郷小・多喜浜小・泉川小・船木小・角野小・泉川中
船木中・角野中

学 校 給 食 運 営 組 織 図



新 居 浜 市 学 校 給 食 の 推 移

年度	給 食 の 形 態			1食当たり 給食費 (円)	献 立 等	購 入
	ミルク給食	還元牛乳	完全給食			
S 22	市内全小学校					
23～			小 1 校			
25			小 2 校			
26～			小 4 校	15	各校単独献立	各校単独購入
31			小 5 校			
32			小 6 校		栄養職員 1 名で立案	
33			小 7 校		市教委栄養職員指導	
34			小 8 校		各校へ栄養職員配置	
35			小 12 校			準共同購入 (乾物・砂糖のみ)
36			小 13 校			
37～		市内全小中学校	小 16 校・中 2 校	25		
39				30		
40						(卵追加)
41～				40	準共同献立	
43				46	完全共同献立	
44						完全共同購入
45			小 16 校・中 1 校	55		
46		10 月より牛乳		65		
47			小 17 校・中 1 校	70		
48				85		
49～				130	11 月栄養職員県費切替	
51				150	米飯週 1 回実施	
52		9 月より紙容器	金子、船木			
53			泉川、垣生			
54			宮西、金栄、浮島、大生院	160	4 月から 10 月ジュース実施	
55			神郷、惣開、多喜浜	160	2 学期から米飯週 2 回実施	
56～			高津	180	全校へ「おはし」導入	
58			若宮			
59			角野、中萩		ジュース 5、6、7、9 月実施	
60					2 学期から米飯週 2.5 回実施	
61～			新居浜			
H 1					学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(神郷小)	
2				小 200 中 220	米飯週 3 回実施 学校給食情報ネットワーク化事業 モデル校(大生院小)	
3					給食用食器強化磁器導入 (惣開小)	
4					学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(角野小)	
5					〃	
6～				小 220 中 260		
10～			小 17 校・中 2 校		高津共同調理場設置	
13～			小 17 校・中 10 校		地元産米の使用 学校給食センター設置	
15～			小 18 校・中 11 校		別子小中学校を追加(合併)	
21				21.9 小 240 中 280		
22					別子小中学校調理場改修	
23～					地元産米を地元業者納入	
25～			小 17 校・中 11 校		大島小学校廃校	
30			小 15 校・中 10 校		若宮小学校閉校 別子小・中学校の学校 給食が寮給食に移行	
R 1 ～				小 260 中 300		
6～				小 290 中 330	西部学校給食センター設置 小学校調理場廃止 高津共同調理場廃止	
8				小 330 中 380	小学校給食の無償化	

※令和6年8月をもって小学校調理場及び高津共同調理場を廃止し、9月から全小・中学校の学校給食がセンター方式に移行した。

発 達 支 援 課

第 1 最重要課題

発達に課題のあるこどもの自立と社会参加を見据えた一貫した支援の推進

第 2 重点事項（取組方針）

1 特別支援教育の充実

- (1) 校内外支援体制構築支援
 - ア 個別の支援が必要なこどもへの校内支援体制づくりを支援
 - イ 校内外関係機関と連携した支援体制づくりのため、支援会議の適切な開催を支援
 - ウ サポートファイル（個別の教育支援計画）の作成及び活用を支援
 - エ 合理的配慮及び環境調整の推進を支援
 - オ 関係機関との支援調整や、サポートファイルの共有・引継を支援
- (2) 教職員の専門性向上支援
 - ア 特別支援教育コーディネーター等、特別支援教育を実践する教職員への支援強化
 - イ 特別支援教育の実情と課題に対応した教職員向け研修の実施
 - ウ 特別支援学校のセンター的機能活用支援
- (3) 特別支援教育支援員の活動強化
 - ア 学習を支援する学校支援員の効果的な配置
 - イ 生活介助を行う学校生活介助員の支援内容に応じた適切な配置
 - ウ 医療的なケアを必要とするこどもへの必要な支援体制の整備
- (4) 就学に係る相談支援の充実
 - ア 5歳児就学相談の効果的な実施による本人や保護者・支援者の就学への不安軽減
 - イ こどもの発達に応じた学びの場の選択支援
 - ウ 学校施設の改善や教育環境調整等、必要な合理的配慮の推進

2 発達相談及び支援の充実

- (1) バランスの取れた本人支援・保護者支援・支援者支援の実践
 - こども支援を中心に据えつつ、こどもを取り巻く環境にも着目し、家庭環境や福祉・教育環境の改善のために必要な保護者支援、支援者支援をバランスよく実施する。
- (2) 専門的な相談支援の実施
 - 発達支援課内外の各種専門職が連携して、こどもを包括的に捉え、発達支援に関する総合的な相談支援を強化推進するとともに、こどもの特性に応じた専門的な相談支援を実施する。
- (3) 相談支援のマネジメント
 - 必要性に応じた医療や福祉の専門機関、各種相談支援機関との支援調整機能の強化を図る。

3 地域の支援体制強化

- (1) 地域発達支援協議会の開催
 - 発達支援に関する地域の課題と対策について協議し、関係機関の連携強化と地域発達支援システムの充実を図る。
- (2) 発達支援に関する周知啓発
 - インクルーシブ教育の理念に対する理解を深めるため、様々な機会を捉えて周知啓発を行う。

※インクルーシブ教育とは・・・障がいのあるこどももないこどもも共に学ぶことを推進する仕組みのこと。

第3 主な事業

1 発達支援教育充実費（28,375 千円）

- （1）研修事業・・・特別支援教育講演会、スキルアップ研修等支援者研修、保護者研修
- （2）相談事業・・・巡回相談、発達検査
- （3）地域療育事業・・・早期療育指導員報酬、療育事業研修

2 特別支援教育充実費（204,471 千円）

- （1）小学校：学校支援員（16 人）、学校生活介助員配置
- （2）中学校：学校生活介助員配置
- （3）公立幼稚園：学校生活介助員配置

3 幼稚園特別支援教育充実費（8,280 千円）

私立幼稚園特別支援教育事業補助金

新居浜市の発達支援システム

こどもの自立と社会参加を見据え、一貫した支援を地域の人々で実現するためのシステム

日常生活の支援は

- 障がい児福祉施設
 - 障がい児相談支援（計画相談支援）
 - 児童発達支援
 - 放課後等デイサービス
 - タイムケア事業
- 小学校
 - 放課後児童クラブ

就学したら

- 新居浜市教育支援委員会
 - 個別最適な「学びの場」の検討・判断
- 地域の小学校・中学校
 - 特別支援教育
特別支援教育コーディネーター配置
通常の学級：学校支援員配置
通級指導教室
特別支援学級：学校生活介助員配置
 - サポートルーム
 - スクールソーシャルワーカー配置
- 教育支援センター（あすなろ教室）
- 特別支援学校

就学するまで

- 早期発見・相談
 - 保健センター
1歳6か月児健康診査
3歳児健康診査
 - 発達支援課
保育所・幼稚園巡回相談
5歳児就学相談・発音検査
 - 小学校
就学時健康診断
- 診断・相談
 - 医療機関
 - 県立子ども療育センター
- 相談支援
 - 発達障がい者支援センター（あいゆう）
- 保育・幼児教育
 - 保育所・幼稚園・認定こども園



すべてのこどもに
心躍る学び合いを

進学するときは

- 発達支援課
 - 引継・連携支援
 - 中・高特別支援教育コーディネーター連絡協議会
- 高等学校等
 - 特別支援教育コーディネーター配置
 - 通級指導教室
- 特別支援学校高等部

こども発達支援センター

特別支援教育の中核機関として
コーディネート
（発達支援課）

- 教育相談窓口
- こども・保護者・支援者への包括的支援
- サポートファイル（個別の教育支援計画）活用・引継
- 新居浜市地域発達支援協議会運営

就職・独立するときは

- 就労支援
 - 高等学校・特別支援学校高等部等
 - ハローワーク（公共職業安定所）
 - 障がい者就業・生活支援センター
 - 東予若者サポートステーション
- 就労移行支援・就労継続支援
 - 委託相談支援事業所
 - 地域相談支援サービス
 - 障がい者福祉施設
- 日中活動支援
 - 地域活動支援センター
 - 小規模作業所

人 権 教 育 課

第 1 最重要課題

あらゆる垣根をこえて、あたたかい心で交わりあうことのできる社会の実現

第 2 重点事項（取組方針）

あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進

1 地域、家庭における人権教育・啓発の推進

- (1) 社会教育関係機関・団体等の協力により、お茶の間人権教育懇談会をはじめとする、地域に根差した市民参加型の教育・啓発事業の拡充を図る。
- (2) 人権教育に関わる講座・懇談会等において、主体的に事業を推進することができる指導者の育成を図る。
- (3) 「ふれ愛フェスタ～ハートFULL新居浜～」をはじめとした人権に関わる講演会等の開催により、多くの市民が人権について気軽に考えることができる機会の提供に努める。
- (4) 愛媛県人権教育協議会新居浜支部の主催事業である「地区別人権教育市民講座」については、支部の加盟組織・団体が連携してその開催を支援することができる体制を構築する。
- (5) 新居浜市人権尊重のまちづくり条例で定める「人権のつどい日」については、毎月 11 日に瀬戸会館を主会場として開催しているが、より多くの市民が気軽に参加して人権意識を高めていく機会となるよう、さまざまな人権課題をテーマとして取り上げて開催する。

2 企業等における人権教育・啓発の推進

- (1) 組織・企業等が開催する人権教育講座・セミナー等の開催を支援して、組織内における人権・同和教育の推進体制を確立する。
- (2) 愛媛県人権教育協議会新居浜支部組織・企業部会の協力により、未加入の組織・企業に対する人権・同和教育を推進する。
- (3) 就職の機会均等に万全を期すとともに、人権尊重を基盤とした職場づくりを推進する。
- (4) 地区別人権教育市民講座への積極的な参加を呼びかける。

3 行政職員に対する人権教育の推進

- (1) 各種実践研修や派遣研修への、行政職員参加を支援する。
- (2) 愛媛県人権教育協議会新居浜支部行政部会との連携と協力により、地区別人権教育市民講座への積極的な参加を呼びかける。

4 人権教育・啓発資料の作成及び配布

- (1) 教育・啓発用の教材・教具の整備と活用を図る。
- (2) 市民啓発資料の作成及び配布
市政だよりへの折込み「人権啓発特集号」の発行（年間 2 回）、「えひめ人権・同和教育」を関係機関・団体等へ配布（年間 3 回）
- (3) 差別解消を目指す動画メッセージの作成及び放映
人権に関する動画メッセージを作成して、新居浜市行政広報番組「マイタウン新居浜」での放映と、YouTube の「新居浜市広報チャンネル」による配信に取り組む。
- (4) 身元調査お断り運動の推進
「身元調査お断りステッカー」を活用して、「身元調査をしない・させない・協力しない」の三原則を目指した運動への取り組みを推進する。
- (5) ホームページや SNS 等の様々な広報媒体を活用して各種事業の情報発信に努める。

5 人権教育推進機関等との連携強化

- (1) 小中学校、県立学校等研究大会の開催を支援する。
- (2) 各種研修会・研究会・研究大会等への参加を支援する。
- (3) 教育・啓発機関・関係団体等が主催する各種学習会等においては、人権啓発指導員をはじめとする講師・指導者を派遣する。

第3 主な事業

1 人権教育推進事業（2,603 千円）

様々な人権問題解決に向けて、お茶の間人権教育懇談会、組織・企業向け人権教育講座・セミナー、「ふれ愛フェスタ～ハートFULL新居浜～」、人権のつどい日等の人権教育・啓発事業を実施するとともに、市政だより特集号や身元調査お断りステッカー、その他人権・同和教育推進資料等の人権啓発資料作成・配布に取り組むことにより、市民の方々に様々な人権問題について正しい理解と知識を深めていただく場を提供する。

さらに、県内・四国・全国等の各地で開催される各種研究大会・研究協議会等の場に市民が積極的に参加していただけるよう、大会参加者への支援を行っていく。

2 愛媛県人権教育協議会新居浜支部活動に対する補助（1,636 千円）

人権・同和教育の進展を図るため、幼・保育園（所）、小・中・県立学校等、公民館等各社会教育関係団体、組織・企業、行政がそれぞれ協調しながら、家庭や学校、地域社会、職場などあらゆる場を通じて「くらしに生きる人権教育」の実践に努め、部落差別問題をはじめとするあらゆる人権問題の早期解決に取り組む。

令和7年度のあゆみ
(教育委員会事務局)

教育委員会の主な施策と実績

1 令和7年度決算額

企画部執行分

(1) 教育費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
教育総務費	教育委員会費	委員報酬	6,053	6,328	1,218,896
		委員会費	275		
	事務局費	人件費	383,658	388,369	
		事務局運営費	4,711		
	諸費	指導費	6,687	824,199	
		研究所費	113		
		教育振興補助事業費	237		
		奨学金	1,177		
		教育施設防火等管理費	1,155		
		学校音楽教育振興費	243		
		パソコン管理費	8,845		
		交通災害遺児修学援助費	57		
		公共施設ごみ収集費	11,064		
		いじめ・不登校問題等対策費	17,403		
		教職員住宅管理運営費	536		
		生きた英語教育推進費	48,118		
		スクールソーシャルワーカー活用事業費	3,298		
		発達支援教育運営費	7,803		
		発達支援教育充実費	26,373		
		学力向上学習支援事業費	1,833		
		学校図書館支援センター充実費	28,637		
		E S D活動推進事業費	1,888		
		スクール・サポート・スタッフ配置事業費	22,075		
		小中学校 I C T環境整備推進事業費	313,295		
		S D G s 推進事業費	4,071		
		特別支援教育充実費	177,637		
		文化施設管理運営費	128,378		
		文化施設環境整備事業	12,628		
		新居浜市文化スポーツ大会開催支援事業費	648		

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
小学校費	学校管理費	小学校管理運営費	103, 773	456, 080	803, 823
		小学校保健費	36, 395		
		小学校体育費	2, 109		
		小学校施設環境整備事業	94, 597		
		小学校施設環境整備事業（繰越分）	8, 988		
		小学校施設管理費	210, 218		
	教育振興費	小学校就学援助費	33, 328	70, 304	
		小学校理科教材備品購入費	1, 529		
		小学校教育研究県指定校費	600		
		小学校教育充実費	24, 087		
		小学校ハートなんでも相談員設置事業費	3, 920		
		小学校特別支援教育就学援助費	6, 840		
	学校建設費	金子小学校整備事業	231, 209	277, 439	
		小学校体育館空調整備事業	46, 230		
中学校費	学校管理費	中学校管理運営費	74, 414	368, 233	487, 896
		中学校保健費	25, 596		
		中学校体育費	16, 363		
		中学校施設環境整備事業	83, 139		
		中学校施設環境整備事業（繰越分）	13, 262		
		中学校施設管理費	115, 777		
		別子中学校学び創生事業費	39, 682		
	教育振興費	中学校就学援助費	27, 977	88, 917	
		中学校理科教材備品購入費	2, 042		
		中学校教育充実費	12, 278		
		中学校指導図書改訂事業	30, 853		
		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	2, 170		
		中学校特別支援教育就学援助費	4, 520		
		部活動指導員配置事業費	1, 418		
		中学校サポートルーム設置事業費	70		
		サポートルーム活用事業	5, 690		
		運動部活動競技力向上事業費	1, 899		
	学校建設費	中学校体育館空調整備事業	30, 746	30, 746	
幼稚園費	幼稚園費	人件費	19, 156	253, 948	253, 948
		神郷幼稚園管理運営費	6, 338		
		幼稚園保健費	293		
		幼稚園特別支援教育充実費	5, 550		
		幼稚園施設利用費給付事業費	37		
		神郷幼稚園施設管理費	1, 176		
		私立幼稚園施設型・施設等利用給付事業費（福祉部）	221, 398		

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計		
社会教育費	社会教育総務費	人件費	74, 152	210, 193	957, 625		
		社会教育振興費	73				
		高齢者生きがい創造学園管理運営費	10, 562				
		生涯学習センター管理運営費	315				
		生涯学習センター充実費	10, 791				
		こども夢未来基金積立金	1, 409				
		塩のまちづくり事業費	190				
		学校・家庭・地域連携推進事業費	27, 042				
		人件費	77, 810				
		文化教育費	3, 771				
		文化振興基金積立金	2, 347				
		文化財保護費	469				
		文化芸術振興費	1, 262				
		公民館費	公民館管理運営費			189, 173	218, 342
			公民館施設環境整備事業			20, 772	
	地域主導型公民館推進費		7, 215				
	新居浜市文化祭事業推進費		852				
	公民館活動活性化推進費		330				
	図書館費	図書館管理運営費	96, 532	122, 971			
		図書館充実費	22, 405				
		図書館図書整備基金積立金	109				
		図書館施設環境整備事業	3, 546				
		ブックスタート事業費	379				
	青少年教育費	青少年育成強化費	206	206			
	青少年センター費	青少年センター管理運営費	6, 405	6, 524			
		補導活動充実費	119				
	広瀬歴史記念館費	広瀬歴史記念館充実費	2, 651	153, 454			
		広瀬歴史記念館管理運営費	35, 484				
		旧広瀬邸等保存活用事業	103, 196				
		広瀬歴史記念館施設環境整備事業	12, 123				
	総合文化施設費	総合文化施設管理運営費	230, 328	245, 724			
		総合文化施設環境整備事業	13, 515				
		総合文化施設支援事業費	1, 881				
	美術品購入基金費	美術品購入基金繰出金	211	211			

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
保健体育費	保健体育総務費	学校開放費	3,451	79,888	1,242,707
		運動部活動地域移行実証事業費	1,121		
		市民体育振興費	5,064		
		市民体育充実強化費	3,344		
		体育施設建設基金積立金	3,007		
		学校スポーツ活性化事業費	2,700		
		あかがねマラソン大会開催事業費	5,169		
		ジュニアバドミントン交流事業費	1,091		
		新居浜市合宿誘致事業費	683		
		新居浜市スポーツ協会育成事業費	6,400		
		スポーツ大会派遣事業費	150		
		生涯スポーツ振興費	5,578		
		日本スポーツマスターズ2025愛媛大会開催事業費	1,076		
		人件費	41,054		
	体育施設費	野外活動施設整備費	1,347	511,153	
		体育施設管理運営費	308,671		
		体育施設環境整備事業	201,135		
	学校給食費	人件費	28,157	651,666	
		給食運営費	17,497		
		学校給食センター管理運営費	179,079		
		給食運営改善事業	9,841		
		学校給食多子世帯支援事業費	2,140		
		西部学校給食センター管理運営費	353,242		
		学校給食支援事業補助金	61,710		
教育費合計		4,964,895			

(2) 民生費

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
社会福祉費	人権推進費	人権啓発推進費	551	16,700	16,700
		人権教育推進費	2,657		
		人権教育費	13,492		
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策費	202,011	203,653	203,653
		放課後児童クラブ施設整備費	1,642		
民生費合計		220,353			

(3) 介護保険事業特別会計 地域支援事業費

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
一般介護予防事業費	一般介護予防事業費	高齢者生きがい創造学園講座事業費	9,368	9,368	9,368

2 主な施設の環境整備事業

令和7年度に実施した主な事業は、次のとおり。

【新居浜小学校プール付属室屋上防水他改修工事】

工事費 3,465,000 円
完 成 令和8年1月

新居浜小学校プール付属室屋上



【船木中学校体育館屋根改修工事】

工事費 13,426,000 円
完 成 令和7年10月

船木中学校体育館



【広瀬歴史記念館展示館照明設備改修工事】

工事費 11,463,000 円
完 成 令和8年3月

記念室



社会教育課の主な施策と実績

公民館、交流センターは社会教育拠点、生涯学習拠点、地域づくり拠点と様々な特性を持っているが、それぞれの地域の特徴を活かした活動を一層充実させることが公民館等の存在意義を高めることにつながる。この観点から、「地域教育力向上プロジェクト推進事業」として地域の課題解決に向けた取組を行った。

1 地域教育力向上プロジェクト推進事業

地域ごとに実情・課題は様々であるため、“つどう”（生活のなかで気軽に人々が集うことができる場）、“まなぶ”（自らの興味関心に基づいて、また社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶための場）を事業の柱とし、学びを活かして地域の課題解決を目指している。

令和7年度は、市内15校区及び2地区で実施した。

2 公民館施設環境整備事業

住民の地域づくりの拠点として、利用者により安全快適な施設環境を提供するために、必要な整備・維持管理を実施した。

3 学校体育施設開放の利用状況

●照明設備使用料（運動場 1,000 円、体育館 300 円、武道場 150 円）

（但し、R6.3.31 まで、体育館 200 円、武道場 100 円）

（単位：人）

年度 学校名	運 動 場			体育館・武道場		
	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
新 居 浜 小	4,327	4,238	3,683	10,689	9,907	9,456
宮 西 小	3,875	3,502	3,314	5,852	5,903	6,331
金 子 小	5,037	3,430	3,435	12,005	11,549	10,659
金 栄 小	2,973	3,078	2,998	19,557	19,782	18,726
高 津 小	5,528	4,975	4,285	11,313	9,481	10,520
浮 島 小	2,003	2,736	2,870	2,222	3,317	3,165
惣 開 小	4,531	4,653	5,356	7,874	6,928	8,918
垣 生 小	6,342	6,438	6,364	6,758	5,767	5,665
神 郷 小	8,244	8,496	9,123	10,383	11,789	12,354
多 喜 浜 小	3,261	4,087	4,568	7,437	9,505	11,096
泉 川 小	7,917	9,663	8,016	8,006	8,307	7,792
中 萩 小	6,933	4,993	4,487	17,454	19,438	15,216
船 木 小	8,351	8,927	8,056	10,739	10,822	11,026
大 生 院 小	5,633	6,646	5,508	4,751	7,139	9,150
角 野 小	5,975	5,574	6,692	11,569	11,982	10,911
別子小・中	0	0	0	0	0	0
東 中	763	1,116	818	7,347	7,240	7,302
西 中	828	2,045	2,350	3,625	3,378	3,719
南 中	1,192	906	1,060	7,157	7,558	9,110
北 中	935	908	886	7,251	8,239	9,332
泉 川 中	0	0	0	8,161	8,179	8,127
中 萩 中	3,321	2,610	2,184	7,476	5,847	4,572
船 木 中	367	524	369	7,735	9,571	8,959
大 生 院 中	1,216	1,334	855	4,605	4,319	4,242
角 野 中	538	440	198	6,387	7,558	9,097
川 東 中	1,404	1,400	1,232	6,436	6,844	7,541
計	91,494	92,719	88,707	212,789	220,349	222,986

4 公民館事業報告

新居浜公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～夢・ロマン・感動を求めて～

- 1 ボランティア活動の推進
- 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進
- 3 生涯学習の活性化と推進
- 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成
- 5 小学生・中学生・高校生の居場所づくりと交流

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
女性講座	成人女性	20	0	153	0	153
生き生きセミナー	校区住民	14	0	32	8	40
三世代ネットワーク	校区住民	8	24	29	0	53
国際交流講座	生徒	3	0	4	6	10
三世代交流校区史跡めぐりウォーキング	校区住民	3	11	17	29	57
小学生料理教室	児童	3	0	4	8	12
宿題お助け講座	児童生徒	9	3	19	126	148
若者向け講座	青年	3	0	20	0	20
いきいき元気講座	校区住民	3	1	14	0	15
まちづくり講座	校区住民	5	17	50	0	67
地域活性化事業	校区住民	3	14	6	3	23
三世代交流事業	校区住民	8	60	108	50	218

3 特色ある事業（講座）

【宿題おたすけ教室】

令和7年7月、新居浜小学校児童の夏休み宿題おたすけ教室を2日間実施しました。両日とも北中学校ボランティア生徒が参加してくれ、中学生が小学生の宿題をみてあげたり、アドバイスをしながら宿題を仕上げていきました。また、宿題だけでなく、遊びや日常生活の会話が弾むなど、より深い交流を図ることができました。

この講座を通じて、中学生と小学生の交流が深まったことで次回開催への要望が多く、今後も継続していきたいと思います。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- （1）地域自主防災組織の強化
- （2）団塊世代の協力体制づくり
- （3）三世代交流ができる場を数多く提供し、地域住民の交流を深めるとともに、地域で子どもを育ていけるようにする。

口屋跡記念公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

SDGsのまち 宮西

～誇りをもち住み続けたいくなるまちづくりをめざして～

- 1 子どもから高齢者までみんなが安心して暮らせるまちづくり
- 2 「おたがいさま」の心と絆で支え合うまちづくり
- 3 子ども一人一人が輝けるホームグラウンドづくり
『戻ってきたいくなるまち』『子どもと一緒に育つまち』
- 4 人生100年時代を生き切るまちづくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業（相当事業）一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
人権啓発講演会	校区住民	1	6	9	0	15
趣味の講座	校区住民	5.5	1	44	0	45
シニア生き活き講座	高齢者	6.5	46	91	0	137
教養講座	校区住民	4	16	7	1	24
健康増進セミナー	校区住民	4	40	35	0	75
多国籍文化交流	校区住民	2	0	9	0	9
北中校区子ども絵画展	生徒（中学生）	118.5	45	113	96	254
三世代交流講座	校区住民	8	17	35	81	133
くちやサロン	高齢者	1.5	8	20	0	28
口屋あかがねプロジェクト事業	児童（小学生）	1	2	10	25	37
地域の未来を考えるプロジェクト	生徒（中学生）	1.5	0	2	12	24

3 特色ある事業（講座）

口屋あかがねプロジェクト事業【防災キャンプ】

～子ども応援部会と愛護班の連携～

「災害は夜でも起こります。その時あなたはどのようなしますか？」をテーマに、今年度は小学生と保護者を対象とした『防災キャンプ（1泊2日）』を行いました。

夕方6時に避難完了し、その後体育館で手作り段ボールベッドを次世代ネットワークのみなさんの指導協力の下、グループで一つずつ完成させました。

炊き出しの芋炊きを食べた後、真っ暗な体育館で対話を通して交流を深めました。

日頃から防災意識を高めていく必要性を親子で実感できた活動となりました。



【寝床の準備】

【グループで対話中】



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 地域活動を担うリーダー的人材の育成
- (2) 学校・家庭・地域が一体となり子どもたちを支援し見守る環境づくり

地域交流センター（ふれあい金子）

1 令和7年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～笑顔あふれる地域交流センター～

- 1 地域ふるさとづくりの推進
- 2 生涯学習・スポーツの推進
- 3 各種団体との連携・協力体制の強化
- 4 地域が一体となった青少年健全育成
- 5 自主防災組織の充実と意識の向上

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	29	93	187	0	280
家庭教育講座	児童（小学生）	2	2	12	10	24
スポーツ健康教室	校区住民	2	5	4	0	9
文化教養講座	児童（小学生）	4	24	35	28	87
三世代交流事業	校区住民	6	14	17	15	46
まちづくり事業	校区住民	7	380	370	430	1,180

3 特色ある事業（講座）

【三世代交流事業（しめ縄作り）】

わらすぐりなど地域の協力を得て、伝統文化のしめ縄作りを、若い世代の保護者や子どもたちに伝承している。

取り付ける飾りに込められた意味なども学びつつ、互いに教えあい、三世代で交流し楽しい時間を共有している。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- （1）地域住民主体の生涯学習の推進
- （2）世代間交流事業を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる。
- （3）学校関係機関及び諸団体と連携し、青少年の健全育成を図る。
- （4）自主防災組織の充実と意識の向上（住民同士の連携を深める）

金栄公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館を目指して～

- 1 安全・安心のまちづくりの推進
- 2 青少年健全育成の推進
- 3 公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化
- 4 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
合同講座	校区住民	3.5	14	68	0	82
婦人講座	校区住民	15.5	0	81	0	81
高齢者講座	高齢者	10	50	95	0	145
家庭教育講座	保護者	4	1	23	14	38
ふれあい文化講座	校区住民	13	1	56	4	61
子育て支援	乳幼児・保護者	22	8	143	98	249
金栄まちづくり事業	校区住民	5	113	6	0	119
三世代交流事業	校区住民	8	310	375	345	1,030
ドリームツリー	校区住民	1	200	200	400	800

3 特色ある事業（講座）

【金栄まちづくり事業 防犯・防災パトロール・防災熟議】

金栄校区では、地域住民が警察と連携し、毎回約30名で各地域の防犯・防災パトロールを年3回行っています。

また、年1回、防災熟議を開催し、地域の防災課題について地域が一丸となって取り組んでいます。令和7年度は「災害と人権」について学習しました。



防犯・防災パトロール

4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 地域住民のニーズに合わせた事業及び講座の実施
- (2) 地域活動におけるボランティアの高齢化、後継者の育成
- (3) 見守りボランティアの拡大と支援の充実
- (4) 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
- (5) 地域に伝わる郷土芸能の伝承及び継承



防災熟議

高津公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安心と安全のまち「たかつ」～

- 1【住民交流】隣近所が支え合い、助け合って「みんなが明るく住みやすい」町等
- 2【育児】親、子どもが自由に集まって、ふれ合い、遊び、子どもたちが元気に「健やかに育つ」町等
- 3【高齢者】高齢者同士が交流し、地域の子もたちと触れ合って「明るく生き生きと生活する」町等
- 4【障がい者】障がい者や障がいを正しく理解し、障がい者から真に求められる「手助けをする」町等
- 5【青少年健全育成】子どもたちが友達や仲間たちとふれ合い、助け合い、理解し合って「共に成長する」町等
- 6【環境】一人一人が気を配り、みんなの力で実現する「清潔で美しい」町等
- 7【防災】想定される災害を正しく理解し、災害に備える「災害に強い」町等

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
シニア講座	高齢者	22.5	57	118	0	175
ゆうゆう倶楽部	校区住民	15	4	75	0	79
子育て応援	乳幼児	12.5	8	79	49	136
カルチャー講座	校区住民	15	30	63	122	215
いきいき健康講座	校区住民	14	65	83	47	195
校区活性化 ①れんげ祭り	校区住民	3	204	202	400	806
校区活性化 ②たかつ納涼夏祭り	校区住民	11	321	277	452	1,050
校区活性化 ③たかつ花あふれるまちづくり	校区住民	9.5	52	63	55	170

3 特色ある事業（講座）

【たかつ納涼夏祭り（国際交流）】

小学校のALTを迎え、たかつ納涼夏祭りの中で国際交流を実施しました。まずALTによる「世界旅行に行こう」と題したクイズを行い、各国の文化や国旗に関する問題を通して、小学生を中心に楽しみながら世界への理解を深めました。クイズ形式とすることで、子どもたちも積極的に参加し、会場は大いに盛り上がりしました。その後、地域住民の協力により、女性ALTには浴衣、男性ALTには法被を着用してもらい、盆踊りに参加しました。地域住民と一緒に輪に入りながら、日本の伝統文化に触れつつ親睦を深めました。参加者同士の交流が広がり、楽しみながら外国の文化に親しむことができる、有意義な事業となりました。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 高津まちづくり実行委員会
 - 第1「挨拶・見守り実行委員会」、第2「自治会活性化実行委員会」、第3「三世代交流わいわいクラブ」
 - 第4「防災対策実行委員会」活動と各間一層の連携推進
- (2) 次世代を担うリーダーの養成と新たな人材の発掘
- (3) 学校・家庭・地域をつなぐコミュニティ・スクール活動の連携強化
- (4) 魅力ある公民館事業活動へのチャレンジ

浮島公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～明るく元気な浮島校区の構築～

- 1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。
- 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進
- 3 「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
ユース講座	児童・保護者・校区住民	11	5	56	22	83
ジュニア講座	児童・保護者・校区住民	6.5	0	15	72	87
男性料理教室	成人男性	28	76	34	55	165
教養講座	校区住民	11.5	13	45	94	152
国際交流講座	児童・校区住民	4	1	12	41	54
ものづくり講座	校区住民	47.5	13	39	0	52
伝統講座	児童・校区住民	21.5	50	30	64	144

3 特色ある事業（講座）

【国際交流講座】

外国人等の直接的な交流や学習を通じて国際文化を知ってもらいたいと思い開いた講座です。

今年度はタイから来日している女の子（西条高校生）とカリフォルニアから来日している女の子（新居浜西高校生）に講話をしてもらいました。

身近なゲームとしてタイ式じゃんけんをしました。

子ども達は興味深々で、難しいタイ語を言いながらのじゃんけんは苦戦しながらでも楽しそうでした。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 若年層・子育て世代向けの講座の実施
- (2) ボランティア・担い手の育成と確保
- (3) 地域の中心となる公民館づくり

惣開公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～

- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。
- 2 地域資源を活かしたまちづくり
- 3 地域住民に親しまれる公民館づくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
ヤングジェネレーションクラス	青年	4	70	70	70	210
生活文化講座	乳幼児・保護者	30	2	214	102	318
遊YOUセミナー	成年女子	13	13	83	0	96
シニア教室	高齢者	14	5	56	0	61
王子が丘教室	児童	92	114	485	817	1,416
三世代交流事業	校区住民	10	88	243	284	615
まちづくり事業	校区住民	14	980	1,000	955	2,935

3 特色ある事業（講座）

【まちづくり事業】

高齢化によりスタッフ不足が問題であったが、中学生・高校生ボランティアスタッフの力が、新たな地域の宝・新たな地域のちからとし活性化しており、今年度も惣開小学校児童・西中学校生徒と共に、楽しい思い出を作り惣開校区の機運を高められるように、令和7年7月26日（土）「サマーフェスタ in そうびらき 2025」を開催、例年よりも暑さが厳しくなる中、今年初「盆ジョヴィ」では会場が大いに盛り上がった。また、令和7年12月21日（日）には少し早めのChristmasバージョン「ウインターフェスト in そうびらき 2025」を開催、笑顔が絶えず和気藹々とした雰囲気の中、地域住民が1つになり、最高の地域交流の場であった。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- （1）世代間の交流のある講座の推進
- （2）魅力があり、誰もが気軽に参加できる講座の開設
- （3）地域住民に対する生涯学習への認識と啓発（特に青年層）による新規参加者の増加
- （4）学校と地域をつなぐESD活動の推進

若宮公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

- 「地域と共に歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域との連携をはかり、安全・安心で住みよい若宮地域づくりを目指す。
- 『ワクリエ新居浜』と連携・協働できることを模索しながら共に歩む公民館活動に取り組む。

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者	15.5	39	139	0	178
趣味と教養	校区住民	26	16	90	16	122
環境にやさしいまちづくり	校区住民	5.5	15	35	34	84
安全・安心なまちづくり	校区住民	4	10	15	0	25
地域の伝統・歴史の伝承	乳幼児・児童・保護者	9.5	21	45	106	172
スポーツと健康	校区住民	5.5	20	41	0	61

3 特色ある事業（講座）

【趣味と教養〈若い世代対象の講座〉(魚の捌き方教室)】

令和7年度から次世代の後継者作りの一環で若い世代を対象とした託児付きの講座を開講。「肌のカウンセリング教室」「魚の捌き方教室」「初心者向け資産形成教室」「フランス料理教室」などを実施した。託児は、地域の主任児童委員の協力を得て行った。

子どもたちは、日頃から子育てサロンなどで主任児童委員の方と顔見知りということもあり、比較的落ち着いて過ごすことができていた。その間母親たちも、シェフが魚の捌き方をレクチャーする手元を、スマホで動画に取りながら、じっくり集中することができ「家でも是非作ってみたい」「今回のように託児があれば参加しやすい」と大変好評だった。

若い世代、特に子育て世代の参加を今後一層促していくために、託児セットの講座をこれからも計画していく必要がある。さらに、若い世代が公民館に来ることで、様々な地域行事への参加促進や担い手に繋がればありがたい。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- 公民館活動への幅広い世代の住民の参画を推進。
- 家庭・学校・地域を繋ぐ安全安心な拠点施設の充実。
- 放課後子ども教室による子どもたちの居場所作りと将来の地域リーダーの育成。
- 「生涯活躍のまち拠点施設ワクリエ新居浜」との協働による地域活性化。

垣生公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館～

- 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり
- 2 自ら学ぶ生涯学習の推進
- 3 各種団体・機関との連携強化
- 4 生活文化活動の振興
- 5 安全で住みたい垣生づくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	4	18	17	0	35
成人講座	校区住民	12.5	43	100	0	143
子育て支援講座	乳幼児・保護者	20	2	145	130	277
スポーツ健康教室	校区住民	4.5	44	20	1	65
ふるさと文化講座	校区住民・児童	24.5	66	172	595	833
垣生環境美化事業	校区住民・児童	14	149	54	68	271
イルミネーションファンタジー	校区住民・児童	18	198	95	161	454
三世代交流軽スポーツ大会	校区住民・ 高齢者・児童	3	40	36	40	116
若者向け講座	青年	2	4	8	0	12

3 特色ある事業（講座）

【イルミネーションファンタジー】

垣生のシンボルとなっているイルミネーションは、事前準備を1か月前から、公民館と垣生山で実施している。公民館では、シニアボランティアと、最近では垣生小PTAも加わって、桜の木1本1枝に丁寧に飾り付けを行っている。公民館の軒下には、垣生小学校の児童たちが、こども教室で下絵から色付けして完成させ、個性豊かな提灯40個を飾っている。また、垣生山には、よもだ会によるイルミネーションの飾り付けが行われている。

イルミネーションファンタジー点灯式当日は、垣生小学校合唱部が、合唱や演奏を行ってイベントを盛り上げ、家族や地域の方が集う場になっている。

点灯は年末年始を通して実施しているが、その間、家族や友達が立ち寄って提灯を見たり写真を撮って楽しんでおり、市内でも手作り感のあるイルミネーション会場として注目を浴びている。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

垣生校区の様々な活動は、シニア以上の方々が中心で成り立っており、最近ではPTAや若い方々の協力も得られるようになってきているが、更なるミドルシニアへの継承を促せるような活動への協力や学びの場を提供する。

神郷公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、
安心・安全で住みよいまちづくりを目指す。～

- 1 青少年の健全育成
- 2 地域の安全と安心の推進
- 3 地域福祉の拡充
- 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援
- 5 スポーツの推進と健康づくりの推進
- 6 お茶の間懇談会の拡充・強化
- 7 自主防災組織作りの拡充・強化
- 8 地域の環境美化の推進

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	4	45	45	0	90
いきいきセミナー	校区住民	24	108	303	5	416
スポーツ健康教室	校区住民	2	30	20	0	50
乳幼児期家庭づくり講座	乳幼児	26	56	212	178	446
三世代交流事業	校区住民	26	1,490	1,430	1,109	4,029
環境美化事業	校区住民	6	37	41	15	93
まちづくり事業	校区住民	4	55	90	5	150

3 特色ある事業（講座）

【三世代交流（まちづくりふれあいコンサート）】

令和8年2月14日、約200名の参加で神郷小学校体育館において、まちづくりふれあいコンサートを開催しました。地域の皆さんに素敵な演奏と歌声を聞いて貰いたいと始めたコンサートは、2年目を迎えました。

神郷小学校金管バンド、川東中学校吹奏楽部の生徒達の素晴らしい演奏と神郷コーラスの皆さんの美しい歌声に、会場の人々は寒さも忘れて大きな拍手を送りました。最後は、川東中学校吹奏楽部の演奏で「上を向いて歩こう」を皆さんで歌って会場が一つになりました。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 子育て世代や中高生など若い世代を取り込み、多世代の校区住民の参加を目指す。
- (2) 自治会、各種団体との連携を図り防災等で役に立つ地域の連帯感を深める。
- (3) 学校・公民館・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組む。
- (4) 小・中学校と連携しコミュニティ・スクールの充実を図る。
- (5) 神郷まちづくり委員会を核として熟議を重ね、新しいまちづくりの形を考える

多喜浜公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～

- 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進
- 2 世代間の交流、人材の発掘
- 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 郷土の伝統文化・塩田歴史文化・「かしよい」精神の継承
- 5 人権・同和教育の推進
- 6 デジタルの力を活用した取り組みの推進

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
健康講座	校区住民	29.5	71	122	11	204
育成事業	校区住民	3	15	16	2	33
女性講座	成人女性	24	8	138	0	146
いきいきセミナー	高齢者	14	75	200	1	276
食育・料理講座	成人女性	36	3	157	0	160
三世代交流事業	校区住民	12	112	113	188	413
塩田文化バンク	校区住民	14.5	46	91	163	300
環境・美化講座	校区住民	2	14	11	0	25
まちづくり講座	校区住民	5.5	166	200	61	427

3 特色ある事業（講座）

【塩田文化バンク】

別子銅山とほぼ同時期に生まれた塩田は、新居浜の発展を支え、昭和40年代まで多喜浜の住民と共にあった。廃田以降、人々の記憶から忘れ去られつつある多喜浜塩田を後世に継承していこうという声が地域から高まり、住民が主導してその伝承活動に努めている。塩田で培われた相互扶助、連携協力の精神的基盤である“かしよい”文化と共に、今では使われなくなった“かしよい”の言葉も受け継いでいくために啓発活動も行っている。「ソルティ多喜浜」を活用した「塩の学習館」での塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、塩田ウォーク、塩田踊りなど継続的に取り組み次世代へ継承している。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 塩田文化の保存伝承と継承
- (2) 「ソルティちゃん音頭」「塩田讃歌」の継承
- (3) 地域主体の事業及び講座を実施し異世代の交流を深め、地域の活性化を図る

大島交流センター

1 令和7年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～地域に親しまれるセンターづくり～

- 1 高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業
- 2 歴史と自然を守り伝統文化の伝承
- 3 住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
教養講座	校区住民	20	7	41	0	48
高齢者講座	高齢者	14	41	108	32	181
伝統文化の継承	校区住民	61.5	263	149	36	448
防災教室	校区住民	3	11	14	0	25
みんなの作品展	校区住民	7	15	42	4	61

3 特色ある事業（講座）

【伝統文化の継承講座（とうど祭り）】

人口減少と高齢化が年々加速する中、島民だけでは維持継承が難しいため、各自治会・大島出身者・有志の皆さんの協力を得て「とうど」を2基作り、島内外の人達との親睦と交流を図り、伝統行事の保存と継承を目的とし取り組む。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 島民の人口減少と高齢化がますます加速する中、交流センターに足を運べる人が少なくなってきました。島民のほとんどが高齢者のため、皆さんが日々元気で楽しく生活できるような講座の実施
- (2) 伝統文化である「念仏踊り・口説き・太鼓」、伝統行事である「とうど祭り」を後世に伝え保存していけるような対策
- (3) 非常時に備え、住民の防災知識と住民どうしのつながりを持って、楽しく学習できる講座の実施

泉川公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～

- 1 青少年の健全育成
- 2 高齢者が楽しみながら健康増進事業
- 3 住民が総参加の事業展開
- 4 地域課題の解決に向けた学習会
- 5 郷土の伝統文化の伝承
- 6 まちづくりの醸成

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	31	116	164	0	280
活きいき趣味講座	校区住民	24	4	87	0	91
ふるさと塾	校区住民	19	96	91	0	187
三世代交流事業	校区住民	24.5	553	521	656	1,730
推進講座	校区住民	4	6	58	31	95

3 特色ある事業（講座）

【三世代交流事業（星原市）】

昭和58年に子どもたちの健全育成、三世代交流事業として「星原市」がスタートし、本年度で44年目となります。子どもの相撲大会やイベント、バザーなどで校区の夏祭りとして多くの参加者が交流し、楽しんでいただいています。昨年度より、中学生が手伝いだけでなく、自分たちで考えた企画を運営する主体的な活動を始めました。星原市から始まった活動が、校区の文化祭（公民館まつり）や桜まつりなどへと活動が広がっています。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 計画した講座を実施し、昨年度より講座を多数回実施することができた。本年度も多くの住民に参加していただけるよう内容の発信を行う。早めの計画で関係機関や各種団体と連携強化を図り、地域の方に喜んでいただけるようにする。
- (2) 地域高齢者に向けての健康寿命延伸への取り組みが行われているが、公民館としてできるだけ多くの支援をしていく。
- (3) 少子高齢化社会の中、コミュニティ・スクール関係では、学校・家庭・地域の連携を深める活動が定着している。中学生のイベント実行委員会の活躍の場を広げることに協力していきたい。

中萩公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～

「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町 日本一の中萩」

- 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進
- 2 青少年健全育成の推進
- 3 社会福祉活動の推進
- 4 安心・安全な地域づくりの推進

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
中萩セミナー	校区住民	25	13	134	10	157
高齢者セミナー	高齢者	28	309	178	0	487
健康セミナー	校区住民	22	77	232	12	321
十河信二翁を知り学ぶ活動	校区住民	3.5	22	16	1	39
中萩三世代交流事業	校区住民	6.5	89	93	75	257
環境改善事業	校区住民	9	78	68	38	184
ふたごクラブ	成人女性	11.5	1	32	49	82

3 特色ある事業（講座）

【十河信二翁を知り学ぶ活動】

地域の偉人である「新幹線を走らせた男十河信二翁」について、知り学ぶ活動の一環として、翁の気骨養成と座右の銘「有法子」の原点となる通学路を、健康増進も兼ねて体験ウォーキングをしました。当日は天候にも恵まれ、翁の学び舎である旧制西条中学校（現県立西条高校）までの約10kmを参加者全員で元気に歩き切りました。また、その後伊予西条駅横にある「十河信二記念館」へも立ち寄りました。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 公民館の各種事業が、各種団体の積極的な支援と協力により有効に実施することができた。
- (2) はぎっ子の健全育成について、地域各種団体との連携を取りながら、なお一層の充実を図りたい。
- (3) 地域の人々のニーズや実態を把握し、地域力の向上を図り、より多くの人々の参加を目指して、魅力ある事業を展開する。
- (4) 開かれた公民館として、地域の人々の誰もが活動し、また誰もがつながっている公民館にしていくことを目指す。
- (5) 少子高齢化が進む地域で、福祉や子育てについて、気軽に相談できる体制づくりを地域とともに考えていきたい。

船木公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～

- 1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成
- 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進
- 3 一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進
- 4 人権・同和学習の推進
- 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
三世代交流事業	校区住民	14.5	78	63	711	852
船木を歩こう	地域住民	12.5	44	119	0	163
地域づくり講座	校区住民	3.5	23	47	101	171
環境講座	校区住民	4	22	11	126	159
子ども講座	児童・校区住民	7.5	1	27	43	71
伝統文化講座	校区住民	12	50	72	195	317
趣味講座	校区住民	22	7	112	0	119
芸能祭	校区住民	3	55	108	80	243
国際交流事業	校区住民	3	2	11	0	13
男の料理教室	校区住民	5	9	16	0	25

3 特色ある事業（講座）

【三世代交流事業＝サツマイモ作り】

サツマイモの畝を地域の方々と作り、苗植えを小学校児童、保育園児、中学校全員で行います。サツマイモの収穫時には、中学生全校生徒で、長く伸びたサツマイモのツルを刈る作業から始まります。

この事業は、子どもたちと地域の方々の交流の場となっています。共に協力して行うことで、顔見知りとなり、地域の方々も子どもたちから元気をもらい、お互いに相乗効果を生み出しています。

今年で3年目となるサツマイモ作りですが、「継続は力なり」で、これからも土いじりを楽しんでいきたいと思っています。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 地域に伝わる郷土芸能の伝承と継承。
- (2) ボランティアの高齢化とリーダーとなる人材育成。
- (3) 若い世代の人への公民館活用、みんなの居場所づくり。

大生院公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要(重点事業)

～地域住民が集まり、共に進む公民館～

- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進
- 2 地域歴史遺産を生かした特色ある事業の推進
- 3 自主防災組織の更なる充実と意識の向上
- 4 子どもの居場所づくりと交流

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業(講座)名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者いきいきセミナー	高齢者	7.5	18	29	0	47
くらしのセミナー	校区住民	17	16	106	0	122
わくわく体験講座	児童	12	15	15	36	66
郷土の歴史と文化	校区住民	15.5	54	12	0	66
スポーツ健康教室	校区住民	4	11	22	0	33
三世代交流事業	児童・高齢者	10	26	30	102	158
大生院まちづくり事業	校区住民	4.5	75	74	163	312
国際交流事業	校区住民	1	7	12	0	19

3 特色ある事業(講座)

【わくわく体験講座】

小学4～6年生を対象に、普段学校では学べないことを中心に地域の方が先生となり、料理や歴史など様々な分野の内容を多学年の子どもと一緒に学ぶ講座です。令和7年度は、地元にある科学博物館のプラネタリウム見学から始まり、科学実験体験、災害時に役立つ料理方法、大生院の歴史や工作などを学びました。参加した児童からは「知らないことを学べて楽しかった」「大生院のことを知ることができてよかった」などの声がありました。

来年度には、軽スポーツ体験なども取り入れ、より楽しく学べる充実した講座にしていこうと思います。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 公民館活動への住民の参画の促進をしつつ、次世代を担う人材の発掘と育成
- (2) 地域全体で、子どもや青少年の健全育成の充実
- (3) 地域住民のニーズに合わせ、より多くの人々の参加を目指し魅力あふれる事業を展開していく。
- (4) 地域防災の更なる充実と強化
- (5) 人権・同和教育の拡充

角野公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～

- 1 思いやる心を育てる生涯学習を推進し将来を見据えた地域づくり
- 2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり
- 3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり
- 4 自分達で命を守る防災意識の確立を図る地域づくり
- 5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
合同セミナー	校区住民	28	335	283	427	1,045
手作りセミナー	校区住民	5	2	42	0	44
いきいき生活セミナー	校区住民	26	18	102	0	120
未来まちづくりプラン	校区住民・ 児童・生徒	42	107	134	715	956
伝統文化継承プラン	校区住民・ 児童・生徒	19	218	134	167	519
家庭教育セミナー	校区住民・ 児童・生徒	28	30	20	97	147
国際交流	校区住民	2	2	7	0	9

3 特色ある事業（講座）

【三世代交流もちつき大会】

地域の伝統行事である「もちつき」を通して、幼児から高齢者まで幅広い世代が交流できる機会として実施している。当日は子どもたちも実際にもちつきを体験し、大人と一緒に声をかけ合いながら楽しく取り組む姿が見られた。参加者同士の自然なふれあいや会話が生まれ、世代を超えたつながりを深める場となっている。

また、昔ながらの道具や作業工程に触れることで、伝統文化への理解や関心を高める機会にもなっている。

今後も、楽しみながら交流できる行事として継続していきたい。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 学校との連携を大切にしながら、「角野コミュニティスクール」をさらに充実させていく。
- (2) 地域の未来を担う人材の育成に取り組む。
- (3) 安心して過ごせる居場所づくりを進める。
- (4) 思いやりの心を育み、誰もが大切にされる地域づくりを目指す。

別子山公民館

1 令和7年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域づくりの拠点として、暖かくぬくもりのある公民館を目指して～

- 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる。
- 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る。
- 3 人権・同和教育の推進
- 4 青少年の健全育成を図る。
- 5 世代間交流の充実強化

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
三世代交流餅つき	校区住民	5	18	15	2	35
別子山秋季大運動会	校区住民	4	58	48	28	134
地域文化の伝承	校区住民	11	6	14	0	20
人権と未来講座	校区住民	1	7	1	0	8

3 特色ある事業（講座）

【地域文化の伝承】

別子校区では、令和4年度より「地域文化の伝承」活動として、古くから受継がれてきた伝統の食文化を掘り起こし、伝え残す活動に取り組んでおります。

令和7年度は「切り干し大根料理」と「ようかんづくり」それに、「こんにゃく」と3種の食に焦点をあて、行いました。

今回も、2名の講師をお願いをし、伝統技法の手順をご指導いただき、大事な食文化を後世に残す第一歩に繋がりました。



4 令和7年度事業の反省及び今後の課題

地域人口の減少と高齢化により、地域力の低下が顕著となっております。

そんな現状ではございますが、地域を愛し住み続ける皆さんは、公民館にとって非常に重要な存在です。そんな皆さんのために、公民館として出来る様々な支援や活性化策を、共に考え導き出し、明るく健康的な生活に結び付けられるよう力を尽くしたいと思います。

目に見える改善策はございませんが、これからもご高齢の皆さんが無理なく参加でき若い世代とも交流が図れるメニューに取り組む必要性を感じています。

青少年センターの主な施策と実績

1 運営協議会

青少年センターの運営に必要な運営方針、重点目標、業務計画、少年補導委員の推薦、青少年の善行表彰の審議等について協議している。

協議会の開催状況（令和7年度）

第1回 令和7年 5月

第2回 令和8年 2月

2 街頭補導

街頭補導は、少年補導委員を中心に活動場所を選んで効果をねらうとともに、計画的・組織的に問題少年、非行少年の早期発見、早期補導を基本に取り組んでいる。

（1）実施の状況（令和7年度）

街 頭 補 導 回 数	従事補導委員延べ人数	補導した少年延べ人数
545 回	2,428 人	56 人

（2）行為別内容（指導・声かけ）（令和7年度）

（単位：人）

区 分	児 童 生 徒	そ の 他	計
飲 酒			
喫 煙			
怠 学 ・ 怠 業			
盛 り 場 徘 徊			
夜 遊 び			
暴 走 行 為			
ゲ ー ム セ ン タ ー			
無 灯 火 ・ 重 乗 等	3		3
声 かけ（帰 宅 指 導 等）	53		53
そ の 他			
	56		56

3 相談活動

国際化、少子化、高齢化、情報化などが進む今日、青少年を取り巻く社会環境も変化し、また、青少年自身の価値観、意識、行動も変容している。

このような社会の中で、保護者をはじめ、学校関係者、地域住民、関係機関等が連携を密にし青少年の健全育成に取り組んでいる。

青少年の健全育成には、子どもたちの人間性を豊かにし、たくましく生きる力を育成することが必要である。

子どもの非行、いじめ・問題行動などで悩みをもっている家庭、関係者、青少年自身からも相談を受け、問題の早期解決、予防、生活習慣の改善策等について話し合っ支援をし、必要な場合は関係諸機関に連絡し、相談、助言、指導を行っている。

（1）相 談 の 日 毎週月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日・年末年始の休日を除く）

（2）相談の方法 来所相談・電話相談・訪問相談

項 目	来所相談	電話相談	訪問相談	合 計
相談件数	0	2	0	2

(3) 令和7年度少年相談の状況

学 職	小学生	中学生	高校生	その他	合 計
相 談 件 数	0	0	2	0	2

ア 相談対象者

相 談 内 容	家庭問題	学 校	非行・不良行為	その他	合 計
相 談 件 数	0	1	0	1	2

イ 相談内容

4 関係機関・団体との連絡連携

家庭、学校、警察、大型店、関係機関、団体等との連携により問題少年、非行少年等の早期発見、早期補導に努めた。

関係機関や団体が催す青少年健全育成、非行防止等の研修会、連絡会等に積極的に参加し、情報の収集、情報交換等に努めた。

5 青少年善行表彰

青少年の資質の向上を目的に日常生活や行動において善行著しい者について、運営協議会の決定に基づいて表彰した。

【善行表彰受賞者（令和7年度）】

小学生0名 中学生4名 高校生3名 高専生3名 社会人1名

6 青少年健全育成の活動状況

新居浜市では、7月1日～7月31日の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月1日～11月30日の「子ども・若者育成支援強調月間」を重点に、青少年健全育成のための活動を展開している。

(1) 青少年健全育成に関する啓発資料の配布

市政だよりによる啓発と20歳未満の飲酒・喫煙防止等の啓発。

(2) 青少年健全育成に関する標語

各小・中・高校へ標語を募集し、審査の後、表彰した。(応募数は、小学生46、中学生27、高校生9)

最優秀(3点)、優秀(5点)、佳作(12点)作品は、市政だよりに掲載するとともに、ポスターを作成し、強調月間中、小・中・高校、公民館、市役所等に掲示し、啓発に努めた。

<最優秀>

いいところ みつけるたびに いいきぶん
比べない 自分の個性を 大切に
画面から 顔を上げれば 広がる世界

船木小1年
船木中1年
南 高3年

一色 すず
塩見 美葵
佐野 柚菜

<優 秀>

めとみもと こころでくよ きみのはなし
えがおから はじまる 広がる つながれる
見のがさない 笑顔のうらの SOS
変わるのは まわりじゃなくて 自分から
SNS “一瞬”の過ち “一生”の傷

宮西小3年
神郷小4年
金子小6年
南 中2年
南 高2年

原 慎太郎
杉山 登哉
岡部 瑛太
村尾 侑詩
桑原 陽妃

生涯学習センターの主な施策と実績

1 生涯学習センター事業報告

急激な世の中の変化に対応する講座を開講することにより、多くの市民が受講した。令和7年度事業の柱として、①「SDGsの実現」②「ウェルビーイングの獲得」③「新しい学びへの挑戦」を掲げて講座運営に取り組んだが、それぞれの講座運営に“まなびすと”をはじめとする市民の企画運営協力をいただき、学習成果を上げることができた。

2 生涯学習大学の開設

生涯学習大学講座内容

(令和7年度)

講 座 名	対 象	実施期間	回 数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
					男	女	
松 山 大 学 公 開 講 座	市民	R7. 6. 7～R8. 1. 10	10	20	26	16	296
日 本 文 学 講 座	市民	R7. 5. 31～R7. 12. 20	6	12	13	36	207
新 居 浜 高 専 市 民 講 座	市民	R7. 5. 31～R7. 11. 15	6	12	25	11	168
科 学 博 物 館 講 座	市民	R7. 5. 29～R7. 11. 27	7	14	43	28	404
人 生 百 年 医 学 講 座	市民	R7. 6. 11～R8. 2. 18	8	16	17	66	450
SDGs から考える地球環境問題	市民	R7. 5. 24～R7. 11. 22	6	12	17	26	199
学ぼう！健康長寿の秘訣A	市民	R7. 6. 27～R7. 12. 8	5	10	7	36	146
学ぼう！健康長寿の秘訣B	市民	R7. 7. 7～R7. 11. 28	5	10	9	33	120
賢い生活者になるための講座	市民	R7. 6. 4～R7. 11. 5	5	6	11	35	180
これからのまちづくり講座	市民	R7. 9. 1～R7. 11. 18	4	8	7	18	64
最新理論から学ぶしあわせ学入門	市民	R7. 9. 17～R7. 11. 19	3	6	10	33	96
子ども達の未来を考える講座	市民	R7. 7. 30～R7. 8. 27	4	8	4	9	46
別子銅山の歴史をたどる初級	市民	R7. 6. 25～R7. 12. 17	5	10	20	9	105
別子銅山の歴史をたどる上級	市民	R7. 6. 26～R7. 12. 18	5	10	14	1	45
文化財見聞録（市内編）	市民	R7. 10. 31～R8. 1. 16	4	8	13	8	67
人 間 学 講 座	市民	R7. 6. 2～R7. 11. 10	6	12	12	5	71
へ ん ろ 学 と 郷 土 物 語	市民	R7. 6. 24～R7. 11. 25	5	10	21	13	145
新 ・ 雑 談 し ま 専 科	市民	R7. 6. 4～R8. 3. 4	10	20	6	23	215
大 人 の 世 界 史	市民	R7. 6. 19～R7. 7. 31	4	8	15	23	128
懐 かし の 心 の 唄 講 座	市民	R7. 6. 11～R8. 2. 18	8	16	27	99	788
おとなのための絵本セラピー	市民	R7. 6. 3～R7. 12. 2	6	12	1	15	67
超 入 門 ハ ン グ ル 講 座	市民	R7. 5. 20～R7. 11. 25	6	12	4	13	121
アフリカ理解・国際交流	市民	R7. 9. 29～R7. 11. 10	3	6	2	12	30
健 康 い き い き ラ イ フ	市民	R7. 5. 23～R8. 2. 13	6	18	5	45	252
自 然 探 訪	市民	R7. 9. 9～R7. 12. 2	4	8	7	11	67
け ん 玉 遊 び	市民	R7. 6. 5～R7. 7. 3	2	4	6	16	40
暮らしに生かす書道教室	市民	R7. 5. 27～R7. 9. 30	5	6	2	18	89
お 手 玉 遊 び 講 座	市民	R7. 5. 19～R7. 7. 14	3	6	2	12	34
メ ン ズ ・ キ ッ チ ン	市民	R7. 6. 6～R8. 3. 6	4	12	16	0	54
お と な の マ ナ ー 講 座	市民	R7. 6. 13～R7. 8. 22	3	6	3	20	69
学 ん で マ ナ ビ ャ	市民	R7. 5. 10～R8. 3. 24	36	84	103	741	735
チ ケ ッ ト 受 講 生	市民	R7. 6. 4～R8. 2. 18	23	46	11	52	63
計			221	448	479	1,492	5,561

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績

1 高齢者生きがい創造学園事業報告

おおむね60歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進をした。

(1) 講座内容

(令和7年度)

講 座 名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
幸 齢 社 会 を 賢 く 生 き る	R7. 5.13～R7. 9. 2	5	10	44	121	165
郷 土 を 歩 く	R7. 5.15～R7.11. 6	5	30	47	72	119
家 庭 菜 園 教 室	R7. 5.13～R8. 3. 3	10	20	94	121	215
季 節 の 料 理 教 室	R7. 5. 9～R8. 2.13	10	30	11	191	202
書 道 教 室	R7. 5.14～R8. 2.18	14	28	89	264	353
篆 刻 教 室	R7. 5.20～R8. 2.17	12	24	73	117	190
茶 道 教 室	R7. 5.16～R8. 2.27	15	30	0	127	127
グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ 教 室	R7. 5.19～R8. 2.16	14	28	83	94	177
四 季 の 組 み 木 教 室	R7. 5. 8～R8. 2.12	10	20	43	18	61
かたがにいいことはじめま専科教室	R7. 5. 8～R7.12. 4	15	30	48	190	238
楽 笑 ! ヘ ル ス ケ ア 教 室	R7. 5.13～R8. 1.27	10	20	15	238	253
オ カ リ ナ 教 室	R7. 5.12～R8. 3. 2	14	28	41	198	239
コ ー ラ ス 教 室	R7. 5.12～R8. 3. 5	15	30	64	326	390
俳 句 教 室	R7. 5. 7～R8. 3. 4	10	20	46	69	115
ラ ー ジ ボ ー ル 卓 球 教 室	R7. 5.12～R8. 1.19	14	28	109	312	421
己 書 教 室	R7. 5.16～R8. 1.16	6	12	10	44	54
本 革 で 小 物 作 り 教 室	R7. 5. 9～R7.11.28	10	20	19	111	130
計		189	408	836	2,613	3,449

(2) サークル活動等

【サークル活動】

講座終了者が、グラウンドゴルフサークルをはじめとする37サークルで自主的で幅広い活動をしている。

年間延べ回数 1,362回 男 7,680人 女 14,134人 計 21,814人

【代表者会】

- 目 的 学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図ることを目的とする。
- 構 成 学園の各講座、サークルの受講者の互選により選出された代表者で構成される。
- 組 織 総務委員会・広報委員会・体育委員会・文化委員会・音楽委員会で構成される。
- 実 績 記念誌「高齢者生きがい創造学園 三十年のあゆみ」の発刊

図書館の主な施策と実績

1 図書館の利用状況

(1) 貸出図書

(R 7. 4. 1～R 8. 3. 31)

①図書・雑誌等

開館日数 292 日

ア 本 館

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	5,563	9,473	25,030	19,121	34,900	33,257	7,690	51,025	4,007	159,738	3,461	100,515	244	26,337	480,361

イ 移動図書館

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	254	577	898	922	2,786	2,439	492	2,829	201	9,022	265	5,356	8	177	26,226

ウ 角野分館

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	440	635	2,381	1,214	3,671	2,963	620	3,360	218	15,277	409	10,322	2	2,413	43,925

エ 合 計

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	6,257	10,685	28,309	21,257	41,357	38,659	8,801	57,214	4,426	184,037	4,135	116,193	254	29,045	550,630

②AV資料

	館 内	館 外	計
C T(本) (カセットテープ)		2	2
V T(本) (ビデオテープ)	1	0	1
C D(枚)		6,165	6,165
D V D(枚)	270	11,546	11,816
計	271	17,711	17,982

③電子図書

(単位：点)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	K 児童	その他	計
貸出 点数	203	327	1,969	951	1,372	1,230	117	593	325	3,085	2,557	20	12,749

(2) 登録者数

(単位：人)

区 分	児 童 (小学生以下)	一 般 (中学生以上)	団 体	計
登 録 者	6,538	67,726	281	74,545

(3) 団体貸出

市内の幼稚園、学校、福祉施設、読書会等に貸出をしている。

貸出冊数 100 冊以内、貸出期間は 4 週間。

令和 7 年度貸出冊数 15,669 冊

(4) 心身障害者に対する図書貸出

市内に在住する心身障害者（身体障害者の場合は 1 級～3 級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する費用は図書館が負担している。）

貸出冊数 5 冊以内、貸出期間は 30 日間。

(5) 開架図書冊数

(R 8. 3. 31 現在)

(単位：冊)

館別 \ 区分	一 般	児 童	計
本 館	120,263	34,886	155,149
移 動 図 書 館	3,870	6,725	10,595
角 野 分 館	9,608	8,502	18,110
計	133,741	50,113	183,854

(6) リクエスト

(R 7. 4. 1～R 8. 3. 31)

(単位：件)

館別 \ 区分	窓 口	館内 O P A C	W e b O P A C	携帯 O P A C	リクエスト	合 計
本 館	4,186	1,614	28,478	0	1,128	35,406
移 動 図 書 館	0					0
角 野 分 館	1,060	97			151	1,308
計	5,246	1,711	28,478	0	1,279	36,714

(7) 相互貸借

予約された資料などが自館で手に入らない場合、他館から借用することがある。

(国立国会図書館総合目録ネットワークに参加)

(R 7. 4. 1～R 8. 3. 31)

(単位：件)

借 受		貸 出	
県内図書館	県外図書館	県内図書館	県外図書館
247	15	155	31

2 主な事業

(1) 図書館運営における市民サポーター制度の推進強化

図書館サポーターとの協働による図書館支援の強化を図るとともに活動の情報発信に取り組み、サポーター登録者の拡大を図る。

登録数 個人 28 名 団体 3 団体

活動内容 書架整理、館内外美化環境整備、イベントの補助、読み聞かせ等

(2) 読書活動の推進と機会の提供、生涯学習の支援

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。

・第10回子ども読書通帳マラソン

令和7年4月19日(土)から令和7年8月17日(日)まで子ども読書通帳マラソンを実施し、上位者を表彰。期間中参加者82名のうち各部門上位3名計15名表彰。最高冊数は1,040冊(幼児部門)。

表彰式 令和7年8月23日(土)10:00~多目的ホールにて開催。

・図書館まつり

日頃、図書館を支えてくれる市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催

「ブックリサイクル」と「ワークショップ ブックカバーでエコバックを作ろう！」令和7年11月23日(日)

「ブックリサイクル」9:00~14:00

図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本(重複及び図書館において資料的価値のないもの)約6,773冊を市民に無償で提供した。(来場者大人280名、子ども100名)

「ブックカバーでエコバックを作ろう！」10:00~15:00(来場者大人15名、子ども35名)

「本との出会い、本のある暮らし」芥川賞作家 高瀬隼子さんを迎えて令和7年11月30日(日)

トークショー 10:00~11:00(参加者167名)

サイン会 11:10~12:10(参加者83名)

・定例おはなし会

本館 毎月第1木曜日(乳幼児0~3歳対象)、第2・4水曜日(幼児対象)、第3土曜日(小学生対象)、第3火曜日(英語)

角野分館 毎月第1・3水曜日(幼児対象)

紙芝居、絵本の読み聞かせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング等を行う。

協力(ボランティア)回転木馬、民話の里すみの、
ジュムスクール(参加者 子ども626名、大人440名)

(3) 関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、学校や学校図書館、病院や福祉施設、地域企業との連携を強化する。

・ブックスタート事業

毎月2回開催される、保健センターの5か月児健康相談において司書が説明の言葉を添えて絵本等の入ったブックスタートパックを手渡す。(対象652名 配布者651名 配布率99.8%)

・健康支援

市民の多様な健康情報へのニーズにこたえるため、保健センターや医療機関と連携。チラシ・パンフレットの配布を行った。(健康支援図書コーナーも設置)

・がん情報ギフトコーナー設置

・ロビー展

「子どもの日母の日家族の繋がりを大切にする月」「からだの健康はお口から」「カーボンニュートラル展示」等 計32回

・出前講座

放課後児童クラブ、保育園、高齢者福祉施設等へ出向き「お話会」等を行い、本やお話に親しんでもらい、図書館のPRも行う。計13回 (参加者子ども181名、大人117名)

・図書館ネットワーク

・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスによる資料提供

・ 愛媛県立図書館図書の遠隔地返却サービス協力

・ 学校及び学校図書館との連携

子どもの読書活動・学習活動を推進していくため、学校や学校図書館との連携を行う。

・ 団体貸出、図書館見学・職場体験の受入、図書購入時や調べ学習の図書リストの作成・情報提供、リサイクル図書等の活用

・ 雑誌スポンサー制度の実施 平成 24 年 7 月 1 日より開始

「雑誌スポンサー制度」とは、雑誌そのものを寄贈してもらうのではなく、雑誌の購入代金を負担してもらう制度。雑誌は、図書館の中でも回転率の高い資料で、多くの人が毎日利用しているので、高い広告価値がある。(雑誌 161 タイトル中 21 タイトル)

・ 雑誌スポンサータイアップセミナー

雑誌スポンサー(登録者数 14 団体)の中から協力いただける事業者により専門分野での講座を開催していただくとともに、図書館は所蔵する関連図書のリストを作成、配布。

「ココロとカラダの健康セミナー」前期自律神経ケア 4 回(参加者 51 名)

「キッズマネーセミナー in 図書館」令和 7 年 7 月 30 日(木) 10:00~12:00(参加者 小学生 19 名)

「夏休み子ども企画!子どもと正しい姿勢で集中力アップ!」令和 7 年 8 月 21 日(木) 10:00~11:30(参加者 子ども 4 名 大人 4 名)

「ココロとカラダの健康セミナー」後期血流リンパケア 4 回(参加者 30 名)

(4) 図書館 P R 活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、PR 活動の改善を図る。

・ 夏休みは図書館へいこう!

第 1 弾「親子でチャレンジ!感想文」

小学校低学年 2 回連続コース

① 書くための本の選び方 令和 7 年 7 月 24 日(木) 13:30~15:30(親子 7 組)

② 感想文の書き方 令和 7 年 7 月 25 日(金) 13:30~15:30(親子 8 組)

第 2 弾「夏休み子ども図書館探検&おもしろ科学実験!」令和 7 年 8 月 6 日(水)

① 図書館見学 9:30~10:00

書庫や郷土資料室の見学、本が書架にならぶまでのしくみや便利な図書館サービス等をプロジェクターを使い紹介。

② おもしろ科学実験 10:00~12:00

みきゃんカードのマジックと、不思議な空き缶(参加者 小学生 33 名)

第 3 弾「夏の夜のちょっとこわいおはなし会」

令和 7 年 8 月 8 日(金)

子どもと大人対象の怖いお話と語り 19:15~20:00 (参加者 子ども 48 名 大人 40 名)

・ シン“我楽多講座”

第 38 回「全米 TOP1 ヒットの歴史 その 15」令和 7 年 5 月 25 日(日)(参加者 5 名)

第 39 回「全米 TOP1 ヒットの歴史 その 16」令和 7 年 7 月 6 日(日)(参加者 9 名)

第 40 回【特別編】「色とりどりの名曲たち」令和 7 年 10 月 26 日(日)(参加者 12 名)

第 41 回「全米 TOP1 ヒットの歴史 その 17」令和 7 年 12 月 7 日(日)(参加者 12 名)

第 42 回「全米 TOP1 ヒットの歴史 その 18」令和 8 年 2 月 1 日(日)(参加者 13 名)

(5) 地域資料の保存と情報発信、ふるさと学習の推進

郷土の歴史や文化を次世代に継承するために、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や

郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

- ・愛媛新聞公開データベースの閲覧
- ・別子銅山コーナー・住友関連コーナー等の充実
- ・「まなび舎 来ぶらり」別子銅山講座から新居浜をさらに学ぶ講座へリニューアル

第1回「国の天然記念物になった銅山峰のツガザクラ群落」令和7年4月27日（日）（参加者 46名）

第2回フィールドワーク「新居浜観光ガイドとめぐる端出場」令和7年6月8日（日）10：00～12：00
（参加者 28名）

第3回「別子銅山と新居浜祭り」令和7年9月7日（日）（参加者 43名）

第4回フィールドワーク「住友山田社宅」令和7年10月5日（日）10：00～11：30（参加者 33名）

第5回「住友の煙害克服の歴史～受け継がれる先人の想い～」令和8年1月25日（日）（参加者 47名）

（6）その他

- ・戦後 80 年平和を考えるパネル展 令和7年7月19日（土）～8月31日（日）

① 原爆写真パネル

核兵器のない世界を願ったパネル展

② 「へいわってどんなこと？」

絵本作家浜田桂子氏のパネル展

- ・かくれている「妖怪を探せ」令和7年8月8日（土）～8月10日（日）各日 50名

- ・大人の読書会 Special Night

おすすめの本を一冊持ち寄り、その本への思い、感動を語り合う

第一回 令和7年10月10日（金）19：15～20：30

（参加者 11名）

第二回 令和8年2月27日（金）19：15～20：30

（参加者 10名）

- ・新春企画 図書館で開運！「本のおみくじ」と「本のしおり」作り

「本のおみくじ」一般書、絵本各 100 冊 令和8年1月4日（土）開始、1月5日（日）終了
しおり作り



「本との出会い、本のある暮らし」芥川賞作家
高瀬隼子さんを迎えて



大人の読書会 Special Night

学校教育課の主な施策と実績

令和7年度は、「チーム学校」のマネジメント機能を強化することを重点事項とし、①「持続可能な社会」の担い手育成に向けた、地域とともに育つ学校づくり、②互いの人権を尊重し、一人一人が支え合い、認め合う人間関係づくり、③生きる力を育む教育の推進、④教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化、⑤安全・安心な教育環境の整備に取り組み、誰ひとり取り残さない教育の実現に努めた。

特色ある学校づくり

市内の全小・中学校がユネスコスクールに認定されており、ユネスコスクールとしてE S Dの視点に立った特色ある学校づくりに取り組むとともに、持続可能な社会の担い手を育てるため、学校と地域が連携して自主的に創意工夫を凝らした教育活動の実施に努めた。

令和7年度E S D推進事業

小学校

学 校 名	実 施 テ ー マ
新居浜小学校	見つめよう 考えよう 未来へつなげよう ふるさと新居浜 ～学校ビオトープの学びを中心に～
宮西小学校	地域とつながり 未来へはばたく みやにし（人・文化・自然）
金子小学校	未来につなげよう！金子愛顔の町プロジェクト～かかわる・つながる・ひろがる～
金栄小学校	金栄いきいきつながりプロジェクト～地域の方との交流活動を通して～
高津小学校	ふるさと発見 つなげよう未来へ
浮島小学校	共に生きる
惣開小学校	自ら学び、自ら考え、持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材の育成 ～SDG s 達成のために学校と地域のパートナーシップによる協働的なE S D活動を通して～
垣生小学校	「自然」「環境」「歴史・文化」とのふれ合いを通して ～命の尊さと地域とともに生きることのすばらしさを感じられる子～
神郷小学校	つながろう地域と人と つなげよう私たちの未来へ
多喜浜小学校	「多喜浜塩田を未来に伝えよう」
泉川小学校	「わたしたちのまち 大好き泉川」 ～自然・文化・人とのつながりによるSDG s の達成～
船木小学校	「ふれあい ～ふるさと船木の自然や人～」
中萩小学校	「伝えよう！地域のよさを」 ～見つめようふるさと 広げよう思いやり～
大生院小学校	ふるさと大生院の未来を創造する児童の育成～人・自然・地域との関わりを通して～
角野小学校	角野小学校タイムトラベル ～ふるさとに誇りを持ち、その良さを発信していける子の育成～
別子小学校	「学校・地域文化の継承」「自然から学ぶ」 ～ふるさとを守ろう ふるさとから学ぼう～

中学校

学 校 名	実 施 テ ー マ
東 中 学 校	うぐいす運動
西 中 学 校	地域を知り、人とつながり、未来を拓こう
南 中 学 校	「共生社会」の実現を目指し、自己の生き方を探ろうとする心豊かな生徒の育成
北 中 学 校	私たちはどのようにすれば、人や自然に優しい街づくりができるのだろう
泉 川 中 学 校	地域や社会に生きる一員として何ができるかを考え、公のために行動する
船 木 中 学 校	『持続可能な発展を目指して、地域の一員としてどのように生きていけばいいか考えよう』
船 木 中 学 校 ひ び き 分 校	「地域と連携した和太鼓活動」～地域に学び、自己の生き方を考える～
中 萩 中 学 校	「自立・共存・交流」～地域に学び、自己の生き方を考える～
大 生 院 中 学 校	ともに学び合う生徒の育成 ～人・もの・自然との関わりを通して～
角 野 中 学 校	大人になっても語ろう！角野の誇り
川 東 中 学 校	地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる
別 子 中 学 校	地域とのパートナーシップで、共に未来をつくる ～Think Globally Act Locally～

コミュニティ・スクール

地域と学校が公式のパートナーとして、共に子どもたちを育て共に地域をつくる「地域とともにある学校づくり」の推進のため、全市的にコミュニティ・スクールの充実に向けた取組を実施した。また、各校の取組や課題の共有等を通じ、各校の特色のあるコミュニティ・スクールの充実に努めた。

生徒指導

不登校対策に校長を中心に全教職員が一致協力して取り組み、全力を尽くしてその防止・解決に努めた。

不登校対策検討委員会や関係機関との連携を図り、実態に即した活動を実施した。

昨年度に引き続き本年度も、教育委員会、各学校及び青少年の健全育成団体との連携を図るため、「児童生徒をまもり育てる協議会」を中学校区別に実施した。

各学校と「あすなる教室」との連携を深め、進路相談会や研修会を実施した。

人権・同和教育

校区別人権・同和教育懇談会開催事業として、基礎研修、学級・学年別研修を実施した。差別の現実に深く学ぶことを理念に、同和教育をはじめとする様々な人権問題について正しい理解を深め、全教育活動を通して、差別を「しない・させない・許さない」児童生徒を育成する教育実践を目指してきた。

国際・情報化

A L T (7名)と英語指導員(3名)を小・中学校に派遣することにより、生きた英語教育の充実を図ることができた。また、市内全小・中学校がホームページを開設し、広く情報公開に努めている。

1 教職員研修の推進

研修内容の3本柱として、「特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実」「人権・同和教育の充実」「生徒指導の徹底」を挙げ、次のとおり研修に努めた。

(1) 重点目標

「チームとしての学校」の機能強化

(2) 最重要課題

誰ひとり取り残さない教育

(3) 研修の内容

ア 特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実

- (ア) 基礎的・基本的事項を確実に身に付け、個性を生かす学習指導の充実と評価方法の確立に努める。
- (イ) 児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。
- (ウ) 豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と情操教育の充実を図る。
- (エ) 学校図書館やＩＣＴ機器の活用による指導法の改善に努める。
- (オ) 体験的・問題解決的な学習を重視し、ティームティーチングや少人数による授業の実施等、多様な学習指導の工夫に努める。
- (カ) 授業研究、事例研究等の研究を通して、「生きる力」を育てる実践的指導力の向上を図る。

イ 人権・同和教育の充実

- (ア) 相互に認め合い、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。
- (イ) 家庭・地域・学校の連携をより深め、人権思想の啓発と高揚を図る。
- (ウ) 困難な条件のもとにある児童生徒の教育条件を整備し、学力の向上と進路保障の体制を整える。
- (エ) 差別の現実を正しくとらえ、差別を解消する視点を明確にし、問題解決への実践力を身に付ける同和問題学習の推進に努める。
- (オ) 小・中学校の連携を図りながら、教職員一人一人の同和教育観の確立と同和问题解決の力量を高める。

ウ 生徒指導の徹底

- (ア) いじめ・不登校・非行の問題について、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽くしてその防止・解決に努める。
- (イ) 学習指導と生徒指導の一体化を図り、一人一人のよさを認め、可能性を伸ばすよう指導の改善に努める。
- (ウ) 教職員と児童生徒、保護者との信頼関係を確立し、積極的な生徒指導に努める。
- (エ) 児童生徒や保護者に対する教育相談を充実し、温かい人間関係のなかで、児童生徒理解に努める。
- (オ) 学校と家庭・地域社会・関係諸機関等との連携を密にし、協力体制の一層の充実を図る。

(4) 研修の日程と協議内容

ア 小・中学校長研修会

- 4月 10日(木) 新居浜市教育委員会令和7年度基本方針の説明及び令和7年度校長研修会計画
- 11月 19日(水) 「私の根っこと学校の未来～人権・同和教育と絡み合った学校経営」
- 2月 16日(月) 「学校経営の反省と今後の教育に望むこと」

イ 小・中学校教頭研修会

- 4月 23日(火) 年度始めの学校運営について
- 8月 28日(水) 研究協議題「学校の課題と解決へ向けた教頭としての取組」
- 12月 6日(金) えひめ学園・船木中学校ひびき分校の見学等
- 2月 10日(月) 今年度の考察と来年度へ向けた改善

ウ 小・中学校主幹教諭及び教務主任研修会

- 5月 12日(月) 研究協議題「主幹教諭・教務主任として、今年度工夫しようとしている点や過去の実践で効果があつた取組」
- 8月 4日(月) 研究協議題「『個別最適な学び』と『協働的な学び』を充実させ、『主体的・対話的で深い学び』を実現するために、主幹教諭、教務主任としてどのような取組をしているか。」

エ 小・中学校生徒指導主事研修会

- 4月 23日(水) 研究協議題「各小・中学校の昨年度のいじめ・不登校の状況を踏まえ、今年度の課題とそれに向けて、どのような工夫、努力をしようとしているか」
- 8月 19日(火) 研修「不登校児童生徒への支援」
- 2月 3日(火) 研修「令和8年度のいじめ・不登校の現状について」

オ 交通安全指導担当者研修会

4月30日（水） 「小・中学生の交通事故の実態及びその対策について」

カ 人権・同和教育主任研修会

5月13日（火）、8月6日（水）、8月22日（金）、1月16日（金）、2月17日（火）

・令和7年度人権・同和教育の推進について

・校区別人権・同和教育懇談会の取組について

・新居浜市小中学校人権・同和教育研究大会の取組について

・人権作文の取組について

・共通教材について

・令和7年度の人権・同和教育の推進の反省と今後の課題について

・令和8年度からの人権・同和教育の進め方について

キ 学力向上研修会

6月24日（火） 中学校の部開催

9月25日（木） 小学校の部開催

ク 新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会の開催

11月27日（木）

【研究主題】「差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいのか」

小学校 〔会場〕 A群 新居浜小学校、宮西小学校

B群 船木小学校

C群 角野小学校、別子小学校

中学校 〔会場〕 A群 川東中学校

B群 東中学校

2 教育研究所の歩み

これまでの基本理念を継承し、取組を生かしながら、令和6年度組織改編した新居浜市教育力向上推進委員会2年次の活動を行った。

新居浜市の教育課題に対応し新たに設けた教育力向上実践活動部会（学力向上部会・体力向上部会・道徳性向上部会・地域連携力向上部会）に、それぞれ第25期教育研究所員を置き、教育課題に基づく実践研究を進めた。

ア 教育研究所員は、教育力向上実践活動部会委員を兼ね、令和6年度、各部会2名（計8名）任命した。

研究期間は2年とし、令和7年度は2年次の実践研究を行い、研究成果をまとめた。

イ 新居浜市教育研究所の諮問機関として新居浜市教育力向上推進委員会を継続設置している。

【主な活動】

5月16日（金） 第1回教育力向上実践活動部会、第1回教育研究所員会

5月30日（金） 指導力向上セミナー（学級経営）

6月4日（水） 第1回社会科副読本編集委員会

6月27日（金） 第2回教育力向上実践活動部会、第1回教育研究所員会

7月28日（月） 第2回社会副読本編集委員会

7月29日（火） 指導力向上セミナー（道徳教育）

8月26日（火） 指導力向上セミナー（構成的グループエンカウンター）

8月27日（水） 第3回社会副読本編集委員会（中止）

9月30日（火） 第1回教育力向上推進委員会

11月6日（木） 第3回教育力向上実践活動部会（地域連携力向上部会）

11月7日（金） 第3回教育力向上実践活動部会（道徳性向上部会）

11月14日（金） 第3回教育力向上実践活動部会（体力向上部会）

11月17日（月） 第3回教育力向上実践活動部会（学力向上部会）

1月26日（月） 第4回社会科副読本編集委員会

1月30日（金） 第4回教育力向上実践活動部会（全4部会）

2月27日（金） 第4回教育力向上推進委員会、第5回教育力向上実践活動部会、第3回教育研究所
委員会

3 教育支援センター(あすなろ教室)の歩み

不登校児童・生徒の数が全国的にも、また新居浜市においても増加の傾向にあることから、平成5年9月に青少年センターが旧図書館の一階に移転したのを機会に、同年10月から青少年センター内に「適応指導教室」を設置した。当初は、中学校生徒の受入れのみで始まったが、学校教育課所管になった平成10年度から、児童の受入れも開始した。

令和6年4月から、名称を「教育支援センター（あすなろ教室）」へと変更した。

【入級児童・生徒数】

年 度	人 数	備 考
平 成 24 年 度	15	うち 児童2名
平 成 25 年 度	19	うち 児童5名
平 成 26 年 度	22	うち 児童2名
平 成 27 年 度	21	うち 児童2名
平 成 28 年 度	23	うち 児童3名
平 成 29 年 度	20	うち 児童5名
平 成 30 年 度	34	うち 児童10名
令 和 元 年 度	36	うち 児童8名
令 和 2 年 度	59	うち 児童7名
令 和 3 年 度	49	うち 児童5名
令 和 4 年 度	46	うち 児童9名
令 和 5 年 度	57	うち 児童11名
令 和 6 年 度	52	うち 児童6名
令 和 7 年 度	40	うち 児童5名

4 教育における国際化への対応

(1) A L T（外国語指導助手）による訪問指導

新居浜市では、総務省・文部科学省及び外務省の協力で行っている「J E Tプログラム」（語学指導を行う外国青年招致事業）の事業目的に則りA L T（外国語指導助手）として招致している。

ア 趣 旨

各中学校の英語担当教員及び生徒、また、各小学校教員及び児童に、A L Tによる生きた英語に接する機会を提供し、本市の英語教育の充実発展を図り、合わせて国際理解教育推進の一助とする。

イ 訪問期間

令和7年4月～令和8年3月

ウ 訪問（派遣）方法

訪問日は、月曜日から金曜日までとする。A L T 7名が中学校に常駐。各中学校から計画に従って担当小学校に派遣。

エ A L Tの職務

（ア）英語教師の授業補助（ティームティーチング）

（イ）英語担当の教員の研修（現職教育）

（ウ）教材作成の援助

（エ）その他、学校長に指示された職務

オ 成 果

「A L Tとのふれあいや授業を通して、発音やスピーチ能力が高まり、英語に関心を持つ児童生徒が増えた。」あるいは、「自分の英語力を試そうとする生徒が増え、コミュニケーション能力が育ってきている。」等の学校からの報告がある。このようなA L Tとのティームティーチングによる授業を通して生きた本場の英語を体験させ、学ぶ楽しさと国際理解を深めることができた。

(2) 第 35 回新居浜市中学生英語スピーチコンテスト

英語によるコミュニケーションや表現に興味を持たせ、国際化社会に対応できる生徒を育成することをねらいに、充実したスピーチコンテストを実施することができた。

(3) 小学校英語指導員による訪問指導

英語指導員 3 名が市内の全小学校訪問指導し、外国語活動や総合的な学習の時間などを活用して、小学生の英語活動や英会話学習、国際理解教育の指導に当たっている。

5 中学生による国際交流事業

(1) 趣旨

21 世紀を担う中学生が国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解して、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的視野の拡大を図り、国際感覚を磨き、さらには本市の活性化に通じる諸活動を推進するため、昭和 61 年度から中高生を中心に海外派遣研修事業を実施している。なお、新居浜市国際交流推進委員会の審議を経て、平成 19 年度から中学生海外派遣事業としてアメリカ合衆国フランクリン市へ中学生を派遣していたが、フランクリン市との本事業は平成 29 年度で終了となった。平成 30 年度から令和元年度までは、アメリカ合衆国ウィスコンシン州コンコードディア大学へ中学生を派遣している。

(2) 実施状況

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
61	中国 （泰安・済南・ 德州）	日中友好の翼 ニイハマ訪中団	7/23 ～ 7/31	市長、教育委員、 市議会議員、教師等 11 人 中高生 20 人
62	東南アジア （シンガポール・ バンコク）	東南アジア 友好のかけ橋 ‘87 団	7/23 ～ 7/29	団長（教育長） 教師等 6 人 中高生 25 人
63	韓国	‘88 日韓友好団	8/1 ～ 8/8	団長（教育長） 教師等 6 人 中高生 30 人
元	アメリカ （ロサンゼルス）	太平洋横断 夢の使節 ‘89 団	7/30 ～ 8/8	団長（助役） 教師等 6 人 中高生 30 人
2	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Hello. Australia 希望とふれあい ‘90	7/26 ～ 8/3	団長（教育委員長） 教師等 6 人 中高生 30 人
3	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Friendship with Australians 青春・発見・感動 ‘91	7/25 ～ 8/1	団長（教育委員長） 教師等 8 人 中高生 30 人
4	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Good day with Aussie ‘92	7/27 ～ 8/3	団長（収入役） 教師等 8 人 中高生 30 人
5	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	A good will mission to Australia ‘93	7/29 ～ 8/5	団長（教育委員長） 教師等 7 人 中高生 25 人
6	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Jump into the life of Australia ‘94	7/28 ～ 8/4	団長（教育委員長） 教師等 7 人 中高生 25 人
7	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Lets make wonderful friendship in Australia ‘95	7/26 ～ 8/3	団長（助役） 教師等 6 人 中高生 25 人
8	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Lets go to Australia to find the same smiles! ‘96 —同じ笑顔を探して—	7/29 ～ 8/6	団長（教育委員長） 教師等 7 人 中高生 25 人
9	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Making new friends in the land of the Southern Cross —南十字星の下で 友情を誓って—	7/28 ～ 8/5	団長（教育委員長） 教師等 5 人 中高生 25 人

10	オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Put our Hearts Together into One —深いきずなをこの一時で—	7/27 ~ 8/4	団長 (市長) 教師等 6 人 中高生 25 人
11	オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	In Australia, Lets Shine Together! 1999☆ —みんな輝いて—	7/26 ~ 8/3	団長 (教育委員長) 教師等 5 人 中高生 25 人
12	オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Spread your Wings. Lets Go To A New Age —翔け 未来へ—	7/26 ~ 8/3	団長 (教育委員長) 教師等 5 人 中高生 25 人
13	オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Building Bridges. Lets Make Borderless Countres. —国境をこえて…—	7/26 ~ 8/3	団長 (教育委員) 教師等 5 人 中高生 25 人
14	韓国 (ソウル)	韓国訪問団友好新風	8/21 ~ 8/25	団長 (教育長) 教師等 6 人 中高生 45 人
15	中 止			
16	韓国 (ソウル)	「日韓友好輝団 '04」 —輝く自分を見つけて—	8/9 ~ 8/13	団長 (教育委員長) 教師等 6 人 中高生 45 人
17	韓国 (ソウル)	「日韓栄光親善団 '05」 —全ての隔たりを越えて—	8/8 ~ 8/12	団長 (教育委員長) 教師等 6 人 中高生 45 人
18	韓国 (ソウル)	「日韓新世代交流団 '06」 —未来へ生かすこの時を—	8/1 ~ 8/6	団長 (中学校長会長) 教師等 6 人 中高生 41 人
19	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Dream Chaser 2007 —笑顔は世界の共通語—	10/31 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 20 人
20	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Lets Make Friends 2008 —国境を越えた仲間づくり—	10/28 ~ 11/7	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 20 人
21	中 止			
22	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Friendship Link 2010 —世界はひとつ 友情の輪—	10/30 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 19 人
23	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Imagine What We Can Do Together —みんな友達—	10/29 ~ 11/8	団長 教育長 教師等 2 人 中学生 19 人
24	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	The Bonds of Friendships Link the World —絆が世界を結ぶ—	10/27 ~ 11/6	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 21 人
25	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Friendships Without Borders —国境のない友情—	10/26 ~ 11/5	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 18 人
26	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Smile Link connect the world 2014 —世界を繋ぐ愛顔の輪—	10/25 ~ 11/4	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 20 人
27	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Blooming warm smiles around the world 2015 —世界中に咲き誇れ、笑顔の花—	10/24 ~ 11/3	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 20 人
28	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Love and Friendship Across the Ocean 2016 —愛と友情は海を越える—	10/29 ~ 11/8	団長 教育長 指導主幹 教師 中学生 20 人
29	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	The World Lit by Friendships and Smiles 2017 —友情と愛顔が世界を照らす—	10/28 ~ 11/7	団長・教育委員 指導主幹 教師 A L T 中学生 20 人

30	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (コンコーディア大学)	Concordia University Nice to Meet You! 2018 —はじめまして！コンコーディア 大学—	7/30 ～ 8/8	団長・教育委員 指導主幹 ALT 中学生 22 人
元	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (コンコーディア大学)	Concordia University is my starting point to change myself!2019 —コンコーディア大学は私を変え る出発点—	7/22 ～ 7/31	団長・教育長 指導主幹 教師 中学生 22 人
2	中 止			
3	中 止			
4	中 止			
5	中 止			

※令和 6 年度以降、より多くの生徒に学びの機会を提供できる English Summer School など国際交流事業として実施

6 放課後関連事業

(1) 放課後児童クラブ

就労又は疾病のため、昼間家庭において保護者の監護を受けられない小学 1 年生から 6 年生を対象として、生活や遊びの場を提供し健全な育成に資するため、放課後児童クラブを開設している。令和 7 年度は、市内 15 校 31 クラブで実施し、年間平均登録児童数は 1,305 人となっている。

(2) 放課後まなび塾

学校の放課後、希望する小学生 4～6 年生に教員 O B 等が学習支援員となり、宿題や予習など児童が自主的に行う学習をサポートするなどの学習機会を提供し、子どもの学習習慣の定着と学力向上を目指している。

令和 7 年度は 15 校区で実施され、子ども延べ参加者数は 35,118 人となっている。

(3) 放課後子ども教室

放課後や週末等において、公民館や学校の余裕教室等を活用して子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的に提供することにより、放課後等の支援活動を行うもの。地域の有識者等が講師となるプログラムや、企業・団体等が提供するプログラムなどそれぞれの教室で特色のある事業を実施している。

令和 7 年度は 14 教室で実施され、子ども延べ参加者数は 7,934 人となっている。

(4) 地域学校協働本部事業

地域全体で子どもたちを守り育てるため、学校と地域の連携体制の強化を図り、各種の活動を行う地域学校協働本部を設置している。主な活動内容は、登下校支援・校内環境美化・あいさつ運動・読み聞かせ・授業支援等である。

令和 7 年度は 15 校区で実施され、ボランティアなどの延べ活動人数は、40,167 人となっている。

7 奨学金等

(1) 新居浜市しらうめ入学準備金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

高等学校、大学、高等専門学校及び専修学校（一般課程を除く。）に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難であり、次の各号のいずれにも該当するもの

ア 本市に住所を有し、引き続き 2 年以上居住している者

イ 高等学校等への入学が確実である者の保護者

【基金の額】

5,350 万円

【貸付け金額】

高等学校、高等専門学校又は専修学校（高等課程） 10 万円

大学又は専修学校（専門課程） 50 万円

【返還方法】

入学後6月を経過した日の属する月から返還開始、高校等の場合は入学後3年以内、大学等の場合は入学後6年以内に無利子で月賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年 度	貸付者 (人)	貸 付 額	年 度	貸付者 (人)	貸 付 額
28	2	100,000	3	3	900,000
29	0	0	4	3	700,000
30	2	100,000	5	2	400,000
元	1	50,000	6	2	600,000
2	4	400,000	7	3	1,100,000

(2) 新居浜市奨学資金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学又は専修学校（専門課程）に在学し、その学資の支弁が困難であり、次の各号のいずれにも該当するもの

ア 学業が優秀で性行の善良な者

イ 身体が健康な者

ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の貸与を受けていない者

【基金の額】

1億3,400万円

【貸付け金額】

ア 高等学校……………卒業まで毎月8,000円

イ 高等専門学校……………1年から3年まで毎月10,000円

4年から5年まで及び専攻科毎月18,000円

ウ 大学（短期大学を含む。）又は専修学校（専門課程）…………卒業まで毎月45,000円

【返還方法】

卒業後満1年後から15年以内は無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

区分 年度	高 等 学 校		高 等 専 門 学 校		大 学		計	
	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額
28	3	288,000	1	216,000	8	2,496,000	12	3,000,000
29	2	192,000	1	216,000	9	2,808,000	12	3,216,000
30	2	192,000	0	0	4	1,014,000	6	1,206,000
元	0	0	0	0	4	1,248,000	4	1,248,000
2	0	0	0	0	7	1,950,000	7	1,950,000
3	0	0	1	120,000	4	1,248,000	5	1,368,000
4	0	0	1	120,000	3	936,000	4	1,056,000
5	0	0	1	120,000	4	1,248,000	5	1,368,000
6	0	0	1	216,000	4	1,248,000	5	1,464,000
7	0	0	0	0	2	624,000	2	624,000

(3) 新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学（修業年限4年以上）へ入学したもの（短期大学、高等専門学校又は専修学校から大学へ編入学したものを含む。）で、その学資の支弁が困難であり、次の各号のいずれにも該当するもの

ア 学業が優秀で性行の善良な者

イ 身体健康な者

ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

7,000 万円

【貸付け・給付金額】

4年間（編入学者については2年間）を限度として毎月 32,000 円（うち 16,000 円は貸付金、16,000 円は給付金とする。）

※平成5年度以前に決定した者については、毎月 20,000 円（うち 10,000 円は貸付金、10,000 円は給付金）

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	区分	大 学		備考
		貸付者 (人)	貸 付 額	
28		4	1,536,000	うち給付金 768,000
29		2	768,000	うち給付金 384,000
30		3	1,152,000	うち給付金 576,000
元		2	768,000	うち給付金 384,000
2		2	768,000	うち給付金 384,000
3		2	768,000	うち給付金 384,000
4		3	1,152,000	うち給付金 576,000
5		2	768,000	うち給付金 384,000
6		1	384,000	うち給付金 192,000
7		2	768,000	うち給付金 384,000

(4) 新居浜市特別奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、大学院（修士課程・博士課程）に在学するもの又は海外の大学に在学するもので、次の各号のいずれにも該当するもの

ア 学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者

イ 留学生は、高等学校卒業者で30歳未満の者

ウ 学資が乏しく修学困難な者

エ 身体健康な者

オ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【貸付け・給付金額】

修士課程及び留学生は2年間、それ以外は5年間を限度として毎月 30,000 円（うち 20,000 円は貸付金、10,000 円は給付金とする。）

【返還方法】

卒業後満1年後から10年間以内に無利子で半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	区分	大学院・留学生		備 考
		貸付者（人）	貸 付 額	
28		3	780,000	うち給付金 260,000
29		2	720,000	うち給付金 240,000
30		1	360,000	うち給付金 120,000
元		1	360,000	うち給付金 120,000
2		1	360,000	うち給付金 120,000
3		0	0	—
4		0	0	—
5		0	0	—
6		0	0	—
7		0	0	—

8 新居浜市寺尾音楽教育振興基金

【設 置】

故 寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業の経費に充てるため、平成元年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【学校音楽教育振興資金】

学校音楽教育振興資金は、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽振興会に補助する。

- ア 学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業
- イ 特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰
- ウ その他新居浜市教育委員会が承認する事業

【運用収益の処理】

基金の運用から生ずる収益は、予算に計上し、基金に編入するものとする。

教職員の研修に関する事業

音楽指導者講習会 令和7年7月12日（土）新居浜市市民文化センター大ホール
令和7年7月13日（日）新居浜市市民文化センター大ホール

9 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金

【設 置】

故 工藤圓治氏の寄付金により、交通災害遺児に対する修学援助を図ることを目的として、平成5年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【修学援助】

交通災害遺児（義務教育就学中の児童及び生徒）に対し、図書カードを支給

【支給状況】 (単位：人)

区分 年度	小 学 校 対 象 者	中 学 校 対 象 者	計
2	2	2	4 人 12,000 円
3	1	3	4 人 20,000 円
4	1	2	3 人 15,000 円
5	0	2	2 人 10,000 円
6	0	1	1 人 5,000 円
7	0	1	1 人 5,000 円

10 就学援助費

【趣 旨】

学校教育法第 19 条の規定に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助を行う。

【援助の対象】

新居浜市に住所を有し、小学校又は中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護法第 6 条第 2 項に規程する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している者

【就学援助の種類】

学校給食費、通学費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費、入学準備金等

【就学援助の状況】 (単位：円)

区分 年度	小 学 校		中 学 校		計	
	対象者	援 助 金	対象者	援 助 金	対象者	援 助 金
28	612	37,055,597	315	25,735,513	927	62,791,110
29	720	42,541,663	305	32,172,027	1,025	74,713,690
30	698	40,303,052	319	29,805,438	1,017	70,108,490
元	644	41,624,527	317	32,812,695	961	74,437,222
2	593	38,141,855	315	30,074,198	908	68,216,053
3	562	35,086,353	391	30,534,041	953	65,620,394
4	546	35,091,819	389	29,288,899	935	64,380,718
5	526	31,415,663	362	28,629,899	888	60,045,562
6	527	33,385,692	342	28,474,405	869	61,860,097
7	522	30,277,933	339	23,574,637	861	53,852,570

*平成 29 年度以降、新中 1・新小 1 に対して、入学準備金を前倒しで支給。

*令和元年度について、新型コロナウイルス感染症対策にかかる臨時休業対策支援事業費を含む。

11 特別支援教育就学奨励費

【趣 旨】

市町村が特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のため必要な援助をし、もって特別支援教育の振興に資することを目的としている。

【援助の対象】

市内の小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者

【就学奨励の種類】

学校給食費、通学費、職場実習交通費、交流及び共同学習交通費、修学旅行費、校外活動参加費（宿泊を伴わないもの）、校外活動参加費（宿泊を伴うもの）、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学奨励の状況】

(単位：円)

区分 年度	小 学 校		中 学 校		計	
	対象者	奨 励 費	対象者	奨 励 費	対象者	奨 励 費
28	89	2,395,170	23	769,297	112	3,164,467
29	112	3,096,859	27	1,095,280	139	4,192,139
30	98	2,981,008	38	1,504,144	136	4,485,152
元	114	3,711,705	54	2,457,707	168	6,169,412
2	130	4,279,813	63	2,568,644	193	6,848,457
3	166	5,140,988	63	2,475,975	229	7,616,963
4	184	5,449,552	60	2,399,045	244	7,848,597
5	195	5,791,433	74	2,946,759	269	8,738,192
6	208	6,264,862	77	3,411,704	285	9,676,566
7	203	6,840,009	93	4,519,436	296	11,359,445

＊令和元年度について、新型コロナウイルス感染症対策にかかる臨時休業対策支援事業費を含む。

12 学校保健

(1) 学校職員・児童生徒の健康診断の拡充

近年、飽食の時代になり成人に多く見られている病気が児童生徒にも多く発生している。そこで、検診機会の少ない児童生徒に対し、集団検診を実施することで早期発見・早期治療に努める。また、教職員においても各種検診を実施している。

(2) 学校保健委員会の推進

心身共に健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向け、学校・地域社会・家庭との連携を深め、自ら積極的に健康づくりに取り組むため、各校の学校保健委員会の充実と有効活用に努めている。

(3) 健康・安全教育の推進

児童生徒が健康でなければ楽しい学校生活は送れない。そこで疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、交通安全、学校内の災害発生防止に向け、健康・安全教育を推進している。

(4) 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の加入促進

日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へは、原則全員加入している。

【体位測定表】

(令和7年度)

			人数(人)	身長(cm)	体重(kg)
				平均	平均
幼稚園	4歳	男	4	103.0	16.7
		女	1	100.5	20.5
	5歳	男	3	111.1	21.1
		女	4	108.2	18.5
小学生	6歳	男	384	116.2	21.1
		女	400	115.6	21.2
	7歳	男	443	121.8	23.7
		女	423	121.2	23.3
	8歳	男	488	127.5	27.0
		女	419	126.9	26.1
	9歳	男	410	133.5	30.9
		女	466	134.0	30.7
	10歳	男	504	138.9	34.7
		女	461	139.9	34.5
	11歳	男	489	145.4	39.6
		女	461	146.8	39.8
中学生	12歳	男	469	152.9	45.4
		女	473	152.0	44.9
	13歳	男	502	160.3	49.6
		女	435	154.6	47.9
	14歳	男	518	165.2	55.0
		女	497	155.9	51.0

【歯科検診成績】

(令和7年度、単位：人)

区分	検査人員	むし歯		その他歯・口腔疾患異常者数
		処置完了者	未処置ある者	
幼稚園	9	1	1	0
小学校	5,242	1,119	1,321	1,136
中学校	2,764	745	285	408
計	8,015	1,865	1,607	1,544

【脊柱側弯症検診】

(令和7年度、単位：人)

区分	検査人員	一次検診異常者数
小学校	899	55
中学校	876	72
計	1,775	127

●検査対象者は小学校5年生、中学校1年生全員

モアレ写真撮影による(一次検診)

【血液検査結果】

(令和7年度、単位：人)

区分	検査人員	一次検診異常者数	二次検診異常者数
小学校	853	294	46
中学校	878	239	20
計	1,731	533	66

●検査対象者は小学校4年生、中学校1年生全員

(小学校5年生、中学校2年生で昨年異常だった者の再検査を含む。)

13 学校体育活動の推進

体育授業や体育活動、部活動等の充実により、児童生徒の体力向上や運動の日常化の推進のため、小・中学校体育連盟の活動とともに、各学校の体育主任、部活動顧問が連携し、児童生徒の運動能力、体力の向上に向け、学校体育活動の充実を図った。

【新居浜市小学校体育連盟】

体育活動を通しての児童の健全育成については、新居浜市水泳記録会・新居浜市陸上競技会・親善球技大会を中心として実施した。記録会においては、多くの児童が自己記録を更新するための継続した練習を行い、能力及び体力の向上に大きく貢献した。また、親善球技大会では、サッカーの技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや学級のチームワークを育成することにも大きく役立った。

【新居浜市中学校体育連盟】

中学校における保健体育の健全な発達を図ることを目的に、生徒・教職員の諸体育大会の開催、中学校保健体育振興に関する調査研究等を実施した。

活動実績

【新居浜市小学校体育連盟】

小学校教職員ソフトボール大会	5月10日	河川敷ソフトボール場
小学校体育実技講習会	6月2日	山根プール
	8月18日	東雲競技場
	11月21日	市営サッカー場
小学校水泳記録会	7月23日	中萩小学校・高津小学校
小学校教職員バレーボール大会	8月23日	山根体育館他
小学校陸上運動記録会	10月8日	東雲競技場
小学校親善球技大会	2月4日	新居浜小学校他

【中学校】

市長旗・杯争奪中学校選手権大会	4月19日、26日、27日	山根総合体育館他	1,620人
中学校総合体育大会	6月4日、5日、7日	市営野球場他	1,342人
愛媛県中学校総合体育大会	7月19日～26日	県総合運動公園他	444人
四国中学校総合体育大会	8月1日～8月4日、6、7日	四国4県各競技会場	113人
全国中学校体育大会	8月17日～25日	九州ブロック各競技会場	37人
中学校新人体育大会	9月24日、25日、27日	市営野球場他	
愛媛県中学校新人体育大会	10月25日、11月7日～11日	県内各競技会場	
中学校駅伝競争大会	11月3日	河川敷陸上競技場周辺	
愛媛中学駅伝競走大会	11月16日	河川敷陸上競技場周辺	
		男子9チーム、女子6チーム	
全国中学校駅伝大会	12月13日、14日	滋賀県希望が丘文化公園	
		出場なし	

14 人権・同和教育実践の状況

(1) 新居浜市小学校人権・同和教育研究大会

- 期 日 令和7年11月27日(木)
- 会 場 A群 新居浜小学校、宮西小学校
B群 船木小学校
C群 角野小学校、別子小学校

○ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○ 研究授業

群	会 場	分科会名	学年	教科等	主題名・教材名	授業者
A	宮西小学校	低	2 年	道徳科	助け合う友達 「森のともだち」	山本 理穂
	新居浜小学校	高	4 年	道徳科	正しいと思ったことを行う 「勇気を出して」	岡田 拓也
B	船木小学校	低	2 年	道徳科	みんなに公平に 「大すきなフルーツポンチ」	佐薙 美志
		中	4 年	道徳科	一人の問題をみんなの問題に 「秋祭り」	水田 愛理
		高	6 年	道徳科	身近にあるいじめ 「どうすればいいんだ」	小野 深雪
C	角野小学校 別子小学校	低	1 年	道徳科	親切な心で 「はしのうえのおおかみ」	都筑 麻耶
		中	3 年	道徳科	友達の気持ちを考えて 「ぼくのなみだ」	長谷部奈央
		高	5 年	道徳科	偏見や差別のない世の中へ 「たっちゃんじゃ！」	作 裕也

(2) 新居浜市中学校人権・同和教育研究大会

○ 期 日 令和 7 年 11 月 27 日 (木)

○ 会 場 A 群 川東中学校

B 群 東中学校

○ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○ 研究授業

群	会 場	学年	教科等	主題名・教材名	授業者
A	川東中学校	1 年	道徳科	差別や偏見のない社会の実現 「人間の尊厳を求めて ～渋染一揆から学ぶ～」	森 怜一
		2 年	道徳科	差別や偏見のない社会の実現 「三月三日の風～水平社誕生物語～」	山岡美沙子
		3 年	道徳科	差別や偏見のない社会の実現 「遺書が問いかけること」	八ッ橋和歌子
B	東中学校	1 年	道徳科	差別をなくす生き方 「渋染一揆」	小笠原新生
		2 年	道徳科	差別や偏見のない社会の実現 「三月三日の風～水平社誕生物語～」	前田 梨子
		3 年	道徳科	差別や偏見のない社会の実現 「峠」	黒田 雄一

学校施設課の主な施策と実績

令和 5 年 4 月に策定した「新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画」に基づき、浮島校区において説明会を実施するなど、学校再編に向けた取組みを行った。

また、市内小学校 16 校及び中学校 12 校の施設について、安全で快適な教育環境の確保のため、老朽化した危険箇所等の修繕及び維持管理を実施した。

1 小・中学校の適正規模・適正配置

(1) 学校再編に関する説明会の開催

令和 7 年 7 月 23 日 浮島小学校学校運営協議会・浮島公民館運営審議委員会
 令和 7 年 9 月 18 日 浮島小学校学校運営協議会・浮島公民館運営審議委員会
 令和 7 年 11 月 10 日 浮島小学校学校運営協議会・浮島公民館運営審議委員会
 令和 7 年 11 月 28 日 浮島小学校在校生保護者・就学前保護者（計 6 回）
 ～ 29 日
 令和 8 年 3 月 25 日 浮島小学校学校運営協議会・浮島公民館運営審議委員会

2 小中学校施設環境整備事業

令和 7 年度に実施した主な工事は次のとおり。

(1) 小学校施設環境整備事業

工事名	工事費	完成年月
中萩小学校北棟高架水槽改修工事	8,239,000 円	令和 7 年 10 月
宮西小学校南棟高架水槽改修工事	7,787,000 円	令和 7 年 10 月
新居浜小学校プール付属室屋上防水他改修工事	3,465,000 円	令和 8 年 1 月
神郷小学校公共下水道接続工事	5,720,000 円	令和 7 年 10 月
宮西小学校階段手摺設置工事	5,995,000 円	令和 8 年 3 月

(2) 中学校施設環境整備事業

工事名	工事費	完成年月
船木中学校体育館屋根改修工事	13,426,000 円	令和 7 年 10 月
別子中学校防火戸改修工事	20,255,000 円	令和 7 年 9 月
角野中学校渡り廊下改修工事	20,856,000 円	令和 7 年 12 月

共同調理場の主な施策と実績

1 学校給食の意義

- (1) 児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、又、これらを通して日常における正しい食習慣を身につける。
- (2) 事前の準備、後片づけを通して児童生徒は大きな生活体験をもち、共同生活の基本的態度を身につける。
- (3) 食事を共にすることにより、教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成を図る。

2 学校給食の運営等

令和6年8月をもって各小学校（別子を除く）の調理場を廃止し、9月から全小・中学校の給食をセンター方式に移行した。

各学校給食センターの施設・設備の修繕、改善、更新等を適宜に行うとともに、安全で新鮮な物資の納入に努めた。また、学校給食会理事会、栄養教員部研修会を開催し、円滑な学校給食の運営を図った。

3 学校給食の充実等

地元の食材を使った郷土料理などの実施やより身近に実感を持って地域の産業、文化等の理解を深めることのできる地元農産物等の利用に努めた。

中学校給食の選択率は、令和7年度95.3%と前年度に比べ0.6ポイント減少した。

4 給食の状況

(1) 実施状況

(令和7年度)

区 分	完 全 給 食		給 食 未 実 施		備 考
小 学 校	15 校	5,375 人	1 校	2 人	別子小学校未実施
中 学 校	10 校	2,928 人	2 校	27 人	ひびき分校未実施 別子中学校未実施
計	25 校	8,303 人	3 校	29 人	

(ひびき分校は児童自立支援施設につき別途実施)

(別子小学校、別子中学校は寮給食のため未実施)

(2) 一食当たり単価（完全給食）

(単位：円)

区 分	平成2年～	平成6年～	平成21年9月～	令和元年～	令和6年～	令和8年～
小 学 校	200	220	240	260	290	330
中 学 校	220	260	280	300	330	380

発達支援課の主な施策と実績

地域における発達支援及び特別支援教育の中核的機関として設置した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、専門職による保育所、幼稚園・認定こども園、小・中学校への巡回相談や発達相談、サポートファイル（個別の教育支援計画）の作成及び引継ぎなどにより、関係機関とのネットワークの強化を図りながら、こどもの発達支援のための諸事業を実施した。また、就学前の幼児に対しては、早期療育通園相談事業を実施し、こどもの発達課題や、発達段階に応じた支援方法を保護者と一緒に検討し、こどもの育ちを支援するとともに、就学の準備に取り組んだ。また、5歳児就学相談を実施し、就学に向けた支援方法を園の職員及び保護者と検討し就学支援を行った。さらに、保護者支援の充実に向けては、より良い親子関係を築くスキルを学び、参加者同士の交流の場として、親支援プログラムを実施した。そのほか、小・中学校教職員等を対象に、支援技術の普及を目的とした認知機能等強化（コグトレ）などの研修や講演会を開催し、実践力の向上を図った。

関係機関で構成する新居浜市地域発達支援協議会においては、発達に課題のあるこどもの学校における支援会議の在り方について協議し、関係機関と支援会議について共通理解を図った。

1 教育相談

発達に課題のあるこどもへの育児や発達、就学について、保護者が抱えている不安や疑問に関する相談支援を行った。また、必要に応じて、園や学校、医療機関と支援の調整を行うなど、関係機関との連携を図った。

	幼 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	計
実 施 人 数	227 人	288 人	107 人	39 人	661 人
延 べ 人 数	849 人	806 人	384 人	117 人	2,156 人
主 な 相 談 内 容	こども理解、障がい、発達障がい、入園、就学、登園しぶり、不登校、不適応 いじめ、進路、障がいの理解と支援、ソーシャルスキル、その他（担任不信等） サポートファイルに関する相談				

2 巡回相談

保育所、幼稚園・認定こども園、小学校、中学校に専門職が巡回し、発達に課題のあるこどもの早期発見、具体的な支援方策の検討や相談を行うことで、保育・教育関係者のスキルアップを図るとともに、保護者や関係機関との信頼関係の構築を図った。

実施人数（内訳）	主 な 相 談 内 容
保育所：157 人 ・ 0 歳児 1 人・ 1 歳児 4 人・ 2 歳児 16 人 ・ 3 歳児 56 人・ 4 歳児 64 人・ 5 歳児 16 人	・ ことばの発達 ・ 落ち着きがない ・ こだわりが強い ・ 集団活動の様子 ・ 就園の不安 ・ 子育てについて ・ 成長したこと ・ ネット依存について（YouTube 等） ・ 全体的な発達の遅れ ・ 指示が入りにくい ・ 気持ちのコントロール ・ 排泄や食事について ・ 就学について ・ 保育について
幼稚園・認定こども園：40 人 ・ 0 歳児 0 人・ 1 歳児 0 人・ 2 歳児 1 人 ・ 3 歳児 8 人・ 4 歳児 28 人・ 5 歳児 3 人	
小学校：258 人 ・ 1 年生 94 人・ 2 年生 57 人・ 3 年生 39 人 ・ 4 年生 21 人・ 5 年生 36 人・ 6 年生 11 人	・ 学習面の遅れ ・ 集団行動が苦手 ・ 喧嘩やトラブル ・ 指示理解ができにくい ・ 集中力が続かない（不注意）

中学校： 5 人 ・ 1 年生 3 人 ・ 2 年生 2 人 ・ 3 年生 0 人	・ 生活リズムの崩れ（ゲーム依存等） ・ 話がききにくい ・ 多動傾向 ・ 特性理解について ・ 支援方法について ・ 特別措置について ・ 中学 ・ 高校に向けての不安
合計 460 人	

3 5 歳児就学相談

(1) 5 歳児発音検査

小学校入学に向けて実施する就学時健康診断に先立ち、保育所・幼稚園を訪問し、発音検査を実施した。正しい発音ができている幼児に対しては、二次検査、構音指導を実施した。

○実施者数 786 人

（うち 二次検査実施者数 86 人）

（うち 構音指導実施者数 41 人）

(2) 5 歳児就学相談

保育所、幼稚園等を専門職が巡回し、就学に関する相談や就学に向けた支援方法を保護者、園の職員等と一緒に検討することで、発達に課題のあるこどもが適切な学びの場に就学できるよう支援を行った。

○実施者数 119 人

4 サポートファイル（個別の教育支援計画）の新規作成・見直し件数（各学校単独実施分含む）

発達に課題のある幼児・児童・生徒等に対して個別の教育支援計画を作成し、集団生活における一貫した支援を行っている。就学、進級、進学等ライフステージに合わせて見直し、関係機関等への引継ぎを行った。

	新規作成	見直し	計
幼 児	92 人	8 人	100 人
小学校	42 人	307 人	349 人
中学校	4 人	203 人	207 人
計	138 人	518 人	656 人

5 教育支援委員会

発達に課題のある児童・生徒等の個々の状況に応じ、適切な就学等の支援について必要な調査及び検討を行った。

(1) 教育支援委員会の開催

開催回数	判断件数総数	うち 5 歳児の判断件数（再掲）
5 回	276 件	117 件

(2) 特別支援教育支援員の配置

発達に課題のある児童・生徒等が在籍する小・中学校等に特別支援教育支援員を配置し、児童・生徒等や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童・生徒等の学習効果を高め、学校・園生活へのよりよい適応を図った。

種 別	目 的	人数	配置学校
学校生活介助員	公立幼稚園、市内の小・中学校に配置し、学校や園での生活の介助を行うことを目的とする。	幼稚園 (4人)	神郷・新居浜・宮西・金子・金栄・高津・浮島・惣開・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野
		小学校 (84人)	
		中学校 (29人)	東・西・南・北・泉川・船木・中萩・大生院・角野・川東
学校支援員	小学校の通常の学級に配置し、在籍する児童の特性に応じた学校生活や学習の支援を行うことを目的とする。	小学校 (16人)	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・浮島・惣開・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野

6 早期療育通園相談事業

発達に課題のある未就学児について、教室の中でアセスメントをすることで対人コミュニケーションや日常生活における基本的動作及び集団生活への支援の方向性を一緒に考え、発達を支援するとともに、保護者が抱えるこどもの発達への不安や悩みについての相談対応を行った。

(1) 事業の概要・実施状況（併用含む）

教室名	教室実施曜日	教室内容	登録者数	合計
ことばの教室	水・木・金	プレイセラピー、SST、 構音指導、就学前構音	85人	116人
育ちの教室 ひなたぼっこ	水・木・金	個別、小集団教室	31人	

(2) 個別相談会

教室を実施する中で、保護者と担当者がこどもの成長を振り返り、生活の中で安心してこどもができることを話し合い、よりよい支援の方向性を考えた。

○日 時 一人につき年2～3回

○参加者 延べ127人

(3) 保護者会

〈第1回〉

○日 時 令和7年6月16日（月）10時～11時30分

○場 所 新居浜市消防コミュニティ防災センター

○内 容 「就学のその後について」座談会

○講師 教育カウンセラー 西原 勝則

○参加者 小学1年生の保護者4人

〈第2回〉

○日 時 令和7年8月13日（水）10時～15時

○場 所 新居浜市総合福祉センター（ふれあいプラザ）多目的アリーナ及び研修室2

○内 容 「ムーブメント教育・療法」

○講師 愛媛大学教育学部附属特別支援学校 副校長 川本 孝

○参加者 94人（早期療育通園事業利用者とその保護者、保育士、幼稚園教諭、保健師、関係機関）

〈第3回〉

- 日 時 令和7年10月6日（月）10時～11時30分
○場 所 新居浜市消防コミュニティ防災センター
○内 容 「就学について」
○講 師 就学をしている保護者2人
○参 加 者 18人（就学相談をしている保護者、早期療育通園事業利用の保護者）

7 各種専門相談

（1）発達相談

必要に応じて発達検査を実施し、発達の特徴やバランス、得意・不得意な点を把握することで具体的な
かかわり方やこどもの状態に応じた支援のヒントを探り、今後の相談支援へつなげた。

発達検査の実施件数

幼 児	小学生	中学生	高校生	計
106 人	57 人	8 人	0 人	171 人

（2）聴覚相談事業

聴覚の障がいや聞こえ、言葉の獲得に課題のあるこどもたちが、家庭や地域の人たちと一緒に、より豊
かに自立した生活ができることを目指して相談を実施した。

- 日 時 月1回 9時30分～16時00分
○場 所 新居浜市こども発達支援センター
○内 容 聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育（手話等）に関するこ
保護者への支援及び通所機関への助言と支援
○相 談 員 愛媛県立松山聾学校 教諭 池田 芽生
○相談延人数 55人

（3）ペアレント・メンター相談会

発達に課題のあるこどもを育てたペアレント・メンターが子育てに悩む保護者に対して個別相談を実施
した。

- 日 時 ①令和7年6月17日（火） ②令和7年11月8日（土） ③令和8年1月18日（日）
○場 所 ①新居浜市こども発達支援センター2階
②新居浜市総合福祉センター
○相 談 員 ペアレント・メンターにいしま
○相談延人数 5人

8 各種研修会・講演会

研修会や講演会の開催を通して、発達に課題のあるこどもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援の
在り方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地
域社会の理解の向上を図った。

（1）ステップアップ講座（園内・校内研修支援事業）

園内・校内研修を通して、こどもの特性理解を深め、支援のあり方を検討および実践することによって、
保育・教育関係者の資質の向上を目指した。

- 日 時 ①令和7年6月25日（水） ②令和7年12月19日（金）
各10時00分～16時00分

- 場 所 ①大生院保育園 ②高津保育園
- 内 容 特別支援教育・学級運営について
 気になる子どもの特性理解と支援についての協議
- 相 談 員 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹
- 相談延人数 47人（保育士）

（２）ペアレント・プログラム

親がこどもの課題や問題を行動で考え、褒めて対応できるスキルを身につけることを目的とした保護者支援プログラムを実施することによって、保護者支援の充実を図った。

- 日 時 第1クール
 ①令和7年5月21日（水） ②令和7年6月4日（水） ③令和7年6月20日（金）
 ④令和7年7月2日（水） ⑤令和7年9月17日（水）
 第2クール
 ①令和7年10月1日（水） ②令和7年10月22日（水） ③令和7年11月5日（水）
 ④令和7年11月19日（水） ⑤令和7年12月17日（水）
 各9時30分～11時30分
- 場 所 新居浜市こども発達支援センター 2階カンファレンス室
- 内 容 ①「ペアレントプログラムについて、現状把握表を書く、行動で書く」
 ②「カテゴリーに分ける」
 ③「ギリギリセーフをみつける」
 ④「ギリギリサーフをきわめる」
 ⑤「ペアレントプログラムで見つけたことを確認する」
- 講 師 発達支援課職員
- 参 加 者 早期療育通園事業を利用している保護者のうち希望者
 第1クール 4人 第2クール 4人

（３）発達支援教育研修会

こどもとよりよい関係を築く時に大切な養育のスキルの視点を学ぶことができる「CARE」（Child-Adult Relationship Enhancement）の講座を実施した。こどもへの関わりに役立つ実践と理論により、様々な場面で生かすことができる内容で専門性と実践力の向上を図った。

- 日 時 ①令和7年11月22日（土） 14時～16時
 ②令和7年11月23日（日） 9時30分～15時
- 場 所 新居浜市文化振興会館 3階 第5研修室
- 内 容 ①「家庭で1日3分から始める！親子の絆を深めるCAREを学ぼう！」
 ②「明日から使える！大人とこどもの絆を深めるCAREを学ぼう！」
- 講 師 福岡国際医療福祉大学看護学部 講師 木村 一絵
- 参 加 者 ①7人（保護者）
 ②13人（市内保育園に勤務する保育士）

（４）発達支援スキルアップ講座

発達障がいのあるこどもの支援者が、的確な実態把握の方法や背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力の向上を図った。

<前期>

- 日 時 令和7年8月18日（月）10時～15時30分

- 場 所 新居浜工業高等専門学校 視聴覚教室
- 内 容 「子どもの権利から見る不登校問題」
- 講 師 愛媛大学教育学部特別支援教育講座 教授 吉松 靖文
- 参 加 者 84 人（小・中学校教職員、幼稚園保育園職員、関係機関職員）

<後期>

- 日 時 令和 8 年 1 月 6 日（火）10 時 00 分～15 時 30 分
- 場 所 新居浜市女性総合センター（ウイメンズプラザ）多目的ホール
- 内 容 午前 「 育ちのやり残しを穴埋めする 」
午後 「 感情の表現の受け止め方 ～ 子どもの絵を中心に ～ 」
- 講 師 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹
- 参 加 者 64 人（小・中学校教職員、幼稚園保育園職員、関係機関職員）

（5）心理アセスメント講座

いろいろな面から発達に課題のあるこどもを捉え、その支援を実践するためには、学校教職員の教育的対応の強化が必要となってくる。事例を基に、児童・生徒の現状や生育過程、発達検査のプロフィールからわかる認知特性をふまえ、課題や解決策を学ぶことで専門性と実践力の向上を図った。

○日時、研修内容及び参加者

	開催日時	研修内容	参加人数
第 1 回	7 月 25 日（金） 10 時～15 時	【講話】 演題「脳の働きに寄り添う支援」 【事例検討及び講義】 プロフィール分析及び総合的なアセスメントと事例検討	小・中学校教職員 70 人
第 2 回	12 月 26 日（金） 14 時～16 時	【事例検討及び講義】 プロフィール分析及び総合的なアセスメントと事例検討 （第 2 回特別支援教育コーディネーター研修会を兼ねる）	小・中学校教職員 71 人

- 場 所 新居浜市立女性総合センター（ウイメンズプラザ） 新居浜市民文化センター
- 講 師 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹

（6）新居浜市認知機能等強化（コグトレ）研修会

こどもたちの不適応を未然に防ぐことをねらいとし、コグトレ（Cog-Tr）を通して、楽しみながら「みる」「きく」「覚える」「想像する」等の学習の基盤となる認知機能の強化、身体的な不器用さ（身体面）や対人スキル（社会面）向上の方法を学ぶことで専門性と実践力の向上を図った。

- 日 時 第 1 回 令和 7 年 8 月 27 日（水）9 時 15 分～12 時
第 2 回 令和 7 年 8 月 27 日（水）13 時 15 分～16 時
第 3 回 令和 7 年 12 月 4 日（木）13 時 45 分～16 時
- 場 所 新居浜市立女性総合センター（ウイメンズプラザ）多目的ホール
- 委 託 先 四国コグトレ研究会
- 講 師 四国コグトレ研究会 代表 西山 肇、副代表 西山 まつ、広報担当 黒岩かな、理学療法士 西山 敦
- 参 加 者 152 人（小・中学校教職員）

（7）学校生活介助員等研修会

学校でこどもと関わる学校生活介助員や学校支援員が、こどもの捉え方や適切に対応するための知識や方法を学ぶことにより、支援者の育成を図った。

- 日 時 令和7年7月18日（金）14時～15時30分
- 場 所 新居浜市立女性総合センター（ウイメンズプラザ）多目的ホール
- 講 師 NPO法人えじそんくらぶ代表 高山 恵子
- 内 容 「気になる児童、生徒に対する効果的な支援について」
- 参 加 者 101人（学校生活介助員、学校支援員）



ペアレントサポートプログラム



特別支援教育講演会

（8）特別支援教育講演会

こどもをもつ保護者やその関係者が睡眠、食事、運動が発達の基礎となることを学び、具体的な対応や支援の在り方を学ぶ機会とし、発達障がいや特別支援教育への理解の向上を図った。

- 日 時 令和7年8月25日（月） 10時～12時
- 場 所 新居浜市市民文化センター 中ホール
- 内 容 「発達障がいもどきから抜け出す方法」
- 講 師 文教大学教育学部発達教育課程 特別支援教育専修 教授 成田 奈緒子
- 参 加 者 269人

9 私立幼稚園等特別支援教育事業費補助

障がい児を受け入れ特別支援教育を積極的かつ継続的に実施する私立幼稚園等に対して、特別支援教育事業に要する経費の一部を補助することで特別支援教育の振興と就園機会の促進を図った。

対象私立幼稚園数	4園
対象幼児数	17人

10 新居浜市地域発達支援協議会

地域発達支援協議会では、各機関の働きについて改めて理解を深めるとともに、互いに連携しながら、より良い支援を進めていくための在り方について検討した。

開催日	協議内容
6月26日	令和6年度実績及び令和7年度事業計画について 令和7年度新居浜市地域発達支援協議会のテーマについて
10月23日	支援会議の開催状況及び課題について 支援会議開催要領（案）について
2月12日	第2回協議結果と支援会議開催に係る共通理解について サポートファイルの様式変更について

人権教育課の主な施策と実績

1 人権教育啓発の推進

(1) 人権教育指導者・推進者の養成

ア 基礎研修

人権クロス・ミーティング(基礎編、採用2・3年目の職員) 12月19日(参加者60人)

イ 指導者養成研修

(ア) 人権・同和教育主担者養成研修(人権・同和教育主担者) 7月18日(参加者33人)

(イ) 人権・同和教育指導者養成研修(管理職員、人権・同和教育主担者) 1月22日(参加者86人)

(ウ) 人権クロス・ミーティング(指導者編、主査・副課長昇任者) 8月22日(参加者29人)

ウ 実践研修

(ア) 職場研修(年1回、全職員対象)

各職場において部落差別問題をはじめとする様々な人権問題に関しての情報や意見の交換を行った。

(イ) 派遣研修への参加

四国地区人権教育研究大会、愛媛県人権・同和教育研究大会、東予地区人権・同和教育研究協議会、「差別をなくする県民のつどい」等に参加。

(ウ) 地区別人権教育市民講座への参加

愛媛県人権教育協議会新居浜支部が市内18地区17会場で開催した「地区別人権教育市民講座」へ、284人の市職員が自主的に参加した。

(2) お茶の間人権教育懇談会の拡充・深化

開催実績 82回 762人

お茶の間人権教育懇談会の拡充を目的として、関係機関への啓発活動に取り組んだ。

平成28年度に施行された「部落差別解消推進法」をはじめとする人権に関する3つの法律の周知及び性的指向及び性自認を理由とする偏見や差別等の新たな人権課題等にも取り組んだ。

(3) 各種研修会・講座の実施

組織・企業内や関係機関において、人権・同和教育に関する各種の研修会や講座等を開催。

開催実績

公民館等社会教育関係〈9回 177人〉

組織・企業等〈講座・セミナー 39回 4,217人〉

各専門部会の開催(就学前、小・中学校、高等学校等、社会教育、組織・企業、行政)

(4) 人権のつどい日の開催(毎月11日)〈11回 346人〉

1965(昭和40)年8月11日に、部落差別の解消が国民的な課題であり、国の責務であることを明記した「同和対策審議会答申」が出されたことを記念して、「新居浜市人権尊重のまちづくり条例」第6条により毎月11日を人権について考え行動する日にしようと呼びかけ、人権意識を高めあう日として「人権のつどい日」としている。

日時	曜日	場所	講座内容
4月11日	金	瀬戸会館	新規DVD教材「あなたのいる庭」ほか紹介
5月11日	日	瀬戸会館	部落差別をなくすために、今私にできること
6月11日	水	瀬戸会館	「見ることば」手話の普及を目指して～ことばのバリアをなくすために～

7月11日	金	瀬戸会館	反骨の棋士 阪田三吉 ～その栄光と苦難の道～
8月11日	月・祝	瀬戸会館	ともに学ぶ ～美作騷擾から考える～
9月11日	木	瀬戸会館	・たからものがし～一人ひとりの光る個性を生かすために～ ・身近な人と差別問題について話し合う
10月11日	土	瀬戸会館	障害は、社会の側にある
11月11日	火	瀬戸会館	子どもの人権～不登校について～
1月11日	日	瀬戸会館	動画資料「遺書が問いかけること」～リニューアル short 版 初公開～
2月11日	水・祝	瀬戸会館	カードゲーム「from ME」で遊びながら、人権とウェルビーイングを考えよう！
3月11日	水	瀬戸会館	外国人と共に

(5) ふれ愛フェスタ～ハートFULL新居浜～の開催

市民文化センター大ホール

令和7年12月20日(土) 約300人

〈第1部〉人権作文(小・中・高等学校の部)

入選作品朗読

〈第2部〉講演 「あきらめない心」

講師 ちゃんへん、さん

(プロパフォーマー)

- ・人権に関するパネル展示
- ・人権擁護委員による啓発活動
- ・福祉施設等によるバザー(2施設)
- ・市内5高等学校生徒ボランティアによる司会、人権作文朗読、受付等



(6) 講師・指導者の派遣

関係機関・団体等が主催する各種学習会等の人権啓発指導員を派遣

(7) 地区別人権教育市民講座の開催

愛媛県人権教育協議会新居浜支部の主催により、市内各地区において地域住民を対象とした学びの場を提供。令和7年度は市内18地区17会場で開催

実施期間 令和7年7月17日～11月28日(参加者 809人)

2 関係団体支援

愛媛県人権教育協議会新居浜支部の活動支援

就学前、小学校、中学校、高等学校等、社会教育、組織・企業、行政の7つの専門部会を設置して、活動を支援。

3 啓発資料の充実と活用

(1) 指導資料の作成等

人権作文集（小・中・高等学校等）

新居浜市就学前教育における人権教育研究発表会資料

新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会資料

新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会実践資料集

新居浜市内県立学校人権・同和教育研究大会報告集

愛媛県人権教育協議会新居浜支部総会資料

(2) 教材・教具（DVD・図書等）の整備及び活用

「母のさがしもの」、「職場の力を育む人権シリーズ 聴く力」

「見上げれば」、「反対する理由 結婚差別を乗り越えて」を購入

※お茶の間人権教育懇談会、職場研修、人権のつどい日等で活用。

(3) 市民啓発資料の作成及び配布

ア 市政だより等での広報

イ 市政だより折込み「人権啓発特集号」による広報（8月・2月）

ウ 人権作文集

エ 「えひめ人権・同和教育」の配布（年間3回、6,300部）

（小・中学校、幼稚園・保育園、社会教育・社会福祉等の関係団体、自治会回覧板、市議会議員、市職員、組織・企業部会会員、市内公共施設等へ配布）

4 人権教育推進機関等との連携強化

(1) 各研究大会への援助及び協力

就学前教育（市民文化センター）

小学校（新居浜、宮西、船木、角野、別子）

中学校（川東、東）

県立学校（市民文化センター）

(2) 各種研修会・研究会・研究大会等への参加

四国地区人権教育研究大会（松山市 令和7年7月10・11日 19人）

東予地区人権・同和教育研究協議会（四国中央市 令和7年10月28日 24人）

愛媛県人権・同和教育研究大会（松山市 令和7年11月11日 25人）

全国人権・同和教育研究大会（兵庫県・大阪府 令和7年11月29日・30日 12人）

社会教育担当者等人権・同和教育研究協議会（松山市 令和7年6月4日 2人）

人権教育基礎講座（上島町 令和7年8月7日 1人）

人権教育実践交流研修会（砥部町 令和7年12月27日 1人）

愛媛県人権協会市町職員研修会（松山市 令和8年2月9日 1人）

社会教育における人権教育実践交流学習会（砥部町 令和8年2月19日 4人）

(3) 校区別人権・同和教育懇談会事業への援助及び協力

基礎研修 1,784人

学級・学年別研修 5,443人

(4) 講師・指導者の派遣

関係機関・団体等が主催する各種学習会等の人権啓発指導員を派遣

5 身元調査お断り運動

市民一人ひとりのかけがえのない命と人権が尊重され、誰もが安心して生き生きと暮らせる「人権尊重のまちづくり」をめざし、人権に関わる「身元調査」をなくしていく運動を進めている。

6 差別落書き根絶

差別落書きをなくすため、「しない、させない、許さない」をスローガンに据え、一人ひとりが今以上に部落差別をはじめとする様々な人権問題を自らの課題としてとらえ行動していけるよう、差別落書き発見時の対応手順の活用など、差別落書き根絶に向けた取り組みを進めた。

※令和7年度は、市内公共施設等における差別落書き等の事象は確認していない。

7 その他

(1) 愛媛F Cによるサッカー教室（愛媛県再委託事業）

令和7年12月4日（惣開小学校6年生 51人参加）

(2) 人権の花運動（愛媛県再委託事業）

令和7年12月4日 苗等の受渡し式（惣開小学校6年生 51人参加）

令和8年2月25日 花の贈呈式（惣開公民館ほか）

(3) 人権週間周知のための啓発活動（人権擁護委員と連携）

令和7年12月4日 市内スーパーにて啓発活動（イオン新居浜店、マルナカ新居浜本店）

令和7年12月8日～12日 市役所1階 人権週間パネル展

公用車へのステッカー貼付

(4) 市内県立学校人権委員会による合同現地研修会（フィールドワーク）

令和7年8月7日 四国中央市土居町（暁雨館ほか）（49人参加）

令和7年度のあゆみ (企画部)

スポーツ振興課の主な施策と実績

1 社会体育の推進

- 新居浜市における生涯スポーツの両輪ともいえる新居浜市スポーツ協会(競技スポーツ)と新居浜市連合体育振興会(社会体育)との連携と協力体制の確立に努め、市民体育の振興を図ってきた。社会体育の一大事業である「第56回市民体育祭」は、各団体と連携協力することによって、「競技スポーツの部」3,730人「ふれあいスポーツの部」135人の参加があった。
- 新居浜市のスポーツ指導者及び新居浜市が委嘱している新居浜市スポーツ推進委員並びに地区体育振興会に配置している新居浜市校区スポーツ普及員に対して、講習会等を実施し、地域スポーツ関係者の資質・指導力の向上と後継者の発掘に努め、社会体育指導者制度の確立と充実を図った。
- 「生涯スポーツ」の普及振興のため、「新居浜市スポーツ推進計画」に基づく、各種目競技大会支援及び地区における、スポーツ・レクリエーション行事の開催のための企画・プログラムの提供や、運営・指導の促進のための資料提供と広報活動に努めた。
- 第9回あかがねマラソンは、5kmの部への中学生の参加枠を復活させ、各部門で新居浜別子山線を走るコース設定で、大人から子どもまで様々な世代が新居浜市の魅力を存分に感じられる大会となるよう努めた。また、協賛企業3社による出展ブースや、参加賞等を市内の事業者で調達することにより新居浜市をアピールし、また地域経済の活性化にも寄与した。

(1) 主な大会・イベントの日程等

日程	事業名	場所	参加人数
4月6日(日)	市民歩け歩け大会	山根公園～ 滝の宮公園・広瀬公園	261人
9月12日(金)～1月18日(日)	市民体育祭	各会場	3,865人
5月15日(木)、6月11日(水)、 7月15日(火)、8月20日(水)、 9月29日(月) 延べ5回	体力づくり指導者講習会	市民体育館他	188人
8月22日(金)～8月24日(日)	大府市・新居浜市ジュニアバドミントン交流事業	メディアス体育館 おおぶ	23人
12月7日(日)	第9回あかがねマラソン	山根公園周辺	1,040人

(2) 総合型地域スポーツクラブ設立

総合型地域スポーツクラブとして、平成20年6月に金子地域文化スポーツクラブ、平成26年2月に楽SPO船木の2クラブを設立し、活動を行っている。

2 競技スポーツの振興

- 全国から優秀な指導者を招聘し、市内の中高生を対象にクリニックを実施し競技力の向上に努めるとともに、各指導者の資質向上を図った。また、高校運動部活動への支援など各種スポーツの競技力の向上を図った。
- 新居浜市(愛媛県・四国四県)の代表として、各種目競技の全国大会などへ出場する選手等の支援として、出場選手派遣費の一部補助を行い、全国的に「新居浜」の知名度向上に努めた。

(1) 運動部活動競技力向上事業

市内の小中学生にとって魅力ある高校スポーツ部活動とすることを目指し、全国トップクラスの指導者を招聘し、市内の中学生と合同で指導を行うことで中高の連携を深め、市内高校スポーツ部活動のレベルアップを図った。

- 令和7年度実施種目：バドミントン、野球、陸上、
バドミントン(中学生)、ハンドボール(中学生)

(2) 高校スポーツ強化指定校事業補助金

新居浜市内にある高等学校等の運動部の競技力向上を図り、全国大会出場を狙えるレベルへ引き上げることを目的とし、新居浜市といえば〇〇（競技名）という市のイメージアップを図るとともに、本市中学生にとって魅力ある高校運動部を目指し、各部活動が実施する強化事業に対し補助金を交付した。

●令和7年度強化指定部活動：新居浜東高等学校

（バドミントン部・ヨット部・陸上（短距離等）部・陸上（駅伝）部）

新居浜工業高等学校（ウエイトリフティング部・ハンドボール部）

新居浜南高等学校（ウエイトリフティング部）

新居浜西高等学校（バドミントン部）

3 施設環境の整備

(1) 体育施設の充実

既存の施設の機能充実を図るために、新居浜市営野球場スコアボード LED 化改修工事、新居浜市営野球場グラウンド整備工事を行った。さらに、東雲競技場外7施設において施設修繕及び器具修繕を行った。

また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団を指定管理者とし、体育施設の管理運営や体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、体育の振興に努めた。

(2) 野外活動施設整備と運営

新居浜市指定のハイキングコース及び登山道について、安全に登山できるよう維持管理を行った。

(3) 体育施設建設基金

令和8年3月31日現在の体育施設建設基金積立金額 670,558,183円

4 体育施設一覧

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	電話	管理者
市民体育館	東雲町一丁目 1番25号	昭和 52. 8	鉄筋コンクリート造 3階建	4,863	6,210	34-1888	文化体育 振興事業団
山根総合 体育館	角野新田町 三丁目14番1号	昭和 62. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	5,358	3,252	43-2905	〃
多喜浜 体育館	多喜浜四丁目 3番7号	昭和 59. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	3,255	1,179	46-2466	〃
東雲 市民プール	東雲町一丁目 1番13号	昭和 47. 6	鉄筋コンクリート造	10,744	501 水面積 2,872	32-3595	〃
山根公園 屋内プール	角野新田町 三丁目14番2号	昭和 63. 9	鉄筋コンクリート造2 階建プール棟は鉄骨造	7,400	1,527 水面積 395.5	43-1411	〃
別子山 市民プール	別子山 甲333番地の1	昭和 57. 3	樹脂一部コンクリート造	1,430	44.53 水面積 200		新居浜市
市営 野球場	新須賀町 三丁目2番54号	昭和 60. 7	鉄筋コンクリート造 3階建 観覧席 本部スタンド2,090 内野スタンド3,400 外野スタンド3,010席	15,269	4,448	34-0518	文化体育 振興事業団
武徳殿	徳常町4番6号	昭和 14. 6	木造瓦葺平家建	2,362	568		〃
弓道場	徳常町4番15号	平成 5. 3	木造平家建	546	103		〃
重量挙 練習場	東雲町一丁目 1番25号	令和 元. 5	鉄筋コンクリート造	—	425 (市民体育館建物面積内)		〃
文化振興 会館	徳常町4番8号	平成 5. 3	鉄筋コンクリート造 3階建	609	993	36-0800	〃
山根市民 グラウンド	角野新田町三丁目 2822番地の9			13,403			〃
別子山市民 グラウンド	別子山 乙304番地の8	昭和 57. 3		1,470			新居浜市
市民 テニスコート	庄内町二丁目地先 及び南小松原町地先	昭和 59.10	クレーコート6面	6,600	80 コート 4,314	36-2071	文化体育 振興事業団
		昭和 57. 3	全天候型ウレタンコー ト公式4面	4,000	コート 2,885	〃	〃
		平成 24.10	クレーコート 軟・硬両用3面	2,405	コート 1,855	〃	〃
		平成 24.10	全天候型人工芝6面	6,600	4,314	〃	〃
山根公園 テニスコート	角野新田町 三丁目12番	平成 4. 3	全天候型人工芝6面 練習コート3面(壁打)	5,117	317 コート 5,117	43-2151	〃
東雲 競技場	東雲町三丁目地先	平成 5. 3	全天候型300mトラック 及び投てき場	13,000	70		〃
市営 サッカー場	観音原町 乙109番地	平成 11. 7	天然芝グラウンド2面 管理棟(鉄骨造平家建) 観覧席 東側500 西側500席	22,220	168	66-2522	〃

5 体育施設年度別利用状況

(単位：人)

施設名 \ 年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市民体育館	99,046	107,224	121,135
山根総合体育館	52,917	48,776	48,018
多喜浜体育館	17,501	17,956	16,795
東雲市民プール	32,910	37,205	39,438
山根公園屋内プール	14,945	5,049	20,290
別子山市民プール	220	222	273
市営野球場	20,543	21,422	21,388
武徳殿	15,294	12,370	11,733
弓道場	1,400	289	9,989
重量挙げ練習場	5,333	4,102	4,659
文化振興会館	8,978	8,511	9,400
山根市民グラウンド	27,994	27,814	32,951
別子山市民グラウンド	0	25	0
市民テニスコート	34,907	31,496	32,505
山根公園テニスコート	32,250	32,868	36,509
東雲競技場	12,105	11,178	18,139
市営サッカー場	37,289	35,198	33,011
合 計	413,632	401,705	456,233

第9回あかがねマラソン



大府市・新居浜市ジュニアバドミントン交流大会



市民体育祭（ふれあいスポーツの部）



トップアスリート事業（ハンドボール部）



文化振興課の主な施策と実績

1 芸術文化活動

地域の芸術文化の水準向上と、すそ野の拡大を課題とし、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため新居浜文化協会を中心にして春の市民文化祭、秋の芸術祭、市美術展を開催するなど、地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。

また、市内の小中学生に学校施設において優れた芸術に触れる機会を提供する「芸術文化プログラム」を実施し、公益社団法人 瀬戸フィルハーモニー交響楽団や、愛媛県警音楽隊、篠笛演奏者の阿部一成さん等を講師に招いた。

2 文化財・郷土資料の保存活用

郷土に残された優れた文化財に対する正しい理解と認識を深め、その保存・保護・未来へ継承していくために、市と住友企業による「ツガザクラ自然保護協議会」を開催し、ツガザクラの保護活動を行った。

また、郷土芸能保存連絡協議会加盟団体による、各地域での伝承活動、市指定史跡「久貢屋敷」の保全事業補助、ふるさとラボに保存している民具の小・中学校への貸出事業等、様々な事業を実施した。

3 文化施設の充実

文化施設の充実を図るために、市民文化センター中ホールボーダーケーブル（1S・2S・天井反射板分）交換修繕工事及び市民文化センター中ホール 1kw スポットライト（1S・CL 分）部品交換修繕工事を行った。また、（公財）新居浜市文化体育振興事業団を指定管理者とし、文化施設の管理運営や文化に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、文化の振興に努めた。

4 文化振興基金

令和 8 年 3 月 31 日現在の文化振興基金積立金額 782,978,612 円

5 （公財）新居浜市文化体育振興事業団

新居浜市の文化及び体育施設の管理運営を受託するとともに、文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進及び効率的な管理運営を図り、もって文化及び体育の振興に寄与することを目的に、昭和 61 年 8 月 1 日に設立され、平成 18 年 4 月からは各施設の指定管理者となっている。平成 26 年 1 月 6 日、公益財団法人に認可された。

○ 所在地 繁本町 8 番 65 号

○ TEL 33-2180

○ 組織 理事 9 人、監事 2 人、評議員 9 人

○ 事業内容 (1) 文化体育施設の指定管理

市民文化センター、市民体育館、山根総合体育館、多喜浜体育館、市営野球場、山根市民グラウンド、市民テニスコート、山根公園テニスコート、東雲市民プール、山根公園屋内プール、武徳殿、弓道場、重量挙げ練習場、東雲競技場、市営サッカー場、文化振興会館、山根公園、新居浜公園、女性総合センター

(2) 文化事業の企画及び実施に関する事

親子陶芸教室、親子星座教室、演劇鑑賞教室、美術実技講習会、親子ものづくり教室、グランドピアノ開放デー自由に弾いてみませんか、親子茶道体験教室、角笛シルエット劇場、市民茶会、親子科学実験教室、宝くじ文化公演事業

(3) 体育事業の企画及び実施に関する事

スポーツ大会（2 種目）、スポーツ講習会（5 種目）、ボディメイキング教室、ダンス入門、ふらっとレッスン等 24 教室

(4) 女性センター事業の企画及び実施に関する事

- 1) 再就職支援事業 3 講座
- 2) 社会参加促進事業 2 講座
- 3) 生活・教養事業 5 講座
- 4) 子育て支援事業 2 講座
- 5) 健康増進事業 8 講座

6 文化施設

名 称	市 民 文 化 セ ン タ ー	管理者	文化体育振興事業団
所 在 地	繁本町 8 番 65 号 ☎33-2180		
敷 地 面 積	18,285 m ²		
構 造	鉄筋コンクリート造地下 1 階地上 3 階	鉄筋コンクリート造地下 1 階地上 4 階	
建 物 面 積	3,713 m ²	2,166 m ²	
延 床 面 積	5,219 m ²	4,620 m ²	
ホ ー ル	大ホール（1,163 席）	中ホール（固定 486 席 車いす席 3）	
会 議 室		洋室 10、和室 2	
教 室		料理・茶華各 1、視聴覚 1	
プラネタリウム		プラネタリウム室（72 席）	
展 示		展示室 1	
そ の 他	高齢者社交室	相談室、保育室	
駐 車 場	駐車可能台数 170 台		
工 事 費	3 億 5,000 万円	5 億 4,400 万円	
完 成	昭和 37 年 11 月 3 日	昭和 49 年 8 月 9 日	

名 称	別 子 山 ふ る さ と 館	管理者	新居浜市
所 在 地	別子山甲345番地の1 ☎64-2305	完成年月日	H2. 7. 31
施 設 内 容 等	資料館 1階 86.64m ² 2階 146.87m ² 管理棟 2階 127.17m ² 展示 銅山歴史、遺跡案内、登山案内等パネル 岩石標本 銅山、物産関係		

7 文化施設年度別利用状況

(単位：人)

施設名 年度 項目		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		回 数(回)	利用者数	回 数(回)	利用者数	回 数(回)	利用者数
市民文化センター	大ホール	200	28,729	157	25,866	148	26,462
	中ホール	234	14,260	237	16,735	185	13,588
	別館 会議室等	2,294	29,575	2,313	30,512	1,388	25,647
小 計		2,728	72,564	2,707	73,113	1,721	65,697
ふ る さ と 館			1,538		1,508		1,542
合 計		2,728	74,102	2,707	74,621	1,721	67,239

8 令和7年度 月別利用状況（市民文化センター・ふるさと館）

施設名 月	大ホール	大・ロビー	中ホール	大会議室	中会議室	小会議室	和 室
4	1,872	6	734	1,244	1,135	199	48
	(15)	(1)	(12)	(12)	(58)	(25)	(1)
5	931	0	602	851	730	161	0
	(9)	(0)	(10)	(16)	(54)	(25)	(0)
6	1,530	0	1,456	1,026	882	109	0
	(3)	(0)	(17)	(13)	(61)	(22)	(0)
7	3,253	0	1,242	681	985	162	6
	(20)	(0)	(16)	(14)	(68)	(33)	(2)
8	2,177	0	1,971	748	653	124	0
	(24)	(0)	(20)	(12)	(46)	(22)	(0)
9	1,491	0	1,469	824	1,172	126	8
	(10)	(0)	(16)	(12)	(74)	(26)	(2)
10	362	4	751	448	1,107	107	0
	(7)	(1)	(12)	(10)	(67)	(20)	(0)
11	7,192	0	875	371	811	107	0
	(23)	(0)	(18)	(11)	(59)	(23)	(0)
12	3,747	0	1,530	527	926	96	0
	(15)	(0)	(17)	(9)	(46)	(23)	(0)
1	1,757	0	549	544	754	185	0
	(13)	(0)	(11)	(9)	(46)	(33)	(0)
2	300	0	1,390	375	624	184	0
	(2)	(0)	(17)	(7)	(51)	(31)	(0)
3	1,850	0	1,019	785	768	159	0
	(7)	(0)	(19)	(10)	(56)	(28)	(0)
累計	26,462	10	13,588	8,424	10,547	1,719	62
	(148)	(2)	(185)	(135)	(686)	(311)	(5)

上段：人数

下段：回数

視聴覚教室	料理教室	茶華教室	展示室	プラネタリウム	ふるさと館	月 計	累 計
303	45	68	15	0	143	5,812	5,812
(8)	(1)	(2)	(1)	(0)		(136)	(136)
177	0	0	7	0	151	3,610	9,422
(5)	(0)	(0)	(1)	(0)		(120)	(256)
520	14	7	0	175	145	5,864	15,286
(12)	(1)	(1)	(0)	(20)		(150)	(406)
338	0	7	0	311	132	7,117	22,403
(7)	(0)	(1)	(0)	(47)		(208)	(614)
316	0	7	78	429	153	6,656	29,059
(8)	(0)	(1)	(2)	(67)		(202)	(816)
225	0	7	5	0	127	5,454	34,513
(4)	(0)	(1)	(1)	(0)		(146)	(962)
216	25	7	0	0	151	3,178	37,691
(6)	(1)	(1)	(0)	(0)		(125)	(1,087)
375	40	97	0	0	147	10,015	47,706
(10)	(1)	(4)	(0)	(0)		(149)	(1,236)
142	3	0	11	0	104	7,086	54,792
(5)	(1)	(0)	(1)	(0)		(117)	(1,353)
215	0	8	40	0	78	4,130	58,992
(4)	(0)	(1)	(2)	(0)		(119)	(1,472)
364	0	7	5	0	85	3,334	62,256
(9)	(0)	(1)	(1)	(0)		(119)	(1,591)
259	0	7	10	0	126	4,983	67,239
(7)	(0)	(1)	(2)	(0)		(130)	(1,721)
3,450	127	222	171	915	1,542	67,239	67,239
(85)	(5)	(14)	(11)	(134)		(1,721)	(1,721)

9 国指定文化財、県指定文化財、市指定文化財、登録有形文化財

国 指 定 文 化 財 (4)

(R 8. 4. 1 現在)

種 類	名 称	所 在 地	指定年月日
建 造 物	旧広瀬家住宅	上原二丁目 10 番 52 号	平成15年 5 月30日
名 勝	旧広瀬氏庭園	上原二丁目 10 番 52 号	平成30年 2 月13日
天然記念物	一宮神社のクスノキ群	一宮町一丁目 3 番 1 号 一宮神社	昭和26年 6 月 9 日
天然記念物	銅山峰のツガザクラ群落	立川町、別子山	平成31年 2 月26日

県 指 定 文 化 財 (11)

(R 8. 4. 1 現在)

種 類	名 称	所 在 地	指定年月日
建 造 物	経堂「大転輪蔵」	山根町 8 番 1 号 瑞応寺	昭和45年 3 月27日
彫 刻	木造薬師如来坐像	高木町 3 番 21 号 河内寺	昭和54年 9 月14日
工 芸	太刀無銘	(個人蔵)	昭和39年 3 月27日
工 芸	銅銭承和昌宝	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 4 月 2 日
工 芸	金銅密教法具	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 4 月 2 日
考 古 資 料	金子山古墳出土品	西の土居町二丁目 16 番 47 号慈眼寺	昭和63年 4 月19日
史 跡	別子銅山口屋跡	西町 6 番 2 号	昭和24年 9 月17日
名 勝	別子ライン	立川山、大永山	昭和30年11月 4 日
天然記念物	瑞応寺のイチョウ	山根町 8 番 1 号 瑞応寺	昭和31年11月 3 日
天然記念物	赤石山の高山植物	赤石山系 (新居浜市、四国中央市)	昭和32年12月14日
天然記念物	久貢山のソテツ	多喜浜六丁目 4 番 55 号	昭和32年12月14日

市 指 定 文 化 財 （ 7 6 ）

(R 8 . 4 . 1 現 在)

種 類	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
建 造 物	大元神社本殿	大島字宮山 大島八幡神社	昭和52年4月7日
建 造 物	宝篋印塔	郷四丁目 22 番	昭和52年4月7日
建 造 物	狛犬	東田三丁目 1229 番地 東台神社	昭和52年4月7日
建 造 物	立川銅山師奉納常夜灯	一宮町一丁目 3 番 1 号 一宮神社	令和 2 年 9 月 11 日
絵 画	金胎両界曼荼羅	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年6月3日
絵 画	弘法大師御影像	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年6月3日
絵 画	絵馬「渡辺綱鬼女退治図」	新須賀町三丁目 4 番 5 号 堀江神社	昭和60年10月3日
彫 刻	釈尊誕生仏	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年6月3日
彫 刻	十二神将像	高木町 3 番 21 号 河内寺	昭和52年4月7日
彫 刻	木造聖観世音菩薩立像	萩生 2635 番地 萩生寺	昭和52年4月7日
彫 刻	随神	八雲町 10 番 16 号 宗像神社	昭和52年4月7日
彫 刻	牛王宝印	八雲町 10 番 16 号 宗像神社	昭和52年4月7日
彫 刻	蛙股	八雲町 10 番 16 号 宗像神社	昭和52年4月7日
彫 刻	仏海上人作仏像	大島 143 番地 吉祥寺	昭和53年4月6日
彫 刻	木造阿弥陀如来立像	別子山乙 551 番地 5 圓通寺	平成15年11月4日
彫 刻	木造大日如来坐像	別子山乙 551 番地 5 圓通寺	平成15年11月4日
彫 刻	木造聖観音菩薩坐像	別子山乙 551 番地 5 圓通寺	平成15年11月4日
工 芸	太刀銘伝三条小鍛冶宗近作	一宮町一丁目 3 番 1 号 一宮神社	昭和40年6月3日
工 芸	仏舎利塔と舎利器	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年6月3日
工 芸	鉄鉢と二十五条麻袈裟	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年6月3日
工 芸	獅子王御太刀	八幡二丁目 4 番 69 号 八幡神社	昭和52年4月7日
工 芸	孔雀文金銅磬	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和52年4月7日
古 文 書	秘法三十二箇巻	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年6月3日
古 文 書	白石家文書	北新町 10 番 1 号 別子銅山記念図書館	平成16年8月5日
古 文 書	野田家文書	北新町 10 番 1 号 別子銅山記念図書館	平成16年8月5日
考 古 資 料	銭がめと古銭	中村三丁目 7 番 12 号	昭和52年4月7日
考 古 資 料	古宮経塚出土「経筒」	繁本町 8 番 65 号 市民文化センター	昭和60年10月3日
考 古 資 料	正光寺山古墳群出土遺物	繁本町 8 番 65 号 市民文化センター	平成25年3月13日
歴 史 資 料	西条藩領地鳥瞰図屏風	坂井町二丁目 8 番 1 号 総合文化施設	昭和60年10月3日
歴 史 資 料	瓜生野御堂棟札	別子山瓜生野	平成15年11月4日
歴 史 資 料	圓通寺棟札	別子山乙 551 番地 7 圓通寺	平成15年11月4日
歴 史 資 料	石造地藏菩薩立像	別子山乙 551 番地 7 圓通寺	平成15年11月4日
歴 史 資 料	銅山略式志	上原二丁目 10 番 42 号 広瀬歴史記念館	令和 3 年 4 月 2 日
無形民俗文化財	とうどおくり	大島	昭和53年4月6日
無形民俗文化財	じょうさ節	垣生	昭和53年4月6日
無形民俗文化財	かぶと踊り	船木	平成16年8月5日
史 跡	五輪塔群	西の土居町二丁目	昭和40年6月3日
史 跡	大師泉縄文遺跡	萩生 801 番地	昭和52年4月7日
史 跡	唐津塚	上原二丁目	昭和52年4月7日
史 跡	小山古墳	垣生小山	昭和52年4月7日
史 跡	桧端住居跡	船木 4638 番地の 2	昭和52年4月7日
史 跡	河内寺の塔礎石	高木町 3 番 21 号 河内寺	昭和52年4月7日
史 跡	深尾権太輔の墓	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和52年4月7日
史 跡	星原市	星原町 4 番	昭和52年4月7日
史 跡	久貢屋敷と天野喜四郎の墓	多喜浜六丁目 4 番 55 号	昭和53年4月6日
史 跡	つづら淵	若水町二丁目 5 番	昭和53年4月6日
史 跡	金子城跡	金子山	昭和53年4月6日

種 類	名 称	所 在 地	指定年月日
史 跡	横山古墳群	中萩町 13 番	昭和53年 4 月 6 日
史 跡	金子山古墳	金子 15 番地	昭和58年 1 月 6 日
史 跡	三義民の碑	宇高町二丁目 6 番 観音堂	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	村上平兵衛の墓	又野二丁目 5 番 阿弥陀堂	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	高橋弥市左衛門の墓	宇高町二丁目 6 番 観音堂	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	高橋孫兵衛の墓	宇高町二丁目 1 番 52 号 地藏堂	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	高橋孫兵衛屋敷跡地	宇高町二丁目	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	金子備後守供養塔を中心とする墓	西の土居町二丁目 16 番 47 号慈眼寺	昭和60年12月 5 日
史 跡	岡崎城跡	上郷郷山	昭和53年 4 月 6 日
史 跡	広瀬家墓所	山田町 217 番地の 1	平成16年 8 月 5 日
史 跡	正光寺山古墳群	坂井町二丁目 1419 番	平成25年 3 月13日
名 勝	銚子の滝	大生院大野山	昭和53年 4 月 6 日
名 勝	樽の滝（窓の滝）	種子川山	昭和53年 4 月 6 日
天然記念物	バクチノキの群生	大島宇宮山 大島八幡神社	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	ミョウショウジザクラ	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	法泉寺のムクノキ	垣生四丁目 9 番 12 号 法泉寺	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	大師泉のオオバタネツケバナ	萩生 801 番地	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	ヤクシマツバキ	大生院大野山谷	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	漣痕	荷内町 2 番 5 号	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	アッケシソウ	阿島二丁目 14 番 1 号	昭和59年 7 月 5 日
天然記念物	中央構造線小河谷断層	萩生 1833～2960 番地の 1	昭和60年 1 月10日
天然記念物	宗像神社の参道と社叢	八雲町 10 番 13 号 宗像神社	昭和60年11月 5 日
天然記念物	黒嶋神社のツバキ群生林	黒島 779 番地の 1 黒島神社	昭和60年12月 5 日
天然記念物	三島神社の社叢	船木甲 5371 番地 三島神社	昭和60年12月 5 日
天然記念物	龍河神社の社叢	立川町 496、497 番地ほか	昭和63年 5 月12日
天然記念物	保土野溪谷甌穴群	別子山保土野乙 475 番地 8 地先ほか	平成15年11月 4 日
天然記念物	オオモミジ	別子山乙 551 番地 13	平成15年11月 4 日
天然記念物	山城八幡神社社叢	別子山甲 130 番地	平成15年11月 4 日
天然記念物	エドヒガンザクラ	別子山乙 83 番 1	平成25年 3 月13日

登 録 有 形 文 化 財 （ 2 0 ）

（ R 8 . 4 . 1 現在 ）

種 類	名 称	所 在 地	登録年月日
建 築 物	住友化学工業愛媛工場歴史資料館	惣開町 5 番 1 号	平成13年 4 月24日
建 築 物	武徳殿	徳常町 4 番 6 号	平成16年 3 月 2 日
土木構造物	遠登志橋	立川町 620 番 1 地先	平成17年12月26日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋（足谷川鉄橋）	立川町	平成21年 8 月 7 日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場隧道	立川町	平成21年 8 月 7 日
建 築 物	旧泉寿亭特別室棟	立川町 707 番 3	平成21年 8 月 7 日
工 作 物	山根競技場観覧席	角野新田町三丁目 2822 番 9	平成21年 8 月 7 日
工 作 物	旧山根製錬所煙突	角野新田町三丁目 2822 番 1	平成21年 8 月 7 日
建 築 物	旧端出場水力発電所	立川町 594 番	平成23年 1 月26日
建 築 物	旧住友鉱業株式会社別子鉱業所長社宅主屋	星越町乙 1903 番地 1	令和 2 年 8 月17日
建 築 物	旧住友鉱業株式会社別子鉱業所長社宅応接棟	星越町乙 1903 番地 1	令和 2 年 8 月17日
建 築 物	旧住友鉱業株式会社別子鉱業所長社宅茶室	星越町乙 1903 番地 1	令和 2 年 8 月17日
建 築 物	旧住友別子鉱山株式会社外国人技師東社宅	星越町乙 1900 番地	令和 2 年 8 月17日
建 築 物	旧住友別子鉱山株式会社外国人技師西社宅	星越町乙 1900 番地	令和 2 年 8 月17日
建 築 物	旧住友化学工業株式会社幹部社宅	星越町乙 1896 番地 1	令和 2 年 8 月17日
建 築 物	旧住友共同電力株式会社幹部社宅	星越町乙 1900 番地	令和 2 年 8 月17日
建 築 物	旧住友共同電力株式会社監査役社宅	星越町乙 1857 番地 1	令和 2 年 8 月17日
建 築 物	村上家住宅主屋	大島甲 137	令和 6 年 8 月15日
建 築 物	村上家住宅表門及び南塀	大島甲 137	令和 6 年 8 月15日
建 築 物	村上家住宅御成門及び東塀	大島甲 137	令和 6 年 8 月15日

総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績

総合文化施設は、新居浜の歴史、文化及び芸術を通して、市民が集い、出会い、交流する場を提供することで、文化の継承、発展、創造と次世代のひとづくりを目指し、平成 27 年 7 月 18 日にオープンした。

施設の管理運営は、開館当初より指定管理者制度を導入しており、現在、あかがねミュージアム運営グループが行っている。

1 施設状況

所在地	開設 年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	電話	館長氏名
坂井町二丁目 8 番 1 号	平成 27. 7. 18	鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 3 階	11, 571. 86	8, 894. 14	31－0305 65－3580	名誉館長 青柳正規 美術館長 松原龍一

2 施設の概要

建物構造	B 1 F	ホール（248 席、ロールバック式）楽屋、スタジオ 1、地下駐車場
	G L	ロビー、カフェ
	1 F	メインエントランス、太鼓台ミュージアム、総合案内、にいはまギャラリー
		創作スペース、アート工房、会議室、工作室、シアター、スタジオ 2
	2 F	美術館（展示室 1、展示室 2、市民ギャラリー）
	3 F	機械室
開館時間	9：30～17：00	太鼓台ミュージアム、シアター、にいはまギャラリー、美術館
	9：30～21：00	アート工房、創作スペース、会議室、工作室、スタジオ 2
	9：30～22：00	ホール、楽屋、スタジオ 1
	10：00～17：00	カフェ
	9：00～22：30	駐車場
休館日	月曜日（祝日、振替休日及び第一月曜日にあたる場合は開館し、その翌平日が休館）	
	12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで	

3 月別入館者数

	令和6年度	令和7年度
4月	11,589	10,994
5月	15,328	12,199
6月	12,386	11,168
7月	12,487	22,654
8月	11,830	37,757
9月	11,489	9,451
10月	13,454	12,413
11月	13,186	16,690
12月	13,983	25,932
1月	15,751	30,821
2月	14,204	15,663
3月	10,397	14,840
計	156,084	220,582



住友洋画コレクション
フランスと日本近代絵画名品選



石山直司展
ルーヴル美術館の銅版画展

4 令和7年度 美術館展覧会開催実績

展覧会名	会期	入場者数（人）
住友洋画コレクション フランスと日本近代絵画名品選	4月26日（土）～6月22日（日）	4,672
わけあって絶滅しました。展	7月19日（土）～8月31日（日）	32,153
石山直司展 ルーヴル美術館の銅版画展	9月6日（土）～10月19日（日）	1,898
サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化 60 年史	12月6日（土）～1月12日（月）	31,113
企画展 ボタンデザイン ボタンにおける 装飾の美たち～加藤喜代美ボタンコレクション～	1月17日（土）～3月1日（日）	2,131

5 令和7年度の主なイベント

(1) 太鼓台展示

3月30日（日）	～	7月18日（金）	口屋太鼓台（5/16～5/25 万博出場で不在）
7月21日（月）	～	10月2日（木）	松木坂井太鼓台
10月21日（火）	～	1月17日（土）	松神子太鼓台
1月27日（火）	～		金栄太鼓台

(2) 展覧会関連イベント

4月26日(土)～ 6月22日(日)	住友洋画コレクション フランスと日本近代絵画名品選	記念講演会「モネからはじまる 住友洋画物語 ー近代日本最初の洋画コレクション」、 ギャラリートーク
7月19日(土)～ 8月31日(日)	わけあって絶滅しました。展	「丸山貴史先生によるギャラリートーク・サイン会」、「わくわくナイトミュージアム」、ワークショップ「自分だけの『わけあって絶滅しました。展』缶バッジを作ろう!」、「答えて、もらおう!『わけあって絶滅しました。展』クイズラリー」、「ステラーカイギュウさんがやってくる!」、「絶滅?生きものを学ぶ えひめミュージアムスタンプラリー2025」、「おゆまるでつくる!化石レプリカ工房」・「恐竜ペイント大作戦!」、「恐竜ペイント大作戦! あかがねミュージアムで“きみだけの恐竜”を作ろう! 素焼きの恐竜に、自由に色をぬって、世界にひとつだけのカラフル恐竜を完成させよう!」
9月6日(土)～ 10月19日(日)	石山直司展 ルーヴル美術館の銅版画展	ギャラリートーク、石山直司氏による公開制作、石山直司銅版画教室・小学生体験コース(ドライポイント)・高校生～一般じっくりコース(ドライポイント)
12月6日(土)～ 1月12日(月)	サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史	「サンリオカフェワゴンがやってくる!」、「サンリオ展開催記念!あかがねシネマ・シティとミミィのあたらしいかさ・ユニコ」 「期間限定メニュー・白いも×ベリーのなかよしパフェ」
1月17日(土)～ 3月1日(日)	企画展 ボタンデザイン ボタンにおける装飾の美たち～加藤喜代美ボタンコレクション～	「サンリオカフェワゴンがやってくる!」、「サンリオ展開催記念!あかがねシネマ・シティとミミィのあたらしいかさ・ユニコ」 「期間限定メニュー・白いも×ベリーのなかよしパフェ」

(3) ホールイベント

期日	事業名	人数(人)
5月3日	2025 春はこいはまハピフェス!	5,000
5月21日	オペラシアターこんにゃく座公演 あん	351
7月20日	開館10周年記念上映会	64
8月10日	おとぎと魔法の劇場	578
8月16日・17日	おえかきパラダイス	234
9月27日	上田正樹 ive 2025 with Yoshie.N & 堺敦生 in あかがねミュージアム	126

11月20日～24日	日活ポスター展	250
12月6日	若者応援プロジェクト！ あかがねティーンズミュージックフェス	83
12月13日	おもいで心のうたコンサート in 新居浜	231
1月17日	アルベロ 木	83
2月8日	ジャズとワインと石村嘉成。	183
9月28日 3月22日	殺陣（たて）教室	41
10月～3月	アーティスト・イン・レジデンスあかがね座	384
① 7月19日 ② 11月11日 ③ 3月21日	あかがね寄席	① 250 ② 250 ③ 237
① 8月2日 ② 8月12日 ③ 11月23日 ④ 1月3日・4日	あかがねシネマ	計 37
毎月最終火曜日 （年間12回開催）	笑いヨガ	216

（４）その他イベント等

期日	事業名	人数（人）
7月19日～21日	開館10周年記念感謝祭	5,000
3月29日	来館者200万人到達記念感謝祭	7,000

6 教育普及事業、ワークショップ

4月～3月	あかがね教室等 9教室（うち子ども対象：4教室）
4月～3月	版画プレス機開放日 8回
4月～3月	アート工房での展示 15団体

期日	事業名	人数（人）
4月27日～29日	劇団ステッキ 『CAN』	89
5月5日・6日	ホールの照明で楽しくあそぼう！ あかがね影絵スタジアム2024！	400
6月9日	にいはまミュージックジャンボリー！	231
8月11日	AKAGANE JAZZ STUDENTS&CITIZEN BAND LIVE	240
8月24日・25日	劇団笑夢『バベルの宿～2024 パリ～』	600
10月12日	おもいで心のうたコンサート in 新居浜	252
10月26日	お話と音楽と砂絵『ふたごの星』	164
12月14日・15日	あかがねクリスマス2024	285
1月13日	手塚治虫作品 講演会&上映会・トーク	151
1月26日	NHK カジュアルクラシックコンサート	236

2月2日	加藤登紀子トーク&ライブ	243
2月9日	新居浜ショートショートムービープロジェクト みじ かい映画撮影『ただいま！』帰路（原題） お披露目 イベント	250

7 新居浜市美術品購入基金

令和8年3月31日現在の残高 112,844,468 円（美術品 69,845,000 円 現金 42,999,468 円）

広瀬歴史記念館の主な施策と実績

日本の近代化産業を育成した広瀬幸平の功績を正しく理解し、新居浜の生い立ちと近代化の歩みを後世に伝えとともに、未来に向かって市民の活力を育み、文化遺産の継承と生涯学習の拠点施設として活動の振興を図る。

1 施設状況

所在地	建設年月	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	電話	館長氏名
新居浜市上原二丁目 10番42号、52号	展示館 平成9年4月	鉄筋コンクリート造 地上1階 地下1階	4,688.03	1,072.39	40-6333	鴨田 優子
	旧広瀬邸 明治20年頃	木造瓦葺 2階建	31,827.19 (亀池を含む)	1,318.95	43-4667	
計			36,515.22	2,391.34		

2 展示内容等

(1) 展示館の内容

広瀬幸平の一生を、テーマごとに映像や実物資料、パネルを用いて紹介する。別子銅山の経営維持に奔走し、採鉱・精錬・陸運の近代化を推進するなど、わが国の殖産興業に尽力した幸平の姿をみることができる。

(2) 旧広瀬邸（国指定重要文化財・国指定名勝）の内容

母屋は明治10年建築、同20年に現在地に移築、新座敷と内庭は同22年に建築・造園された。伝統的な日本建築様式を持ちながらも、開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス及び避雷針といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和している。庭園は、内庭（迎賓空間）、亀池（祝祭空間）及び南庭（祭祀・顕彰空間）からなり、庭園文化の発展をよく示している。

3 資料の収集状況

広瀬家所蔵品、古文書など約3,740点（平成3年5月7日現調）

4 令和7年度事業実績

(1) 特別企画展等

ア 特別企画展

「明治最盛期の別子銅山を活写した光村利藻 ～明治三十一年写真帳の世界～」

- ・期間 令和7年10月29日（水）～同年12月14日（日）
- ・観覧人数 1,571人

イ 関連行事

- ・記念講演会「明治の写真家光村利藻を育てた広瀬幸平と伊庭貞剛
～光村家の後見人から別子鉱山写真帳の作成まで～」
- ・期日 令和7年11月29日（土）
- ・講師 末岡照啓 住友史料館研究参与（元広瀬歴史記念館名誉館長）

(2) 文化財関係国庫補助事業

国指定重要文化財「旧広瀬家住宅（平成15年5月30日指定）」に係る調査工事（保存整備（修理）工事を実施するための基本設計）の二期目（令和6・7年度の2か年事業）を実施した。国指定名勝「旧広瀬氏庭園（平成30年2月13日指定）」の構成要素である南煉瓦塀の耐震補強等工事（工事監理を含む）の一期目（令和7・8年度の2か年事業）を実施した。（実施にあたっては、「旧広瀬邸等保存活用事業推進委員会」を開催し、外部有識者の専門的な知見を得るとともに、文化庁、愛媛県教育委員会文化財保護課の指導を得て実施した。）

(3) 広瀬歴史記念館施設環境整備事業

施設環境の改善を図るために、広瀬歴史記念館展示館照明設備ＬＥＤ化改修工事を実施した。

5 令和7年度月別観覧者内訳

年 月	開館 日数	観 覧 人 数 (人)						
		一 般				小 計 ①	18歳未満の 者及び大学 生等 ②	人数 (①+②)
		個人	個人減額	団体	免除			
令和7年4月	25	396	50	0	80	526	82	608
5月	27	325	18	134	269	746	82	828
6月	25	307	11	163	53	534	16	550
7月	26	156	9	0	27	192	27	219
8月	26	196	5	0	22	223	63	286
9月	23	254	13	30	55	352	140	492
10月	26	408	15	287	41	751	61	812
11月	25	588	61	223	178	1,050	259	1,309
12月	24	243	21	0	29	293	48	341
令和8年1月	25	95	3	20	74	192	19	211
2月	25	115	12	45	19	191	134	325
3月	25	343	13	0	46	402	176	578
計	302	3,426	231	902	893	5,452	1,107	6,559

新 居 浜 市 の 教 育

令和 8 年度版

令和 8 年 7 月発行

編集
発行

新 居 浜 市 教 育 委 員 会

〒792-8585

新居浜市一宮町一丁目 5 番 1 号

TEL (0897) 65-1300

FAX (0897) 65-1306
